令和６年度　社会資本整備総合交付金事業　市営住宅下三草団地２号棟長寿命化工事　実施設計業務委託

金抜設計書

業 務 番 号　2024038600

業　務　名　令和６年度　社会資本整備総合交付金事業　市営住宅下三草団地２号棟長寿命化工事　実施設計業務委託

履 行 場 所　加東市下三草３７５番地４（市営住宅下三草団地２号棟）

兵庫県　加東市

内訳			
	実施	今回変更	増減額
設計額 (内消費税額)	円 (　　円)	円 (　　円)	円 (　　円)
請負額 (内消費税額)	円 (　　円)	円 (　　円)	円 (　　円)

履行期限		
	実施	令和 6年10月31日まで
	今回変更	

概要
外壁塗装改修、屋根防水改修、本体付属建物の実施設計業務　一式

番　号	名　　称	内　　容	数 量	単位	単　価	金　額	備　　考
	令和６年度　社会資本整備総合交付金事業　市営住宅下三草団地２号棟長寿命化工事　実施設計業務委託						
1	実施設計業務		1.0	式			
	改　計						
2	諸経費		1.0	式			
	改　計						
3	技術料等経費		1.0	式			
	改　計						
	委託価格						
	消費税相当額						
	委託費						

番　号	名　　称	内　　容	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	実施設計業務（長寿命化改修）						
		公営住宅　第六号第1類					
	直接人件費　業務人	設計業務（建築・設備）		人			
	追加業務	積算業務		人			
	計						

令和６年度

社会資本整備総合交付金事業

市営住宅下三草団地２号棟長寿命化工事
実施設計業務委託仕様書

加　東　市

仕　　様　　書

１　委託番号　　2024038600

２　委託名称　　令和６年度　社会資本整備総合交付金事業
市営住宅下三草団地２号棟長寿命化工事　実施設計業務委託

３　委託場所　　加東市下三草３７５番地４（市営住宅下三草団地２号棟）

４　対象建物　　スレート板葺屋根　木造（枠組壁工法）一部鉄骨造
3 階建　延床面積　648.87 ㎡

５　現　　状　　下三草団地２号棟は平成１２年に建設され、平成２６年鉄骨造屋外階段塗装工事実施以降、大規模な改修は行われていない。屋根スレート葺きの耐用年数が近く、苔の発生等もあり、改修方法の検討が必要である。壁サイディング面の汚れ、縦目地シーリング材の剥離、劣化が見られる。また軒裏換気口の錆等鉄部の劣化もみられる。外構では、鉄部（設備棟、駐輪場、掲示板等）の錆が発生している。

６　工事内容　　⑴次に掲げる設計業務
①　屋根・外壁改修工事
②　外部鉄部塗装改修工事
③　廊下・階段・バルコニー防水改修工事
④　石綿含有建材等調査
内訳書にアスベスト調査項目を計上すること。
⑵内容変更に伴う設計図書の修正及び積算変更業務

（適用範囲）

第１条　本特記仕様書は、建築設計業務（建築意匠、建築構造、電気設備、機械設備の設計業務及び積算業務をいうものとし、以下「設計業務」という。）の委託に適用する。

２　加東市が発注する「令和６年度 社会資本整備総合交付金事業　市営住宅下三草団地２号棟長寿命化工事　実施設計業務委託」（以下、「本業務」という。）に適用する。
本業務の履行にあたっては、この仕様書に基づき実施する。

（目的）

第２条　市営住宅下三草団地２号棟の長寿命化工事の実施設計を適正に行うために本業務を実施する。

（履行期間）

第３条　本業務の履行期間は、次の通り。

契約締結日の翌日から令和６年１０月３１日まで

（現地調査及び交通安全対策）

第４条　受託者は、設計業務着手前に現地調査を行う場合は、団地内居住者や一般車両を優先し、通行に注意すること。また、必要に応じて現場周辺に、誘導看板の設置及び安全対策の表示を行うこと。作業員及び調査員の車両については、指定の位置に駐車し、無断で付近の道路や空き地に駐車しないように注意すること。指定の位置については委託者と十分に協議し決定すること。

（設計業務の実施）

第５条　設計業務を実施するに当たり、発注者が計画している事業費及び延べ面積等を遵守し、設計条件に基づいて実施する。

２　業務の実施に当たっては、発注者と十分な連絡を保ち、基本方針については発注者の指示及び承諾を受ける。

３　業務の実施に当たっては、建築基準法その他関係法令及びその他これに基づく条例規則等の規定を遵守する。特記なき場合は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修及び制定の基準（最新版）を基本とする。

４　設計業務で協力事務所を使用する場合は、発注者と協議し承諾を受ける。

５　業務に関して疑義の生じた場合は、速やかに発注者と協議する。

（設計業務の範囲）

第６条　設計業務は、国土交通省告示第 98 号別添一第１項（設計に関する標準業務）に掲げる基本設計及び実施設計とする。

２　本業務開始後、その内容に変更又は追加等が発生した場合において、受託者は、市監督員の指示により変更又は追加等の業務を履行する。

３　前項の変更又は追加等に伴う契約金額の変更は、原則として行わない。

ただし、著しく金額が変更する場合はこの限りでない。

【設計業務】

（１）　本業務に係る標準仕様書は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（最新版）」による。

（２）　積算業務は、市監督員の承諾を受けた設計図書及び適用基準等によって行う。

（３）　設計に係る成果図書は、基本設計図書及び実施設計図書一式のほか、実施に係る申請関係書類全て含むものとする。

（４）　内訳書については、市指定の様式による。内容は「表紙・内訳・各工事大項目内訳・各工事小項目内訳・代価表・数量計算書・単価決定根拠表・見積書・カタログ」により構成するものとする。

（５）　成果品は下記のとおり、提出する。

ア　図面（ＣＡＤデータ及びＡ３版白焼図面）・・・　・・・・・・・１部

イ　内訳書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１部

ウ　関係資料集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一式

エ　見積り書（３社以上）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一式

オ　その他発生した資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一式

カ　監督員が指示するもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一式

キ　電子データ（CDR 内訳 エクセル、RIBC　CAD データ）・・・・・一式

※図面電子データは、ＪＷＷ・ＤＸＦ・ＳＦＣの３形式とする。それ以外の形式については、変換ソフト等を使用し、ＪＷＷ形式に変換すること。特に他の形式からＪＷＷ形式に変換した場合は、線種、文字等をよく確認すること。

＜委託者が提供できる資料＞

ｉ　市営住宅現地調査報告書
　２号棟建屋（付帯設備含まず）

ⅱ　竣工図面
　コピー又はＰＤＦ

（管理技術者等の資格要件等）

第９条　管理技術者等（管理技術者、主任技術者、担当技術者）及び建築工事監理業務の管理技術者については、一級建築士とする。設計業務については、施設の目的を十分把握した上で設計業務をおこなう。

（その他）

第１０条　受託者は、業務において関係法令、その他関係基準書、指針等を遵守し綿密な調査をする。

２　委託者は、成果品に契約不適合があるときは、受託者に対しその契約不適合の修補を請求し、又は修補に代え若しくは修補とともに損害の賠償を請求することができるものとする。

３　受託者は、委託者の検査を受け合格し成果品を納入したとしても、契約不適合が発見された場合は、修補及び損害賠償を免れないものとする。

４　受託者は、成果品を委託者の許可なしに他のいかなる者に対して、公開、閲覧、複写、貸出、譲渡してはならない。

５　その他必要とする事項については、委託者、受託者双方で協議のうえ決定するものとする。

以上

市監督員

加東市都市整備部 都市政策課（0795-43-0517）

特記仕様書

（積算業務における単価及び価格の実勢価格帯設定について）

当業務において成果図書に基づく積算業務を実施するにあたり、製造業者又は専門工事業者の見積価格等を参考にして単価及び価格を算定する場合は、必要に応じてヒアリング等を行い市中における取引状況等（実勢価格帯）を確認するものとする。

特に以下①～⑤については、必ずメーカーヒアリングや市場調査、近隣工事実績調査等により市中における取引状況等を確認し、見積価格等に対する実勢価格の比率（査定率（掛け率））の根拠となる資料を成果品に添付すること。

① 工事設計額が3,000万円以上となる工事
② 全体工事に対する電気工事、設備工事の比率が50%以上の工事
③ 単独工種の発注工事（例：ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ工事のみ、LED更新工事のみ等）
④ 特殊工法を使用するもの
⑤ メーカー制作に3カ月以上要する設備や機器発注

製造業者又は専門工事業者等の見積は原則３社以上で比較し、最安値に査定率を乗じることで、設計単価及び価格を決定するものとする。

見積書の取得においては、起工の起案日が有効期間内となるよう努力をすること。

なお、カタログ価格を参考にして単価及び価格を算定する場合においても、同種製品を多量に使用する場合は同様にメーカーヒアリング等により、市中における取引状況等（実勢価格帯）を確認し、査定率（掛け率）根拠となる資料を成果品に添付すること。

建築工事　特記仕様書

A. 工事概要

1. 工事名称　公営住宅建設事業平成10年度下三草団地第一期建設工事

2. 工事場所　加東郡社町下三草字川ノ上３７５−2, 375-3, 375-4

3. 敷地面積　2,754.95　㎡

4. 地域地区　市街化調整区域　200／60

5. 建物概要　1, 住戸棟

木造枠組壁構造　3階建　1棟

2, 設備棟

平家建　壁式鉄筋コンクリート造　一部鉄骨　鉄骨造　1棟

3, 自転車置場　鉄骨造　平屋建　1棟

6, 床面積　　単位 ㎡

	住戸棟	設備棟	自転車置場	合計	公営住宅法住戸棟	戸数
3	208.530			208.530	236.391	3
2	208.530			208.530	236.391	3
1	217.119	18.700	14.700	250.519	240.821	3
計	634.179	18.700	14.700	667.579	713.603	9 戸

タイプ別住戸数			備考
	Aタイプ住戸	2	
	Bタイプ住戸	1	車椅子対応住戸
	Cタイプ住戸	4	
	Dタイプ住戸	2	
	計	9	

7. 建築面積

	住戸棟	設備棟	自転車置場	合計
建築面積	236.593	18.700	14.700	259.993

8. 建ぺイ率, 容積率

容積用延床面積　667.579−［14.70＋（10.520＋10.076＋10.076）］＝622.207㎡

建ぺイ率＝259.993／2754.95　x 100 ≒ 9.44％＜60%　OK

容積率＝622.207／2754.95　x 100　22.59％＜200%　OK

9. 工期　着工　平成 11年 3月 16日

検査　平成 11年 12月 15日

B. 工事概要

1. 工事項目　1, 住戸棟　1棟新築工事

2, 設備棟　1棟新築工事

3, 自転車置場　1棟新築工事

4 屋外付帯工事

2. 別途工事

1 別図に別途工事と記載された工事

本仕様書共通事項

設計図書及び本特記仕様書に記載されていない事項は建設省住宅局住宅建設課監修「公共住宅建設工事共通仕様書」平成９年版(以下「共仕」という)、住宅金融公庫監修「仲介業工法住宅共通仕様書」平成10年版(以下「公庫仕」という)。

1. 一般事項

1. 適用基準　・公共住宅建設事業設計図集　第５版２刷　社団法人日本住宅協会公共住宅建設合理化推進委員会編（以下「公共図」という。）

2. 優先順位　・設計図書優先順位

1 現場説明書（質疑応答書を含む）　2 特記仕様書

3 設計図（内訳明細書を含む）　4 「公共図」　5 「共仕」「公庫仕」

3. 変更図提出　・建物配置, 各部の納り, 取合い等の図面で見難く, 工法等で変更の生じた場合は、その都度監督員と協議の上その指示により施工する。

・施工に際し図面, 仕様書及び内訳書相互の相違, 疑義を生じた場合は事前に監督員と協議し、その指示に従う。事後の承認は認めない。

4. 現場代理人監理技術者　・現場代理人は工事現場に常駐とする。

但し、監理技術者を兼ねることができる。

・監理技術者は専任で、有資格者とする。

5. 別途工事への協力と調整　別途工事については、その工程及び施工に関し、監督員の指示により、当該工事関係者と協力し、円滑な進捗を図る。

6. 官公署その他への手続　工事施工に必要な官公署その他への手続は遅滞なく行い、それらに要する費用は請負者の負担とする。

7. 工事現場の安全衛生管理　工事現場の安全衛生に関する管理は、請負者がその責任において関係法令に従って行う。

8. 災害防止公害の防止　・工事の施工に伴う災害及び公害については、関係法令に従い適切な処置を行う。

・落下物, 飛散物, 車両等により、第三者に危害を与えない様万全の措置をとる。

・工事中の近隣に対する工事上の有形の補償は請負者の負担とする。

9. 建築材料等　材料の施工順序, 製造者及び商品等は原則として、特記されたもの又は同等品以上とする。同等品については事前に監督員と十分協議し、その指示に従う。

10. 特別な材料の工法　共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

11. 建物の管理　建物完成引渡し終了時(管理引継時)まで火災保険に加入しておくこと。

また、入居完了時まで(約１ヶ月)は建物及び屋根設備の管理は請負業者が責任をもって行う。

12. 検査　検査に要する器具等は、請負業者にて準備する。

13. 工事写真

分類	規格	撮影ヶ所	部数	ネガ
着工前	カラー・サービス版	指示ヶ所	2部	
工事中	カラー・サービス版	各工程ヶ所	2部	
完成時	カラー・キャビネ版	約30ヵ所	バラ 2部 製本 3部	提出

・施工前及び施工中の写真は、工事用ファイルに工程順序に従い、撮影の時期場所等の説明をつけて提出する。

・完成時の写真は原則として専門業者の撮影とし、フリーアルバムＣ判にタイトル, 名称を打込み、撮影場所を記入したものを提出する。

14. 提出図書　・着工時　着工届, 主任技術者又は監理技術者届, 同左経歴書, 現場代理人届, 同左経歴書, 工程表, 下請業者名簿, 仮設計画図書, 施工計画図書他

・工事施工中　各工事別施工計画書, 日報, 週間(隔週)工程表, 工程写真施工図, 使用材料承認願, 使用材料検査願, 使用材料納入書, 出来高明細書, 火災保険証書, 官公署への手続書類他

・工事完成時　工事完了届, 授受証書, 各保証書, 完成写真, 竣工図施工図, 引渡し目録他

・月報　工事進捗表, 各月末時の工事の進捗状況を文章にて提出(図面)他

・その他　監督員の指示する図書

完成時に各書類を収納グンポール筒（Ａ４サイズ）に整理の上提出する。

15. 災害防止及び公害防止等　・危険防止　危険防止については建築基準法等の関係法令を遵守し適切に行うほか、治安についても万全の対策を行う。

・安全対策　工事期間中は有資格安全巡視員を配置し、工事現場における安全に関する巡視, 点検, 連絡調整等, 工事地域内全般の監視, あるいは連絡を行わせ、安全確保に努める。

・災害及び公害防止　請負者は運搬作業従事者の交通安全意識の高揚を図るため、強力ダンプカー協会加入車を使用するとともに、工事資材の運搬にあたっても路積載のないようにすること。

・既設建物等について　本工事施工中に既存の法面, 擁壁, 道路, 側溝, 排水家屋, その他設備等の損傷に損傷を与えた場合は、責任をもって修理, 復旧する。

2. 仮設工事

1. 仮設道路　・建物位置決定後、工事用仮設道路又は搬出入用出入口を確保し、整備する。

・洗車場設備を設ける。

2. 監督員事務所　・規模 20㎡程度　現場事務所と併設も可とする。

・備品　雨具, 長靴, ヘルメット, 安全帯, 机, 回転イス打合机, 折たたみイス, 救急ロッカー, スチール戸棚, 他机共通仕様書, 公共住宅関係詳細設計図集

3. 工事用水　構内既存の施設は利用できない

4. 工事用電力　構内既存の施設は利用できない

5. 仮囲い　種別　・仮囲い用成型鋼板　H=3m　(敷地周囲)

塗装　・片面ＯＰ、又は塗装品も可とする

門扉　・パネルゲート　W= 仮設計画による

・仮囲い及び門扉は仮設計画図に従い施工する。なお、道路に面する場所では危険防止に留意し、立看板等の表示を行う。

6. 工事用看板　工事現場の適切な場所に、工事名称, 発注者等を示す表示板を設ける。

7. 請負者事務所等　請負者事務所, 従業員休憩所, 便所などは、仮設計画図及び、関係法令等に従って設ける。

8. 敷地の状況確認　施工に先立ち、本敷地及び周辺の高低測量を行い図面化すること。

9. 設計 GL, BM　上記実測図及び配置図による。但し、決定は監督員立会の上で行う。

3. 土工事

1. 根切り及び床付け　・根切りは、周辺の状況, 土質, 地下水の状態などに適した工法とし、土砂が崩壊しないよう、関係法令等に従い適切なのりを付けるか又は、山留を設ける。

・根切りが床付け面に達した場合は、根切りの深さ及び土質の状況などについて監督員の検査を受ける。

2. 排水　工事に支障を及ぼす雨水, わき水, たまり水などは、適切な排水溝, 集水ますなどを設け、ポンプ等により排水する。

3. 埋戻し及び盛土　・川砂及び清水性のよい山砂類とする。但し監督員の承諾を得て根切り土の中の良質土を利用することができる。

一層を 300程度とし、一層毎に十分締め固める。土質, 使用機械に応じて散水などにより、締め固めに適した含水状態で行う。

4. すき取り

5. 残土処分　・構外搬出

処分地については、事前に監督員の承諾を得る。

産廃廃棄物にあっては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(昭和45年 法律第137号)に基づき、適正に処理すること。

6. 山留　・施工計画書に従い山留を行う。

工事に先立ち、山留工法及び安全を確認できる構造計算書等を監督員に提出し、承諾を得る。

4. 地業工事

1. 直接基礎地業　・地耐力　長期　10 t/m²（地盤改良による）

2. 割り石地業　・割り石は硬質のものとする。

・目つぶし砂利は、切り込み砂利又は切込み砕石とする。

3. 捨てコンクリート　設計基準強度　180kg／cm²　スランプ　15cm

厚さは特記がなければ５０mmとする。

4. 地盤改良　位置　住戸棟基礎下

工法　浅層安定処理工法（セメント固化材による）

地耐力　長期地耐力　10 t／㎡

範囲, 深さ　構造　基礎伏図による

試験　平板載荷試験により支持力確認を行う　1ヶ所

5. コンクリート工事

1. 設計基準強度　・普通コンクリート

住戸棟躯体　Fc+σ₀=240kg/cm²

スランプ　基礎, 地中壁　15cm

上記以外　18cm

屋外棟　Fc+σ₀=210kg/cm²

上記以外屋外部　Fc=180kg/cm²

・押えコンクリート　(非構造用)

180kg/cm²　B種

2. 骨材の塩分含有量　塩分含有量（%/wt）塩化ナトリウム換算 0.04%以下

3. コンクリート中の塩化物量　1m³中に含まれる塩化物(塩化物)の総量は 0.3kg/m³以下とする。

4. アルカリ骨材反応　アルカリ骨材反応試験により安全と認められた骨材を使用する。

1m³中に含まれる総アルカリ量をNa_2O換算で 3kg/m³以下とする。

No.		工事設計図
— A 3 /	特記仕様書(1)	S:, —— / D:

16. 塗装工事

1. 塗料の種類及び部号　SOP　合成樹脂調合ペイント塗
　F P　フタル酸樹脂エナメル塗
　OSC　オイルステインワニス塗
　U C　フタル酸樹脂ワニス塗

2. 素地ごしらえ　「共仕」16.2.1 表～16.2.3 表による。

3. 塗り工程　「共仕」16.4.1 表～16.10.1 表による。

17. 仕上塗材工事

1. 吹付タイル　複層塗材E　ゆず肌模様アクリルエナメル仕上

2. コンクリート面下地調整　「共仕」5.13.2表　A種（セメント系下地調整材塗）

18. 建具・ガラス工事

1. アルミニウム製建具　「共仕」部品及び機器の品質・性能基準による
　鉄骨造用半外タイプ　可動網戸収付用サッシとする
　耐風圧　200kg/m²
　気密　A－3
　水圧　W－4
　表面処理　鉄素色陽極酸化塗装複合皮膜
　クレセントは大型とし、1階は鍵付とする

2. 鋼製建具　「共仕」部品及び機器の品質・性能基準による
　玄関ドア　鋼製甲種防火戸
　扉　片開き両面フラッシュ戸
　枠　スチール製　額80　気密枠
　下枠　ステンレス　φ2　気密枠
　2/50片引戸　スチール製板張片引戸　乙種防火戸　セミエアータイト
　程度　三和シャッター　スムード手動式　又は同等品以上
　パイプシャフト扉　鋼板張参照
　その他の扉　鋼板の厚さ　特記以外　枠1.6　扉1.6
　番線（下枠）　ステンレス　SUS-304　2.0　HL

3. 木製建具　図面及び「共仕」

4. 建具金物　・特記なき限りステンレス製とする
　・玄関ドア用　錠　BL部品、R－II型（ワンハンドル付シリンダー面付機能）
　ドアクローザ　BL部品　II型
　用心鎖類　ドアガード

5. ガラス留　アルミ建具　グレイジングガスケット
　鋼製建具　シーリング（B種）
　乙種防火戸の隙間のシール　乙防認定用隙間シーリング

6. 建具金物　「共仕」18.4.1表による
　錠前　30本用　1ヶ（個品）

7. ライトダクト開口部　小口金網

8. 樹脂ガラス　スチロール樹脂製　照板

19. 内外装工事

1. 壁　「共仕」19.4.1表　B種
　張わら壁2層

2. ビニル床クッションシート等　材料　ビニル床クッションシート㊀2.3　「共仕」19.5.1表　2種
　程度　東リ　CFシートPXは同等品以上
　ビニル床クッションシート㊀3.5　「共仕」19.5.1表　1種
　程度　東リ　CFシートHDXは同等品以上
　ビニル床シート㊀2　「共仕」19.5.1表　6種
　工法　耐薬工法　住戸内　玄関、洗面脱衣、便所部分
　継目熱風溶接工法　ビニル床シート㊀2

3. 石膏ボード　JIS規格品とする（㊀9.5は準不燃材、㊀12.5は不燃材）
　材料　GB－R　㊀12.5　石膏ボード
　GB－S　㊀12.5　シージング石膏ボード（屋外用）
　GB－D　㊀9.5(12.5)　化粧石膏ボード　トラバーチン模様（特殊ハンボード）
　工法　「共仕」19.9.2による
　クロスはGB－Rの入隅　ジョイントテープによる
　出隅　コーナー保護金物による

4. ビニルクロス　材料　一般　ビニル壁紙　防火1級　又は、難燃又は準不燃、防水①級
　サンケークロス　7101～7103　又は同等品以上

5. 断熱材　押出法ポリスチレンフォーム保温板　1F床下㊀40
　ロックウール40K　敷込現場吹付等　㊀75
　1階　2階外壁　㊀50
　住戸外壁部分　㊀50
　住戸屋根　㊀50＋50（ダブル）

6. 化粧付合板　程度　ダイケン　カベタイル㊀5　又は同等品以上
　流し台扉　ユズハダシリーズ
　シール目地　台所前

20. 仕上げユニット・その他の工事

1. ユニットバス　1418型フルパネル　高齢者対応　浴室付バリアフリー型
　「公共住」部品及び機器の品質・性能基準による
　内部仕上　床　FRP製石風呂
　壁　化粧鋼板
　天井　化粧鋼板
　浴槽　FRP製　790×1,200×525
　取替可能型　一方エプロン　縁付
　ドア　アルミ製　2枚折戸　緊急脱出仕様
　手摺　ステンレス製密着装置パイプ
　I型　ℓ＝600　3本
　L型　ℓ＝800×600　1本
　ステンレスタオル掛　1本
　設備関係　照明器具　照明配線（1.6mm3本　L＝2m）
　給水設備
　給湯設備　配管共（UB部屋外面迄）
　シャワー金具　サーモミキシング型
　排水設備　硬質二層管排管付
　程度　BL部品、B型又は同等品以上

2. 身障者用浴槽　FRP製　1,230×900×600（いたわり浴槽）並付

3. キッチンキャビネット　A、C、D住宅用
　セクショナルキッチンA型　奥行550　高さ800
　流し台　ℓ＝1,200、ガス台　ℓ＝600バックガード付、調理台　ℓ＝300
　吊戸棚　ℓ＝1,200×H700（下面不燃材）。照明器具用配線穴明け
　「公住仕」部品及び機器の品質・性能基準による
　程度　BL部品セクショナルキッチンI型又は同等品以上

　B住宅用
　車椅子対応キャビネット
　流し台＋ガス台＋調理台　ℓ＝2,100　一体型　フットスペース付
　吊戸棚　ℓ＝1,200×H700×D400　電動式　下面不燃材

4. アルミ手摺　支柱、笠木等　アルミニウム合金押出し形材程度
　「共仕」部品及び機器の品質・性能基準による
　塗装　鉄素色陽極酸化塗装複合被膜B－1種
　その他　強靭性、収納に適応する格納鍵類手を設ける
　アルミ手摺(A)　アルミ笠木一体型　アルミ二段笠木パネルタイプ
　H=1,000
　パネル　アルミパンチングメタル　㊀2
　外部面　クロス難化被材付
　下部笠木　W=200
　アルミ手摺(B)　アルミ二段笠木パネルタイプ（パネル抜出し型）
　H=1,100
　パネル　アルミパンチングメタル　㊀2
　アルミ手摺(C)　アルミ二段笠木手摺子タイプ　H=1,100
　床支持型（鉄骨面に補強支柱を溶接止め）
　アルミ笠木手摺　アルミ笠木一体型　H=150　丸型
　下部笠木　W=200

5. 団地案内板　程度　新協和　SK－6010型　又は同等品以上
　案内板　アクリル板に住棟配置図をシルク印刷
　掲示板　透明ガラス　㊀5
　塗装　現場塗装（塩化ゴム系エナメル塗）

6. 集合郵便受箱　BL部品　ステンレス製　SH型

7. 洗濯パン　FRP製
　BL部品　800型　鋳鉄製臭引トラップ及び排水鋼管付　耐火二層管50φ

8. 貫通孔　紙チューブを標準とし、直径、長さ、位置については施工図作成の上、
　監督員の承認を受ける。
　但し、地中の貫通孔は、つば付鋼管スリーブとする。

9. 表札　・住戸　アルミ押出形材　W270×H135　掲示
　程度　新協和　SK－605－1型　又は同等品以上
　・共用部　平付　W305×H75　アクリル樹脂　5　文字彫込
　程度　新協和　SNN－平型（平付型）

10. 掲示板　アルミ枠　ラシャ貼、W900×H600
　程度　新協和　SMS－1010B型による　又は同等品以上

11. 消火器　住戸廻　共用部　ABC粉末消火器　10型　1本　3ヶ所
　住戸内　ABC粉末消火器　6型　1本　9ヶ所

12. 消火器ボックス　住戸廻　共用部　UFB－3F－210又は同等品以上
　住戸内　MHR－201又は同等品以上
　プロパン庫　屋外型　20型　2本入　スチール製

　加圧噴　ABC粉末消火器　20型　2本　及び　同左用　屋外型
　消火器設置ボックス　1ヶ所

13. ターン用ステップ　外部キャップ　75φ　新協和　SK－CST5型　又は同等品以上
　内部キャップ　75φ　新協和　SC－75M型　又は同等品以上
　スリーブ　新協和　SU－75枠　又は同等品以上
　ジョイントスリーブ付

14. 階数表示板　ステンレス製　樹脂彫　㊀10貼付　H=300
　程度　新協和　6K－610S－1又は同等品以上

15. 点検口
　住戸廻　天井点検口　450×450　3階は鍵付
　枠　アルミ
　仕上　設置場所の天井と同材とする
　壁点検口　寸法は平面詳細図参照
　枠　アルミ　T型　点検口周囲材
　塩ビシート貼、ステンレス製ビス止め
　仕上　設置場所の壁と同材とする

16. サイディング　材料　窯業系サイディング㊀18　塗装品　裏張り　アスファルト20kg紙
　準耐火　1時間認定品
　程度　松下電工　コバレリーフ又は同等品以上
　工法　通気工法
　但し、一部（廊下、バルコニー手摺部）合板下地直打工法
　出隅　同質材目地付又はフラット製品とする
　金物　通気工法部分　上部　通気用軒天見切縁
　下部　通気用水切
　下り壁下部　金属加工本切金物
　材料　ガルバリウムカラー鋼板を原則とする
　庇等の鼻隠し　セメント成型品㊀30　メーカー仕様による

17. 鼻隠し部　材料　準耐火45分認定品　塗装品
　程度　松下電工　ノキフキン（準不燃材）
　ストライプ柄又は同等品以上

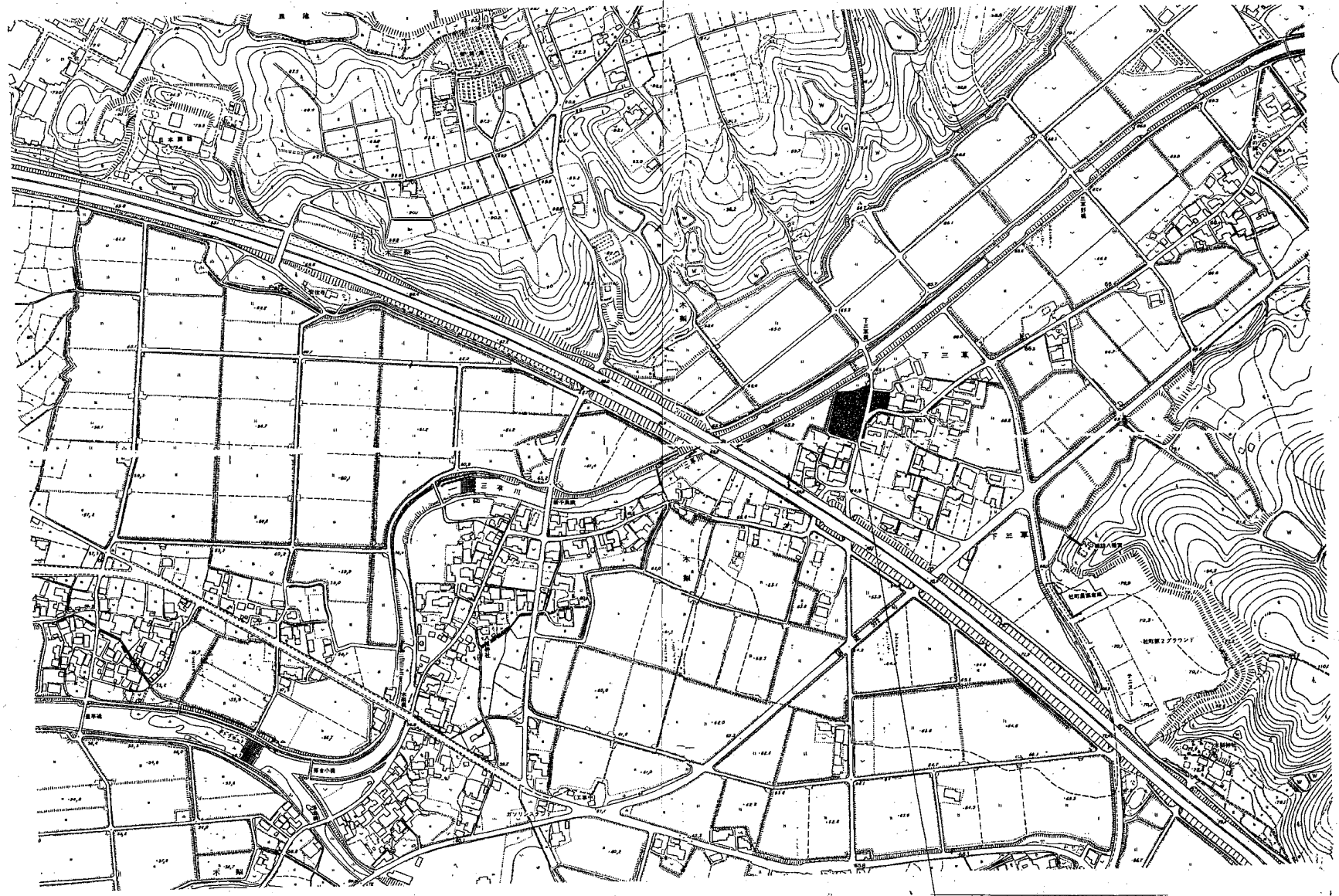
18. アルミ縦ピーディング部　程度　松下電工　メタルシリーズ準不燃タイプ又は同等品以上
　下地　防水シート張とする

19. 硬質塩ビ波材　程度　松下電工　広幅エースワイドストライプ又は同等品以上

工事区分

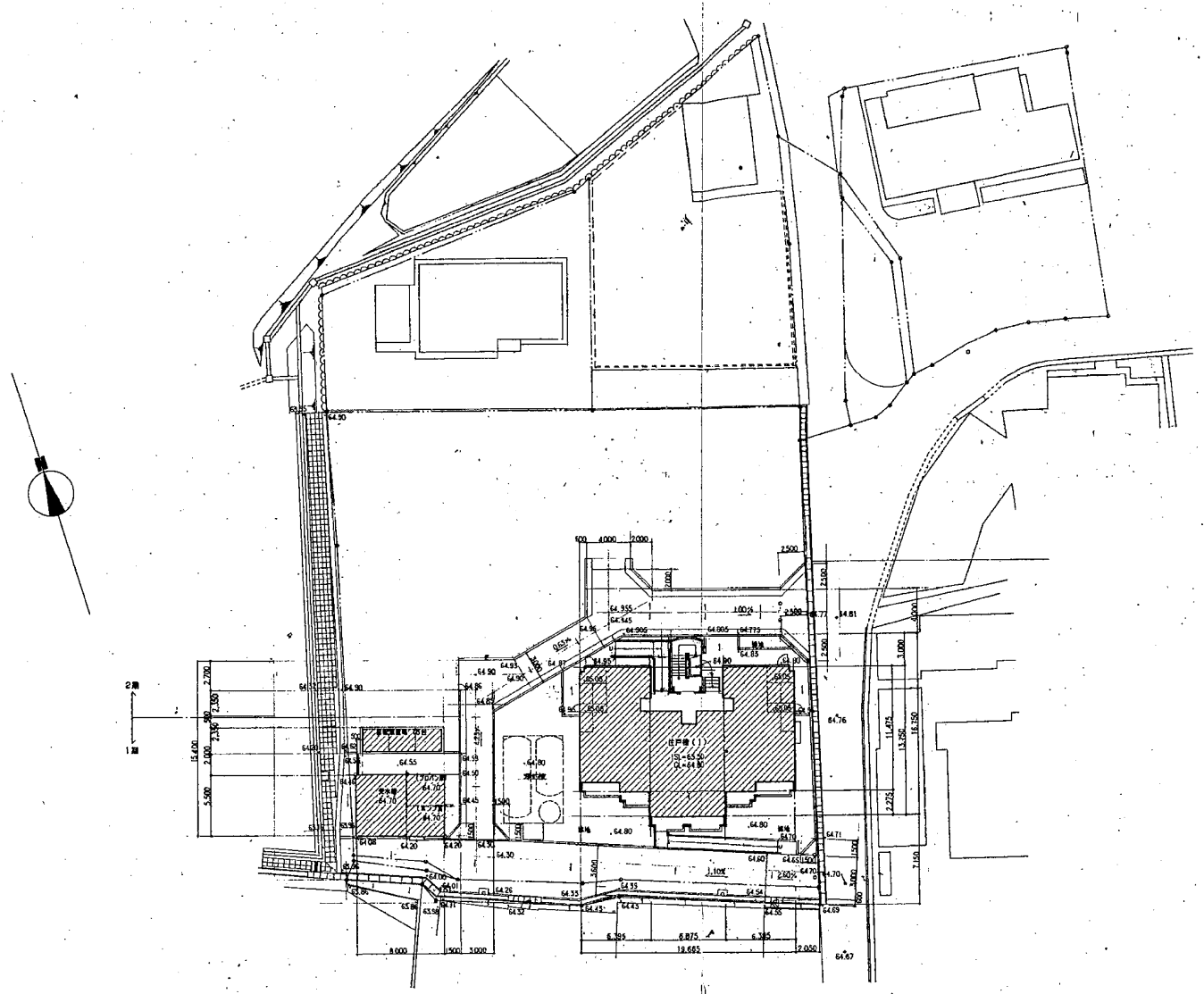
工事項目	建築	電気	機械		
1. 構造躯体のスリーブ及び埋入　同左の躯体補強	○				
2. 同上の穴埋		○	○		
3. 同上仕上及びシーリング	○				
4. 雨水工事（ルーフドレイン、樋類、屋外雨水工事）	○				
5. 壁、天井の照明器具、盤等の開口及び補強	○				
6. 流し台（排水トラップ共）、ガス台	○				
7. 同上ステンレス水切の設備用配管の穴明け	○				
8. 洗濯パン、ユニットバス（トラップ及び排水鋼管共）	○				
9. 同上排水トラップによる貫通の穴埋め	○				
10. 換気扇用フード	○				
11. 洗面化粧台			○		
12. 換気扇及びウェザーカバー（一部・防火ダンパー共）			○		
13. 同上　不燃枠	○				
14. 機器用スリーブ、配線類取付補強	○				
15. 点検口（天井、床下）	○				
16. 木造枠組工法					
設備機器取付用補強	○				
穴明け及び開口補強	○				
機械設備の区画貫通に伴う防火補強	○				
将来手摺の下地補強	○				

No.	大阪住宅建設事務所の発注による三期地区一期改修工事	工事設計図
— A 5 /	特記仕様書（3）	S: D:

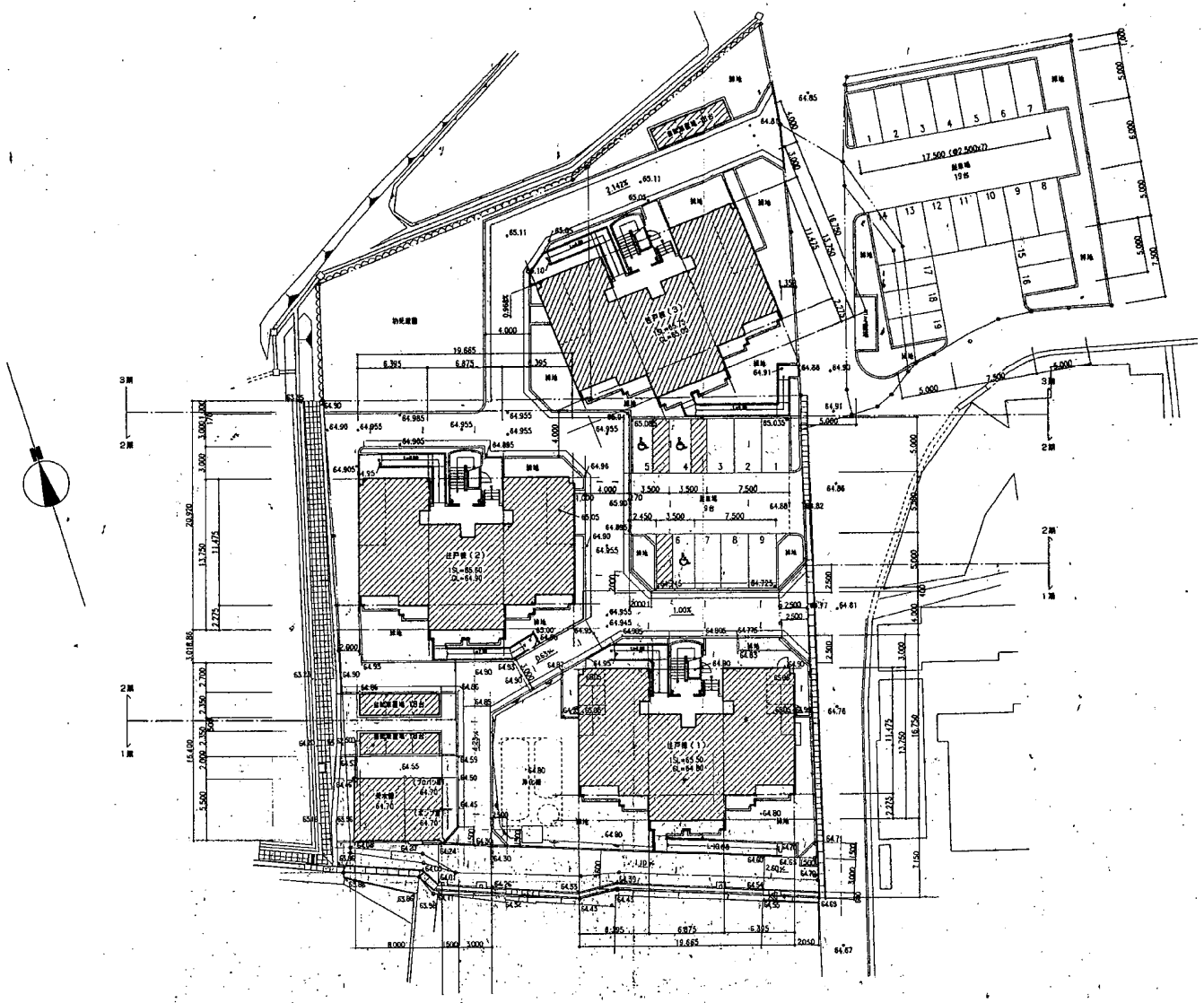


工事場所：広島県呉市広町上三軍字山ノ上375-2、375-3、375-4

No.		工事設計図
A 6	附近見取図	S：1:2,500

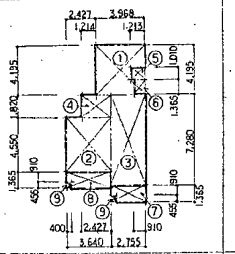


No.	公営住宅整備事業平成１０年度下三軍団地第一期造成工事	工事設計図
－Ａ８／	配置図	S=1:200



No.	公営住宅整備事業平成１０年度下三軍団地　第一期建設工事	工事設計図
— A 7 /	全体配置図	S : 1:200　D :

A タイプ住戸　1:200

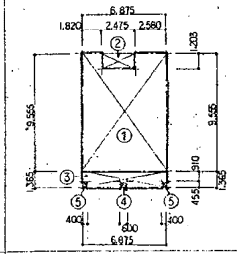


①	4.195 × 3.968	16.645
②	4.550 × 3.640	16.562
③	7.280 × 2.755	20.056
④	2.427 × 1.820	4.417
⑤	1.010 × 1.215	1.225
⑥	1.365 × 0.910	1.242
⑦	1.365 × 2.755 / 3	1.253
⑧	1.365 × 3.640 / 3	1.656
⑨	0.455 × 0.400 × 2/3	0.121

[建]
①-⑤-⑥+②+③+④　55.213 m²

[公]
①-⑤-⑥+②+③+④+⑦+⑧-⑨
56.001 m²

B タイプ住戸　1:200

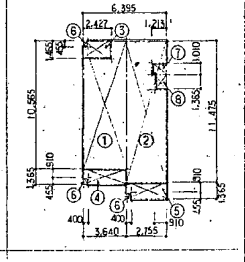


①	9.555 × 6.875	65.690
②	1.203 × 2.475	2.977
③	1.365 × 6.875 / 3	3.128
④	0.455 × 0.600 / 3	0.091
⑤	0.455 × 0.400 × 2 / 3	0.121

[建]
①-②　52.713 m²

[公]
①-②+③-④-⑤　65.629 m²

C タイプ住戸　1:200

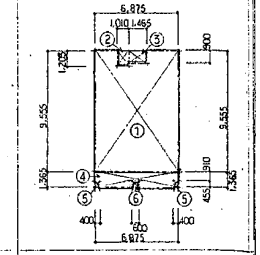


①	10.565 × 3.640	38.456
②	11.475 × 2.755	31.613
③	1.465 × 2.427(/3)	3.555 (1.185)
④	1.365 × 3.640 / 3	1.656
⑤	1.365 × 2.755 / 3	1.253
⑥	0.455 × 0.400 × 3 / 3	0.182
⑦	1.010 × 1.215	1.225
⑧	1.365 × 0.910	1.242

[建]
①-③+②-⑦-⑥　64.047 m² … Ⓐ

[公]
Ⓐ+③+④+⑤-⑥　67.959 m²

D タイプ住戸　1:200

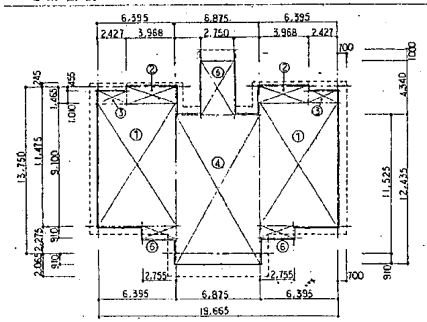


①	9.555 × 6.875	65.690
②	1.203 × 1.010	1.215
③	0.900 × 1.465	1.318
④	1.365 × 6.875 / 3	3.128
⑤	0.455 × 0.400 × 2 / 3	0.121
⑥	0.455 × 0.600 / 3	0.091

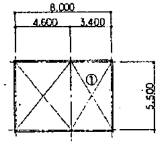
[建]
①-②-③　65.157 m²

[公]
①-②-③-④-⑤-⑥　66.073 m²

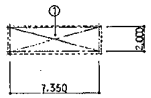
建築面積　1:200



住戸棟



設備棟

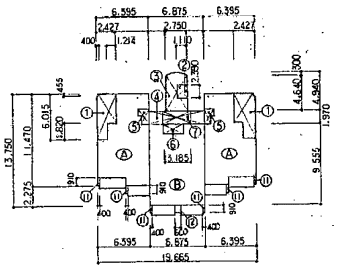


自転車置場

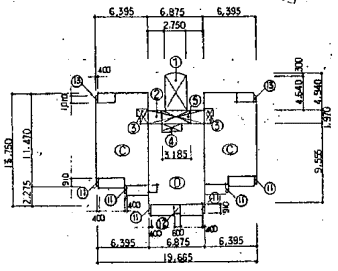
住戸棟		
①	9.100 × 6.395 × 2	116.389
②	1.465 × 3.968 × 2	11.626
③	1.010 × 2.427 × 2	4.902
④	11.525 × 6.875	79.234
⑤	2.750 × 4.34	11.935
⑥	0.910 × 2.755	2.507
	(1棟分)	226.593 m²

設備棟・自転車置場		
設備棟		
①	5.500 × 3.400	18.70
		18.70 m²
自転車置場		
①	2.000 × 7.350	14.700
		14.70 m²

床面積表　1:300



(1 F)



(2, 3 F)

		1 階		2 階		3 階	
建築基準法	居住部分	Ⓐ 55.213 × 2	110.426	Ⓒ 64.047 × 2	128.094	Ⓒ 64.047 × 2	128.094
		Ⓑ	62.713	Ⓓ	63.157	Ⓓ	63.157
		⑩-⑫ 0.40 × 0.91 × 6 + 0.60 × 0.91	2.730	⑩+⑫+⑬ 0.40×0.91×6 + 0.6×0.91 + 0.4×1.01×2	3.538	⑩+⑫+⑬	3.538
		小計	175.869 m²	小計	194.789 m²	小計	194.789 m²
	共用部分	⑤ (1.225 + 1.242) × 2	4.934	⑤ (1.225 + 1.242) × 2	4.934	⑤ (1.225 + 1.242) × 2	4.934
		⑥ 1.203 × 2.475	2.977	⑥ 1.215 + 1.318	2.533	④ 1.215 + 1.318	2.533
		⑦ 1.970 × 3.185	6.274	⑤ 1.970 × 3.185	6.274	⑤ 1.970 × 3.185	6.274
		約廊下幅〜階段 1.242 × 2 + 1.203 × 1.465 + 6.274	−(10.520)	約廊下幅〜階段 1.242 × 2 + 1.318 + 6.274	−(10.076)	約廊下幅〜階段 1.242 × 2 + 1.318 + 6.274	−(10.076)
		小計	14.185 m²	小計	13.741 m²	小計	13.741 m²
	物置	① (6.015 × 2.427 − 1.214 × 1.820 − 0.455 × 0.4) × 2	24.413				
		② 1.110 × 2.390	2.652				
		小計	27.065 m²				
		合計	217.119 m²	合計	208.530 m²	合計	208.530 m²
公営住宅法	居住部分	Ⓐ 58.001 × 2	116.002	Ⓒ 67.959 × 2	135.918	Ⓒ 67.959 × 2	135.918
		Ⓑ	65.629	Ⓓ	66.073	Ⓓ	66.073
		小計	181.631 m²	小計	201.991 m²	小計	201.991 m²
	共用部分・物置	① (6.015 × 2.427 − 1.214 × 1.820 − 0.455 × 0.4) × 2	24.413	① 2.750 × 4.640 + 0.607	13.367	① 2.750 × 4.640 + 0.607	13.367
		③ 2.750 × 4.640 + 0.607	13.367	② 1.970 × 6.875	13.543	② 1.970 × 6.875	13.543
		④ 1.970 × 6.875	13.543	③ (1.225 + 1.242) × 2	4.934	③ (1.225 + 1.242) × 2	4.934
		⑤ (1.225 + 1.242) × 2	4.934	④ 1.215 + 1.318	2.533	④ 1.215 + 1.318	2.533
		⑥ 1.203 × 2.475	2.977				
		小計	59.234 m²		34.377 m²	小計	34.377 m²
		合計	240.865 m²	合計	236.368 m²	合計	236.368 m²

建築基準法による面積表

	居住部分	共用部分	物置	合計	不算入部分
3 階	194.789	13.741	—	208.530	10.076
2 階	194.789	13.741	—	208.530	10.076
1 階	175.869	14.185	27.065	217.119	10.520
合計	565.447	41.667	27.065	634.179	30.672

	建築面積	延床面積
住戸棟	226.593	634.179
設備棟	18.700	18.700
自転車置場	14.700	14.700
合計	259.993	667.579

容積算定面積　667.579 − (共用部分 30.672 + 物置(車庫)部分 14.70) = 622.207 m²

敷地面積　2754.95 m²

建ぺい率　259.993 / 2754.95 × 100 = 9.44% < 60%

容積率　622.207 / 2754.95 × 100 = 22.59% < 200%

公営住宅法による面積表

	居住部分	共用部分	合計
3 階	201.991	34.377	236.368
2 階	201.991	34.377	236.368
1 階	181.631	59.234	240.865
合計	585.613	127.988	713.601

タイプ別面積表

		A	B	C	D
Ⓐ	戸数	2	1	4	2
Ⓑ	居住面積 計	116.002	65.629	271.836	132.146
Ⓒ	共用面積 計	127.988			
Ⓓ	1戸当り 共用	55.213	62.713	64.047	63.157
	1戸当り 物置(車庫)	2.788	2.916	3.912	2.916
	計	58.001	65.629	67.959	66.073
Ⓔ	1戸当り共用面積 Ⓒ/戸数	127.988/9 = 14.220			
Ⓕ	1戸当り延床面積 Ⓓ+Ⓔ	72.221	79.849	82.179	80.293

No.		工事設計図
— A 11 /	建築面積表	S: 1:200 1:300　D:

外部仕上表

室名	床	巾木	壁	屋根 天井	備考
住戸棟 住戸	住戸玄関 コンクリート@50, 神経筋 ワイヤメッシュ 3.2φ-100×100 同左エチレンフィルム@0.15 敷込み	巾木 モルタル@20, 外周モ引仕上 H=6Lt330	玄関 吊りダイヤ@18 下足 ・アスファルトフェルト 20t ・構造用合板@9 土足・住戸外廊下・通路土間 下足 ・ 一般外壁に倣し (一般直打工法)	屋根 鉄骨に防錆ペイント塗装 L45/10, 一部 建築構造ルーバー設置 下足 ・アスファルトルーフィング940 + 構造用合板@12 軒裏 外壁用不燃軒天材@15, 塗装あ 下足 ・外壁用不燃軒天材, @15, 塗装あ	軒裏 ・外壁に鉄筋コンクリート造, 無筋, ラスモルタル, 外壁 10, 目荒P仕上げ@50 屋根 ・ガラスVP, 750,
共用部	床 FRP防水, ハスリップ型 下足 ・モルタル+@84-51 (断熱材) ワイヤメッシュ 3.2φ-100×100 構造用合板@15 防水用ルーフ@6 廊下 床 土間C, W=125 土間打仕上げ	FRP防水立上げ H=SL+150 下足 ・モルタル@20, 目ラス入 構造用合板@9	手スリ部 ロックウール@50, 40ア 手スリ(B) 手スリ(A) ・アルミ製下枠 ・ 一般外壁に倣し (一般直打工法) 手スリ 手スリ(A) ・アルミ製下枠 ・ 一般外壁に倣し (一般直打工法) H=1,000, 下足 ・内部用アルミ製下枠 W=200	天井 ・外壁用不燃軒天材, @15, 塗装あ 玄関部 ・ 外壁用不燃軒天材 @15 塗装あ 下足 ・GB-R@12.5+12.5	屋根 ・ロックアルミ65φ, 竪樋 ・ 呼び径 ガラスVP65φ 下足 ・アルミ(ロン外部階段(RC階段) 取付, 既存工事)
住戸	床 FRP防水, ハスリップ型 下足 ・モルタル@40, 目ラス入 構造用合板@15 防水用ルーフ@6 廊下 床 土間C, W=100, 構造打設あ	FRP防水立上げ, H=SL+150 下足 ・モルタル@20, 目ラス入 構造用合板@9	手スリ部 鉄筋 ロックウール@50, 40ア 手スリ(A) ・アルミ製下枠 ・ 一般外壁に倣し (一般直打工法) 手スリ(A) ・アルミ製下枠 ・ 一般外壁に倣し (一般直打工法) H=1,000, 下足 ・内部用アルミ製下枠 W=200 廊下部手スリ アルミ製下枠 アルミパンチカーテル H=100 ・ 一般外壁に倣し 下足 W=200	天井 ・外壁用不燃軒天材, @15, 塗装あ 玄関 ・ 一般外壁に倣し	ロックアルミ65φ, 竪樋 ・ 呼び径 ガラスVP65φ ステンレス製遮音ルーバ, 廊下部 ステンレス製グラス,
商業	廊下, 階段 ウレタン防水, ハスリップ型 下足 ・モルタル@50, 補強 ワイヤメッシュ 3.2φ-75×75 踊り上 ウレタン防水立上げ 廊下 廊下に倣し	ウレタン防水立上げ H=50	階段外部手スリ 手スリ(B) ・アルミ製下枠 ・ 一般外壁に倣し (一般直打工法) 床受材部 H=1,100 階段中部手スリ 手スリ(C) ・アルミ製下枠 ・ 一般外壁に倣し (一般直打工法) 床受材部 H=1,100 階段中部手スリ ビニル手スリ 34φ 共用部 (C) 廊下 モルタル@20, 防水用ルーフ@6	屋根 ・鉄筋コンクリート造, 一部 鉄骨造, 防水 ガラスVP, 750 天井 ・外壁用不燃軒天材@15, 塗装あ	軒裏 ・ガラス張に鉄筋, 無筋, ラスモルタル, W=16, 目荒P仕上げ750 屋根 ・ガラスVP, 750, ロックアルミ 65φ 竪樋, 呼び径 ガラスVP65φ, 階段部 ステンレス ・ ガラス750, ・ 排水量 ・ 排水量 ボルクス, 排水口部, 排水口部, ステンレス 排水管プラン, 下段 ドア金物,

内部仕上表

室名	床面	床	巾木	巾木高	壁	壁厚	天井	天井高	備考
住戸棟, A.C.D.タイプ住戸 玄関	SL+48	ビニル床 ウレタンシート @2.5 パラライトコンクリート @65.7 ; 構造用合板 構造用合板@15	上部 木製 塩ビシート貼 下部 木製 塗装あ	65 20	ビニルクロス GB-R @12.5+12.5		ビニルクロス GB-R @12.5+12.5	2,220	木製 H=35 塩ビシート貼 洗面所ボウル工事 @600 二面に付鏡板 木製 H=45 SOP
ホール	+68	ビニル床 ウレタンシート @3.5 パラライトコンクリート @64.5 構造用合板@15	木製 塩ビシート貼	65	ビニルクロス GB-R @12.5+12.5		ビニルクロス GB-R @12.5+12.5	2,200	木製 H=35 塩ビシート貼 二面に付鏡板 木製 H=45 SOP
E.D.K	+68	ビニル床 ウレタンシート @3.5 パラライトコンクリート @64.5 構造用合板@15	木製 塩ビシート貼	65	ビニルクロス GB-R@12.5+12.5 浴室部 ・ 化粧ステンレス張@5.5 ミル目仕上 + GB-R@12.5+12.5		ビニルクロス GB-R @12.5+12.5	2,345 (2,397)	木製 H=35 塩ビシート貼 洗面 ユニット鏡 ・ 木製 H=45 SOP, 洗面カウンター, ステンレス上面 (見切材) 二面に付鏡板 木製 H=45 SOP, 洗面カウンター, ガラス取付洗面 SOP ガラス取付ミラー, 手洗水栓口, 住戸用排水管,
浴室	+68	タイル張 @5.5 GB-R @12.5 + 構造用合板	タイル張		ビニルクロス GB-R @12.5+12.5		ビニルクロス GB-R @12.5+12.5	2,345 (2,397)	木製 H=35 二面に付鏡板 H=45 ガラス用スポットライト @75φ, ガラス取付鏡板,
洗面	+68	ビニル床 ウレタンシート @3.5 パラライトコンクリート @64.5 構造用合板@15	木製 塩ビシート貼	65	ビニルクロス GB-R @12.5+12.5		ビニルクロス GB-R @12.5+12.5	2,345 (2,397)	木製 H=35 塩ビシート貼 一面に付鏡板 木製 H=45 SOP スポットライト・ガラス取付鏡板 SOP
洗面・脱衣室	+68	ビニル床 ウレタンシート @2.5 パラライトコンクリート @64.5 構造用合板@15, ユニットバス 1418 タイプ パーライトコンクリート @53	木製 塩ビシート貼	65	ビニルクロス GB-R @12.5+12.5 浴室部 GB-R@12.5+GB-S@12.5	木部 SOP	GB-D @9.5 下足 GB-R @12.5+12.5 (防火被覆) 防火被覆 GB-R@12.5+GB-S@12.5	2,141	木製 H=35 塩ビシート貼 洗面用排水パン, 洗面に洗面 (鏡付設備), 洗面室口, 洗面室口, 洗面室口, タイル張, 1室 洗面ボウル L=600,
浴室	+68	ビニル床 ウレタンシート @2.5 パラライトコンクリート @64.5 構造用合板@15	木製 塩ビシート貼	65	ビニルクロス GB-R @12.5+12.5	木部 SOP	GB-D @9.5 下足 ・ GB-R @12.5+12.5 (防火被覆)	2,000	木製 H=35 塩ビシート貼
便所	+68	磁器タイル @5.5 中塗・天端 ・洗面用 洗面ボウル @30 GB-R @12.5+木造床組 構造用合板@15	湿気対策		GB-D@12.5 (洗面ボード) + GB-R@12.5		GB-D@12.5 (洗面ボード) + GB-R@12.5		便器洗口, 天井洗口, 洗面, 天井,
浴室	+68	磁器@5.5 中塗・天端 ・洗面用 洗面ボウル @30 GB-R @12.5+木造床組 構造用合板@15	湿気対策		GB-D@12.5 (洗面ボード) + GB-R@12.5		GB-D@12.5 (洗面ボード) + GB-R@12.5		浴室 ・中塗・天端 浴室 ・ボウル ・ボウル ・天端
浴室		ビニル床 ウレタンシート @3.5 パーライトコンクリート @64.5 構造用合板@15	湿気対策						

No. A-12 | 仕上表 (1) | S. | D. | 工事設計図

5. レディーミクストコンクリート　ＪＩＳ表示許可工場の製造とする。

6. セメント　普通ポルトランドセメント

7. 調　合　単位水量は185kg/m³以下，単位セメント量は270kg/m³以上，
水セメント比は65′／％以下とする。

8. 混 和 剤　ＡＥ減水剤標準形，及び高性能ＡＥ減水剤

9. 各種試験　細骨材洗分量試験，細骨材吸水量試験，コンクリート塩分含有量試験，
アルカリ骨材反応試験，コンクリート圧縮強度試験
但し，強度試験については，コンクリート工法に関する指導要綱
第８条に規定する試験実施機関とする。

10. コンクリート面仕上　・屋根の敷物，張り物等の下地　「建」5.13.1表　1種
・通路等の仕上，防水下地　〃　2種
・屋根防水押えコンクリート仕上　〃　3種
・壁・柱・梁　〃　5種

11. コンクリート補修剤　吹付材　「建」5.13.2表によるＡ種（セメント系下地調整塗材相当）

12. 気温によるコンクリートの強度補正値

15 kg/cm²	30 kg/cm²	45 kg/cm²	60 kg/cm²
15′以上18′未満	9′以上15′未満	5′以上9′未満	3′以上5′未満

6. 型 枠 工 事

1. せき板の種別　コンクリート打放しの上，塗装などの仕上を施すもの「建」6.2.1表・Ｂ種

2. [illegible]　「共仕」6.3.1表による

3. [illegible]　外部隅巾　・20
但し，窓，扉周りの面巾　・15

7. 鉄 筋 工 事

1. 鉄筋の種別　異形鉄筋 A種　・SD295A D10～D16
・SD345　D19

2. 鉄筋の継手　・重ね継手　D19 以下
・ガス圧接継手　D22 以上

3. 鉄筋のあき　「共仕」7.2.2表による　但し，床版下端筋は30mmとする。

4. フープ筋の間隔　11座

5. スターラップ間隔　鉄筋コンクリート標準配筋図による。

6. [illegible]　鉄筋コンクリート標準配筋図による。

7. [illegible]　「共仕」7章3節による

8. 鉄骨工事　材　料　SS400　SSC400
高力ボルト　トルシア形高力ボルト　S10T
溶　接　開発に使い溶接施工を行う
試　験　超音波探傷試験とする
錆 止 め　シアナミド鉛錆止めペイント
アンカーボルトの保持　「共仕」8.10.1表　B種
注意モルタル工法　「共仕」8.10.2表　A種

9. コンクリートブロック工事

1. 補コンクリートブロック　横　筋　C種　普通ブロック
補強筋　SD295A　A種

10. 防 水 工 事

1. [illegible]　「共仕」5.13.1 表の２種

2. FRP防水　屋出防水，歩行用，ノンスリップ工法
製度　双和科学産業　ポリルーフ　MFS-4工法又は同等品以上

3. ウレタン防水　露出防水，歩行用，ノンスリップ工法
補強布張り　乾式工法
「共仕」10章4節塗膜防水による

4. 彩色石綿セメント板　材　料　クボタカラーベスト，コロニアルＸは同等品以上
各 水 切　ガルバリウムカラー鋼板を基本とする
換 気 帽　メーカー仕様による薄型換気帽とする
笠木換気帽　同上の換気帽（雨水の進入抑制付）
又は，屋根面換気設備とする

5. シーリング　・外部　サイディング－サイディング　サイディング－金属
サイディング用変性シリコーン１成型
・シリコーンシーリング材　外部手摺廻り，腰し台，ガス台水廻り部分
但し，水廻り部は，防かび型とする。

11. 石 工 事

1. テラゾーブロック　張石の種類　大理石
仕上　本磨

2. 花 崗 岩　石の種類　赤系統
仕　上　本磨
施工者表示板　花崗岩本磨（赤）W390×H240
文字彫込共
通知板板　花崗岩本磨（赤）W900×H250（外構工事）
文字彫込共

12. 壁 タ イ ル　陶器質タイル100角　ＩＮＡＸミスティ100マット物又は同等品以上

13. 木 工 事　（枠組工法構造関係）

1. 構　造　法第２条九号の三イに該当する準耐火建築物
令第115状の２の２による技術的基準を適用された建築物

2. 工　法　枠組壁工法とする

3. 木材の種類　枠組壁工法構造用製材規格合格品
S-P-F，ユ社 Home-Fir（内部）

4. 木材の等級　・枠組材は全て甲種枠組材　2級とする
但し，406，408，410，412，606，610は...
[illegible]（JIS-F270（スプルース）を含む。）和芳406のみ
5. 木材の含水率　19％以下の乾燥材（工事現場搬入時）

6. 合板の種別　構造用合板のＪＡＳ合格品とする
種類
外壁下地　⑦9　特殊，１類（屋外部分含む）[illegible]
屋根下地　⑦12　1類　2類[illegible]
床下地　屋内　⑦15　1類　2類二丁合板
廊下，バルコニー⑦15特殊　2類　[illegible]

7. 釘　建告第960号及び「公庫仕」による

8. 接合及び補強金物　建告第960号及び「公庫仕」による

9. 防腐・防蟻　建告第960号による
対策　地面から１m以内の構造上主要な部分は防腐・防蟻材又は
これと同等以上の効力の有するものとする

10. メタルプレート　建築基準法第38条の認定工法による工場製作品
トラス　施工時には，構造図，計算書を提出して係員の承諾を受ける

11. 防火仕様　別示

12. 設備との取合い　設備機器取付用補強，穴開け及び開口補強等は本工事内とする

14. 金 属 工 事

1. ドレイン　鋳鉄製　コールタール塗付又は同等品以上　打込型

場　所	種　式	防水工法用	呼　径
廊　下	竪引	FRP防水	45φフロアドレイン
バルコニー	竪引	FRP防水	65φ フロアドレイン
屋上テラス	竪引	塗膜防水	65φ フロアドレイン
設備機	横引	シート防水	75φ ルーフドレイン

2. 樋　硬質　色付硬質塩化ビニール管（カラーＶＰ）　75φ
・樋受金物　ステンレス製
・取付工法　「公共図」　E－325による
・排除口　「公共図」　E－326による

3. 軒　樋　・硬質塩ビ製樋（軒高），スチール芯入 自在ドレイン付，110型
製度　横下電工　大型面とい，アイアン又は同等品以上

4. [illegible]　内部 19型　外部 25型

5. タラップ　ステンレス丸鋼 SUS-304 19φ　W350

6. ノンスリップ　ステンレス製 SUS-304　W40　HL仕上
製度　アトラス　ステンレスノンスリップ　SL-40 又は同等品以上

7. アルミ笠木　アルミ既製品　塗装　無着色無機質化粧合皮張，Wは別図参照
製度　エービー興金　アルウィトラ笠木 MA型　又は同等品以上

8. マンホール　・点検用　鋳鉄製 500φ　T-2 蝶番型，ボルトロック式
製度　カネソウ　MWH　又は同等品以上
・[illegible]　ステンレス製 500角
面図参照

9. 物干金物　物干金物　横付型　アルミダイカスト合成樹脂塗装仕上　L700
拡張式アンカーＭ8，Ｍ8ステンレスボルト止め
製度　新協和　SK－700Ｂ型　又は同等品以上

10. アルミ手摺　支柱，笠木等　アルミニウム合金押出し形材製度
「共仕」部分及び構造品質・性能基準による
塗　装　無着色無機質化粧樹脂合皮張Ｂ－１種
そ の 他　熱膨張，収縮に適応する組立金具を設ける
アルミ手摺(A)　アルミ笠木一体型，7.5ミニ段笠木付バイプ H=1000
パネル　アルミパンチングメタル　⑦2
外部面　クロス塗化粧材付
下部笠木　W=200
アルミ手摺(B)　7.5ミニ段笠木付バイプ（パネル持出し型）H=1100
床文持型（鉄骨面に補強支柱を溶接止め）
パネル　アルミパンチングメタル　⑦2
アルミ手摺(C)　アルミニ段笠木手摺子タイプ　H=1100
床文持型（鉄骨面に補強支柱を溶接止め）
アルミ笠木手摺　アルミ笠木一体型　H=150　丸型
下部笠木　W=200

11. ビニル手摺34φ　半硬質塩ビ製，鉄芯入Ｄ 34φ　端部はＲエンド型
受金物，アルミ合金押出型材，ピッチ@900　内外
外部　製度　ナカ工業　グラハン　O－34G　又は同等品以上
受金物，同上用受金物　AE－1　又は同等品以上

12. 補助手摺　ステンレス鏡面塗コーティング材34φ
Ｉ型　L=450，L=600，L=800
Ｌ型　L=600+700，L=800+700
製度　ナカ工業　ソフトバンドＦＰ－34ＶＵ　又は同等品以上

13. タオル掛　ステンレスパイプ　19φ，φ450，受金物亜鉛ダイカスト
製度　新協和　SK－T450型　又は同等品以上

14. 道路ハッチ　床埋設式道路蓋具，ステンレス製，ブザーライト付
固定クラップ型
製度　ナカ工業　クスカール　SPG-108　又は同等品以上

15. 軒天換気グリル　鋼板製樹脂塗装仕上　防火ダンパー付　340×430
製度　新協和SK－ND－200×400型　又は同等品以上

16. 床下換気口　鋳鉄製コールタール塗付，ステンレス防虫網付　W420×H170
製度　新協和SK－2420型　又は同等品以上

17. 排気ガラリ　ステンレス鏡面型フード付ガラリ 150φ
ステンレス防虫網付
[illegible]

18. 住棟表示板　ステンレス製　棟号　H=700
製度　新協和SK－7030型　又は同等品以上

19. ステンレス溝蓋　B住戸排水　ステンレス有孔　⑦4　ノンスリップタイプ　溝巾150
ステンレス受枠共
B住戸バルコニー　ステンレスグレーチング　細目　溝幅150
ステンレス受枠共
階段室　ステンレス有孔⑦4　ノンスリップタイプ　溝幅100
ステンレス受枠共

15. 左 官 工 事

1. モルタル塗　・防水モルタルの防水材の使用メーカーは監督員の承諾を得ること。
・目地　廊下の床は，@1200内外で目地を設ける。[illegible]
施工に先立ち目地割計画図を提出し監督員の承諾を得ること。

2. [illegible]　「共仕」15.1.2 による

3. 防水モルタル　金鏡押えとし，防水剤は，マノール，ローテス，セリノール　又は同等品以上

4. パーライト　製度　東邦レオPC－DT法抽抽剤抽金剤3.2×100×100　又は同等品以上
コンクリート　施工時の下地処理（合板下地）
合板継目部　防水シート貼カチオン樹脂塗布
合 板 表 面　付着強度用に強度材布

No.	[illegible]	工事設計図
— A 4 /	特記仕様書（2）	S: — / D:

室名	床	巾木	壁	天井	備考
住戸部 B567住戸 玄関	SL+48 ビニル床シート @2. 中敷工 防湿・防音遮音工法	玄関 塩ビ 本製 塩ビシート貼 35	ビニルクロス.	ビニルクロス 2,200	本製 H=35 塩ビシート貼.
	65 パーライトコンクリート @46~63	中廊下 洋風木製 @35 SOP 235	GB-R @12.5+12.5	GB-R @12.5+12.5 2,220	下面に付幅長 本製 H=65 SOP
	構造用合板 @15	下部 本製 塩ビシート貼. 下駄箱 65~85			
洗面	+68 ビニル床クッションシート @3.5	洗面 塩ビ 本製 塩ビシート貼 35.	ビニルクロス	ビニルクロス 2,200	本製 H=35 塩ビシート貼.
	パーライトコンクリート @65.5	浴室 洋風木製 @35 SOP 235	GB-R @12.5+12.5	GB-R @12.5+12.5	
	構造用合板 @15	下部 本製 塩ビシート貼 65			
L.D.K	+68 ビニル床クッションシート @3.5	玄関 塩ビ 本製 塩ビシート貼 35	ビニルクロス GB-R @12.5+12.5	ビニルクロス 2,345	本製 H=35 塩ビシート貼.
	パーライトコンクリート @64.5	浴室 洋風木製 @35 SOP 235		GB-R @12.5+12.5	
	構造用合板 @15	下部 本製 塩ビシート貼 65	流しまわり・ガスレンジ周辺 不燃ボード @5.5, 3.4 貼り GB-R @12.5+12.5		
食堂	+68 ラワン	ラワン 巾	ビニルクロス	ビニルクロス 2,345	本製 H=35 塩ビシート貼.
	GB-R @12.5		GB-R @12.5+12.5	GB-R @12.5+12.5	
	構造用合板 @15				
押入	+68 ビニル床クッションシート @3.5	洋風木製	GB-D @12.5 (現場ボード) + GB-R @12.5	GB-D @12.5 (現場ボード) + GB-R @12.5	中段、天袋
	パーライトコンクリート @64.5				
	構造用合板 @15.				
廊下	+68 ビニル床シート @2. (耐摩・耐汚染遮音工法)	ビニル床シート @2 塗上げ H=335 335.	浴室壁用 耐熱・遮湿ビニルクロス塗付 @9. 不燃	浴室天井用 遮湿ビニルクロス塗付 @9 2,150	廊下内部 入隅、出隅 不燃
	パーライトコンクリート @66. 軽量・WPD・アクリル樹脂モルタル仕上げ @4 W=300		不燃: 防水シート + GB-S @12.5 + GB-R @12.5 SOP	防水紙 + 不下地 + 合板 @5.5, 1張	廊下天井材 ボードの上塗り材料
	構造用合板 @15		乾燥: 防水シート + 合板 @9 1張	GB-R @12.5 + GB-S @12.5	天井 廊下、洗面所 ボード、ステンレス張り 天井
浴室	+468 浴室セメントタイル 200角 (耐水性タイル) 目地 TB @40	浴室 洋風タイル 100角 FL+100	浴室壁用 耐久性 遮湿ビニルクロス塗付 @9 不燃	浴室天井用 耐熱 遮湿ビニルクロス塗付 @9 1,750	浴室内部 入隅、出隅、水切
	下地 浴室専用 防水モルタル @ 〃 (耐湿 W=100 在来工法)	下地 防水 + RC壁 (下部 CB)	不燃: 防水シート + GB-S @12.5 + GB-R @12.5 SOP	防水紙 + 不下地 + 合板 @5.5. 1張	浴室内部
			RC壁: 防水シート + 合板 @9 1張	GB-R @12.5 + GB-S @12.5	
洗面所・便所	+68 ビニル床シート @2. (耐摩・耐汚染遮音工法)	ビニル床シート @2 塗上げ H=300 335	ビニルクロス 不燃	GB-D @9.5 2,100	本製 H=35 塩ビシート貼
	パーライトコンクリート @66	下駄箱 H=35 塩ビシート貼	GB-R @12.5+12.5 SOP	不下地	天井
	構造用合板 @15			GB-R @12.5+12.5 (防水紙張)	天井
洗面	+68 ビニル床クッションシート @3.5	本製 塩ビシート貼 65	ビニルクロス	ビニルクロス 2,345	本製 H=35 塩ビシート貼.
	パーライトコンクリート @64.5		GB-R @12.5+12.5	GB-R @12.5+12.5	下面に付幅長 本製 H=65 SOP
	構造用合板 @15				
押入	+68 合板 @9.5 下駄 洋風木製 現場塗装 H=4 @50	本製 塩ビシート貼 65	GB-D @12.5 (現場ボード) + GB-R @12.5	GB-D @12.5 (現場ボード) + GB-R @12.5	中段、天袋
	GB-R @12.5 + 不燃合板				
	構造用合板 @15				
玄関ポーチ		A.B. RC打放し 補修	A.B. GB-R @12.5+12.5 現かし	A.B. GB-R @12.5+12.5 現かし	雨ざらし
	モルタル @50 住宅室 (A).(B) SL-450				
	RCスラブ 29.5厚 (C) SL-665	C. CB化粧積	C. 鉄筋 塗装 現かし. 鉄部 SOP		
A.B.C					
M.B.	+74 防水モルタル @74 @93入		GB-R @12.5+12.5 現かし	GB-R @12.5+12.5 現かし	

仕上表 実施基準 (建築工事)

防火設備 (防火戸)

種別				
1	a	住戸 玄関	木製	0.75
	b	住戸 2階 玄関	鋼製	0.82
	c	住戸 居室	鋼製	0.75
	d	住戸 外壁 開口	鋼製	0.90
	e	住戸 界壁	鋼製	0.50+0.50 (ダブル)

外壁面防水工法

種別 場所 住戸部外壁 (バルコニー外部壁及び外壁) 一般部 (ALC 厚さ 100 超) 壁 モ

工記通知工法 (ALC工部A 壁面) 下地 気乾コンクリート (モルタル仕上 @60 目地 B 設ける)

3 屋上防水 住戸部屋上を含む 通常 ALC 防水工法

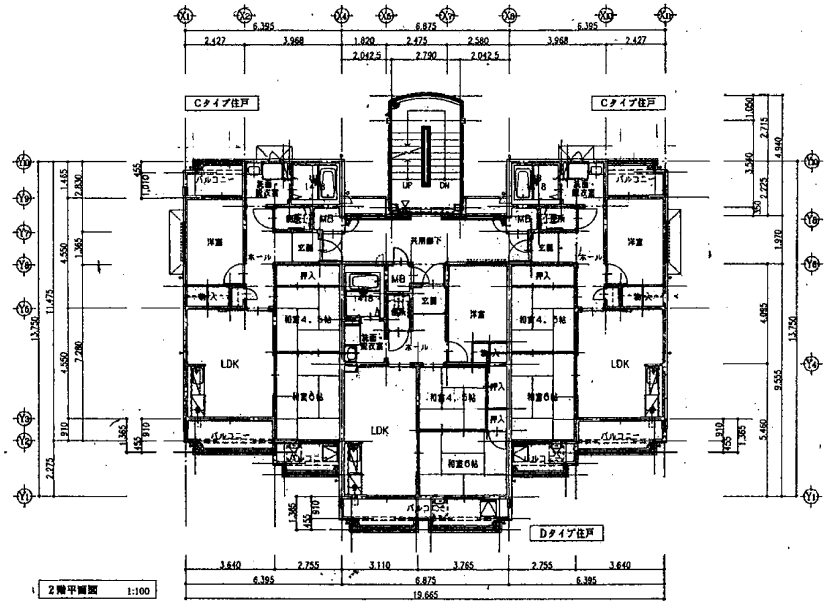
25厚 防水石綿 ロックウール 50 厚 (耐摩 ソリ 防水 剥離 アリ ○ 防水)

屋上 平面 ロックウール 25+5 厚 防水 + 金属 (耐摩 ソリ 防水 剥離 アリ ○ 防水) 特別

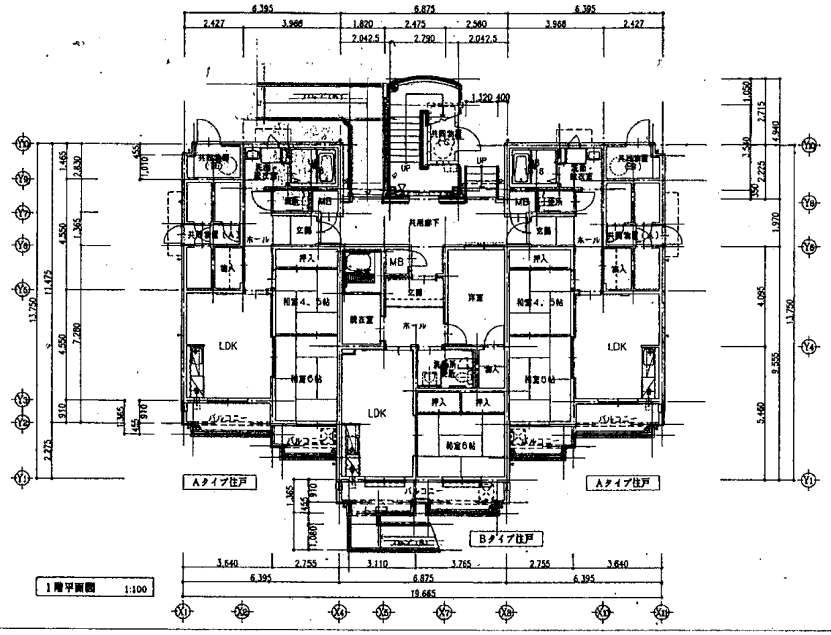
4 ルーフ 防水 工法 65 厚 (仕上 0.700, 2.5 厚 ALC)

5 外壁 屋 65 厚 (仕上 0.700)

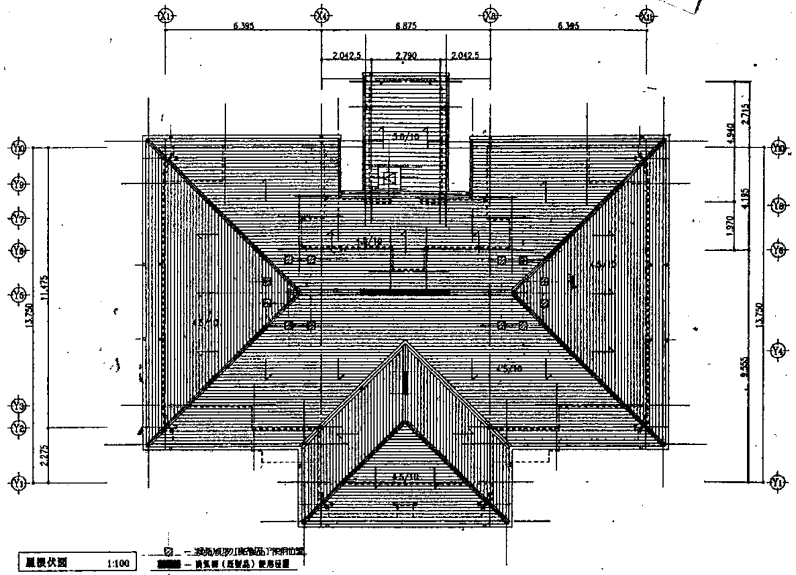
種別	仕上	
	壁	合板
	壁	合板
	壁	合板



2階平面図 1:100

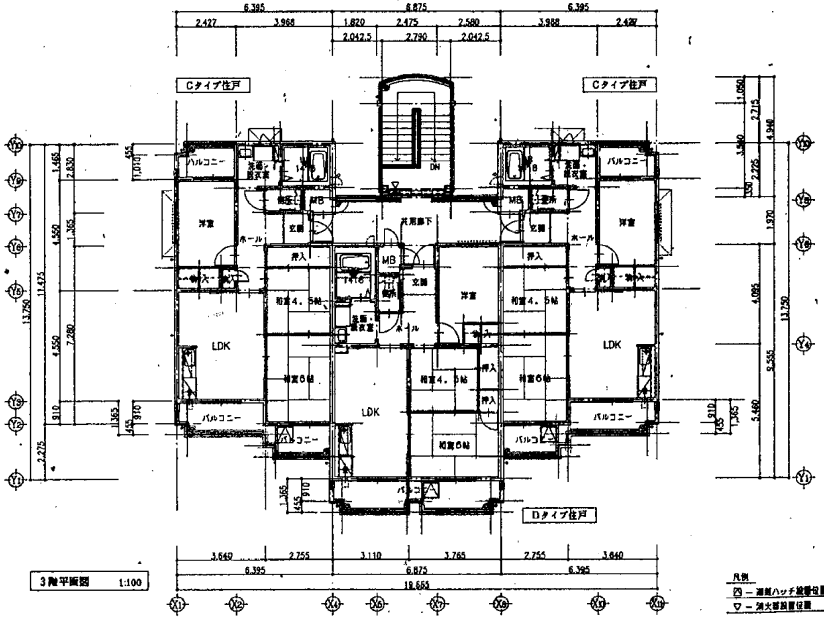


1階平面図 1:100



屋根伏図 1:100

図 － 避難ハッチ設置位置
▽ － 消火器設置位置

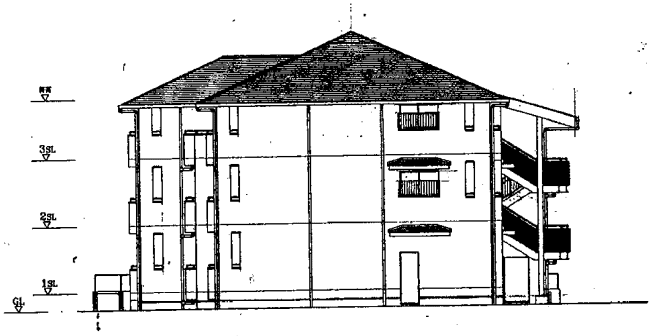


3階平面図 1:100

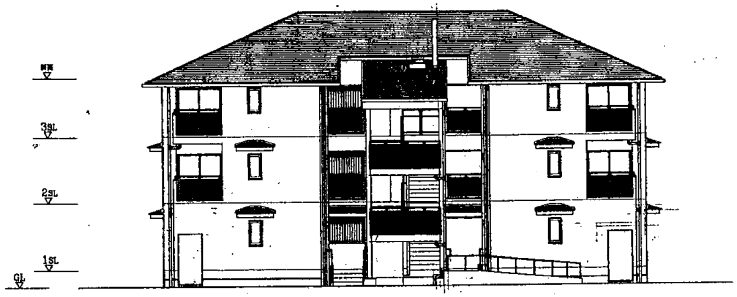
凡例
図 － 避難ハッチ設置位置
▽ － 消火器設置位置

No.	公営住宅整備事業平成10年度下三軍団地第一期建設工事	工事設計図
— A 14 /	平面図、屋根伏図	S : 1:100 D :

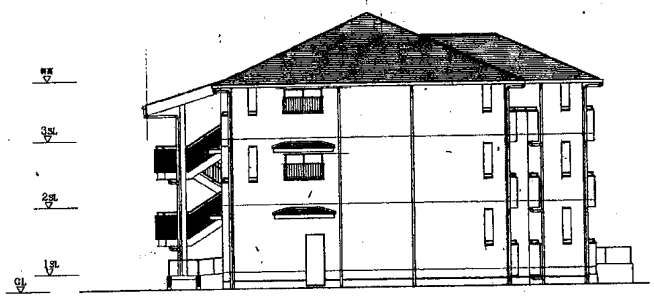
南側立面図　1:100



東側立面図　1:100

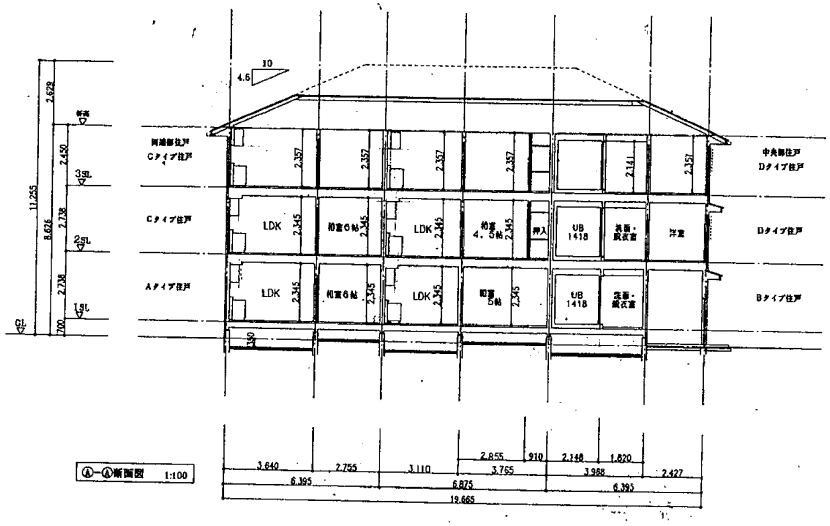


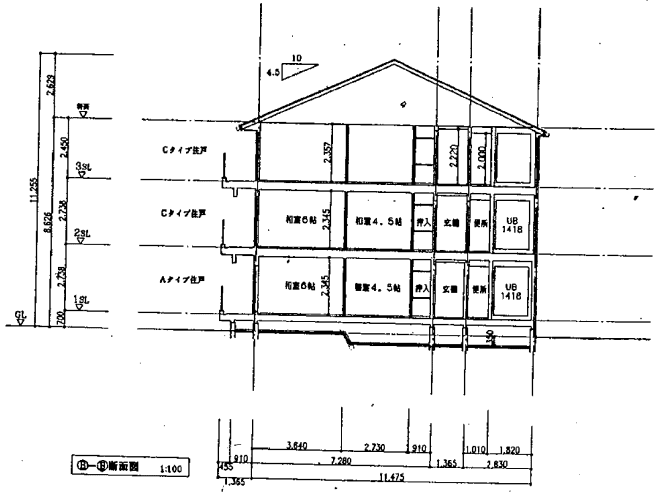
北側立面図　1:100

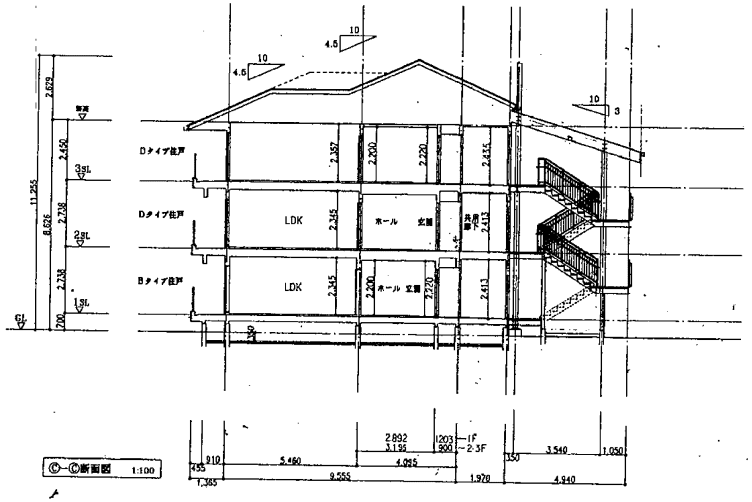


西側立面図　1:100

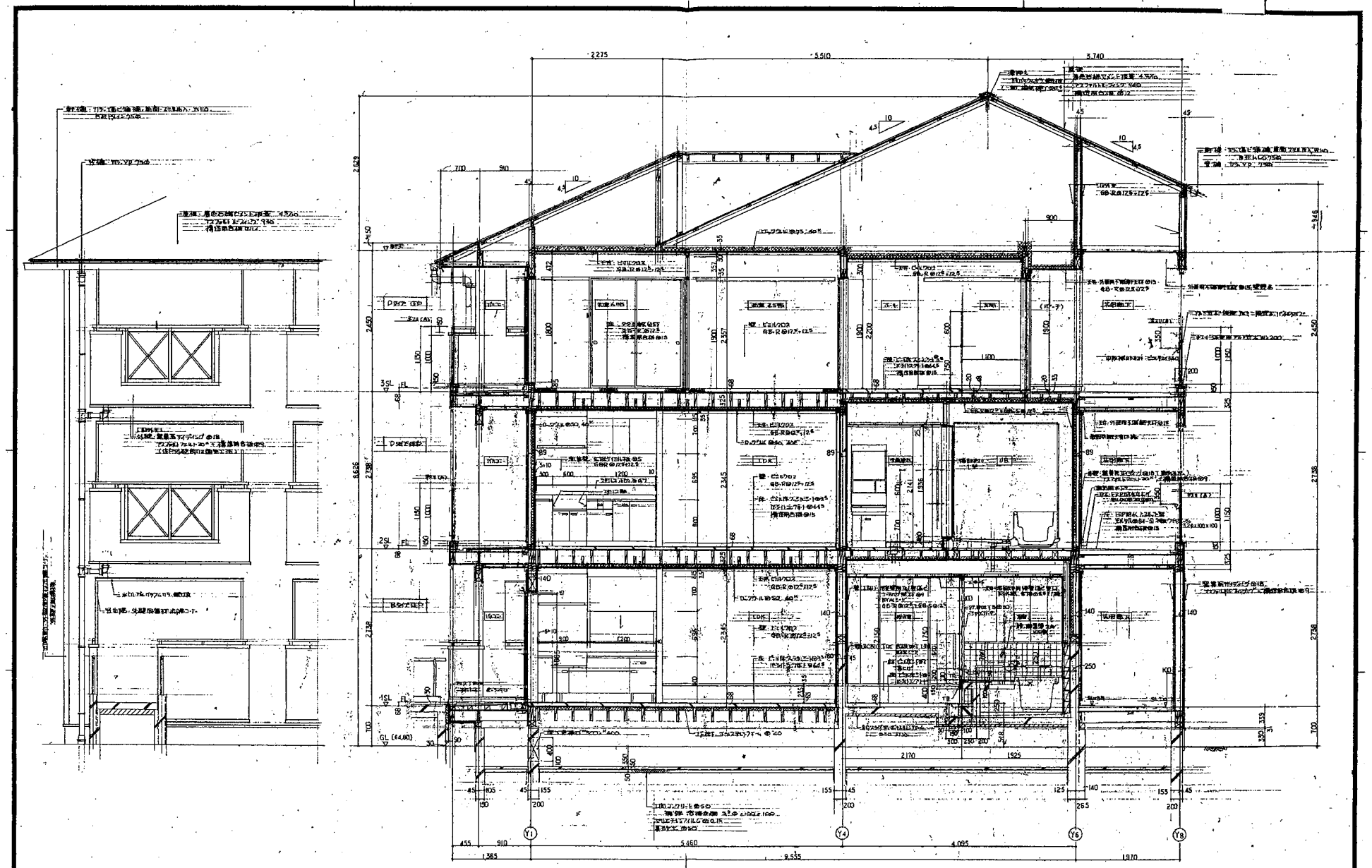
No.	公営住宅整備事業平成１０年度下三軍団地第一期建設工事		工事設計図
— A 15 /	立面図	S : 1:100	D :



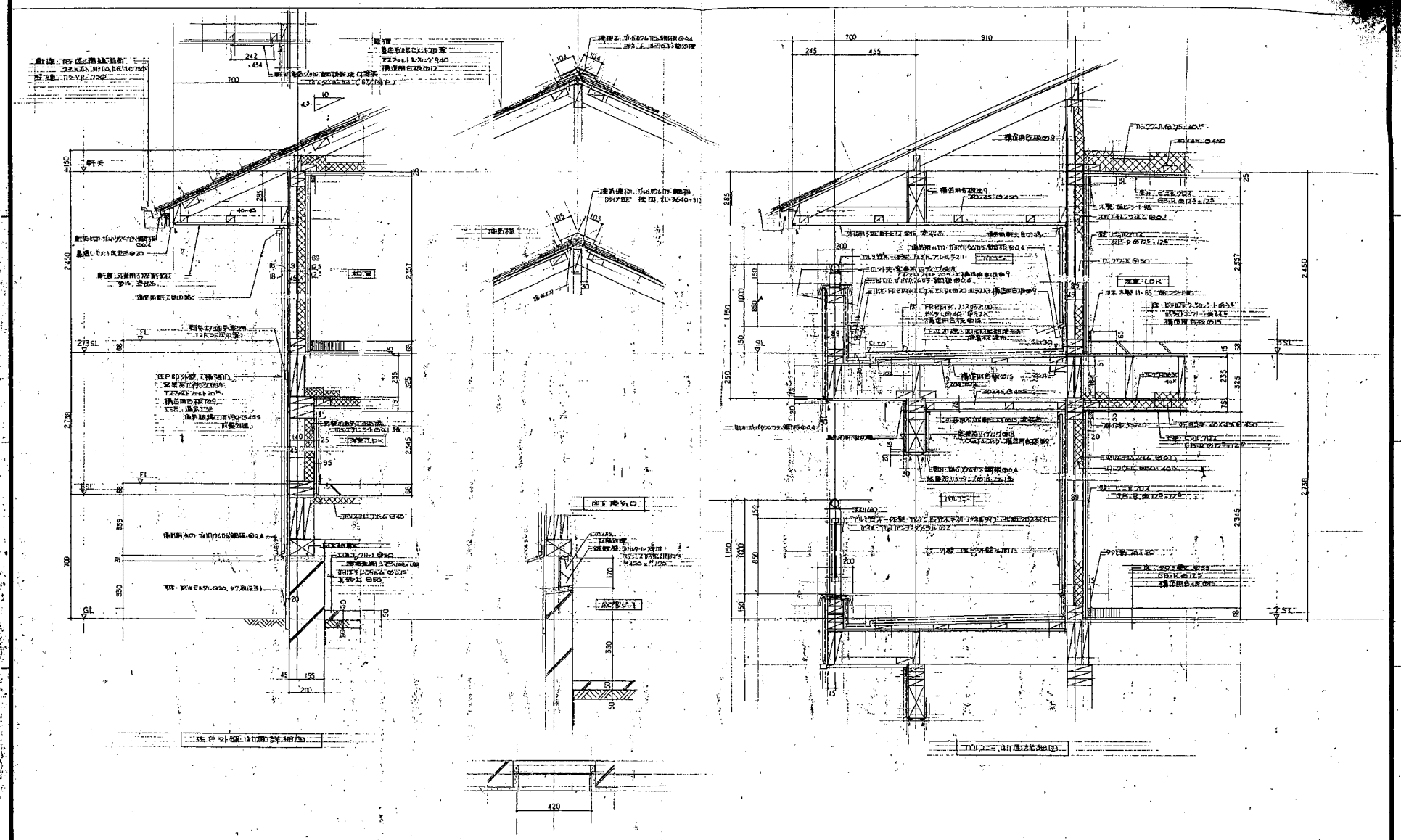




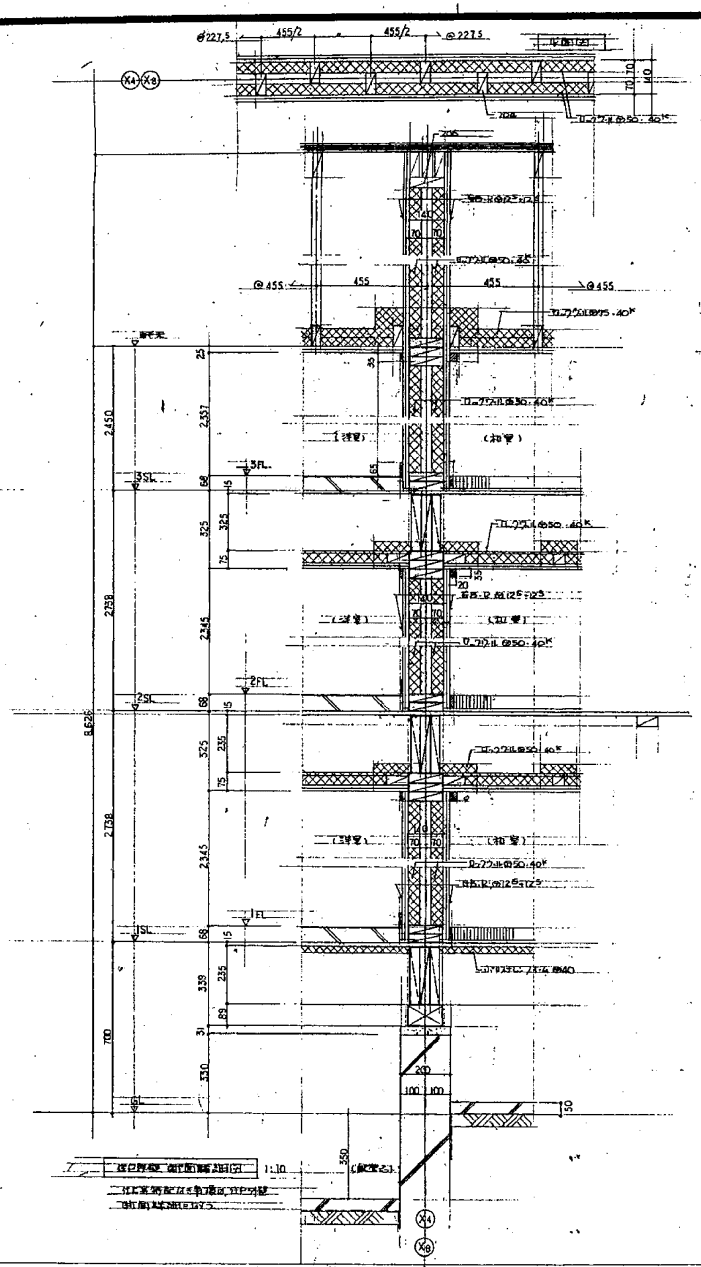
No.	公営住宅建替事業平成１０年度下三軍団地第一期建設工事	工事設計図
— A 16 —	断面図	S : 1:100 D :

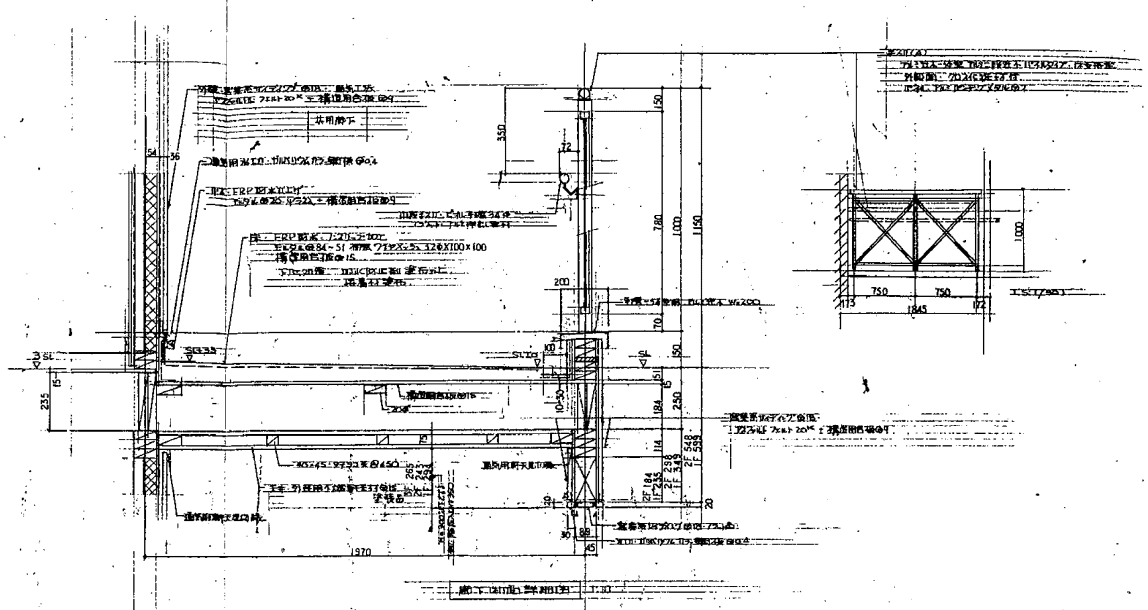


No.		工事設計図
— A 17 /	矩 計 ― 図	S. 1/30

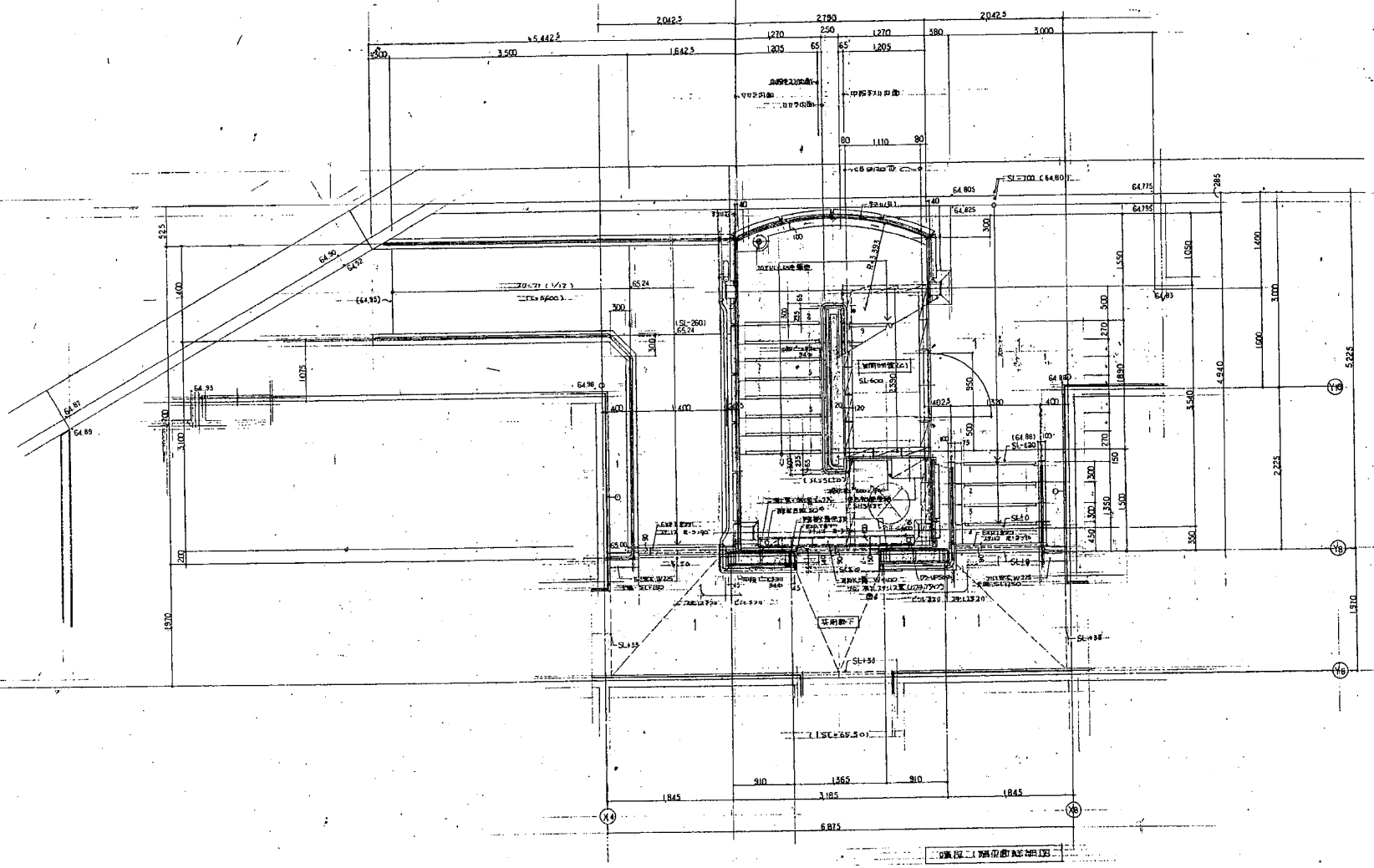


No.		工事設計図
— A 18 —	部分詳細図 (1)	S.C 1:10

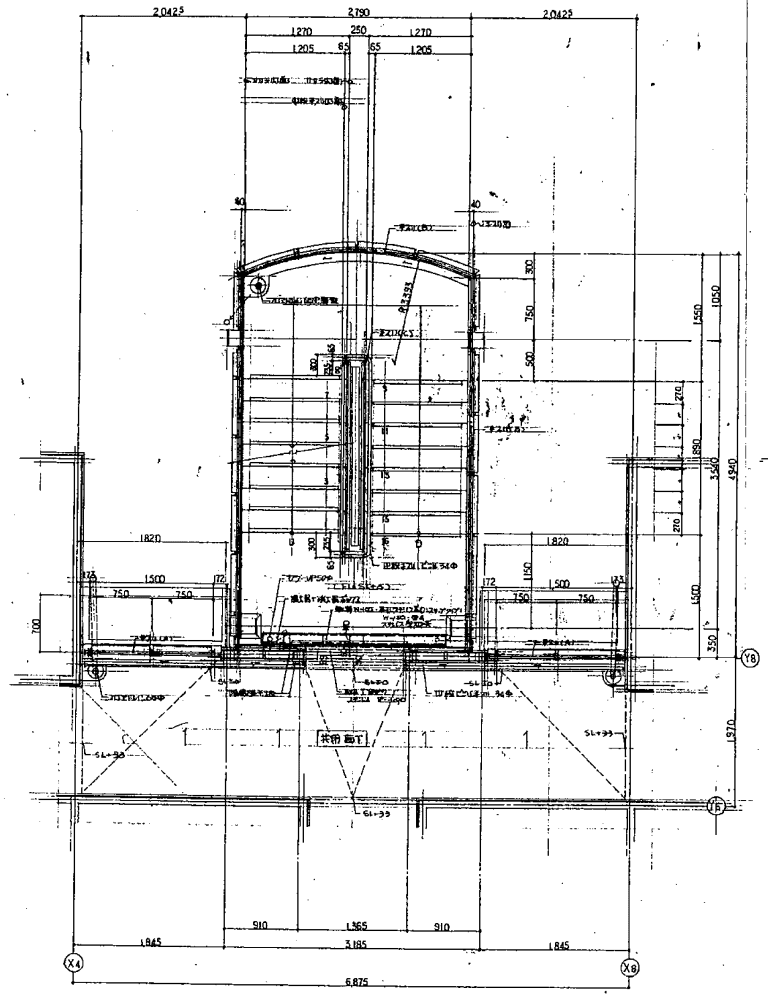




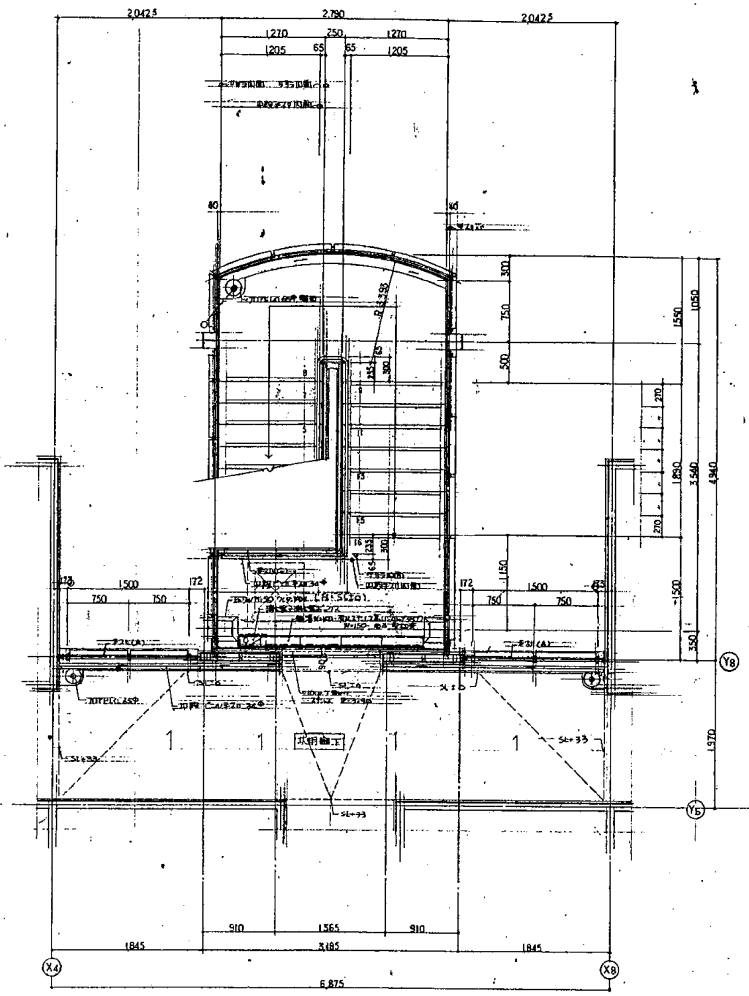
No.		工事設計図
A-15	部分詳細図 (2)	



No.		工事設計図
A 21	階段 平面詳細図 (1)	S: 1:30 D:

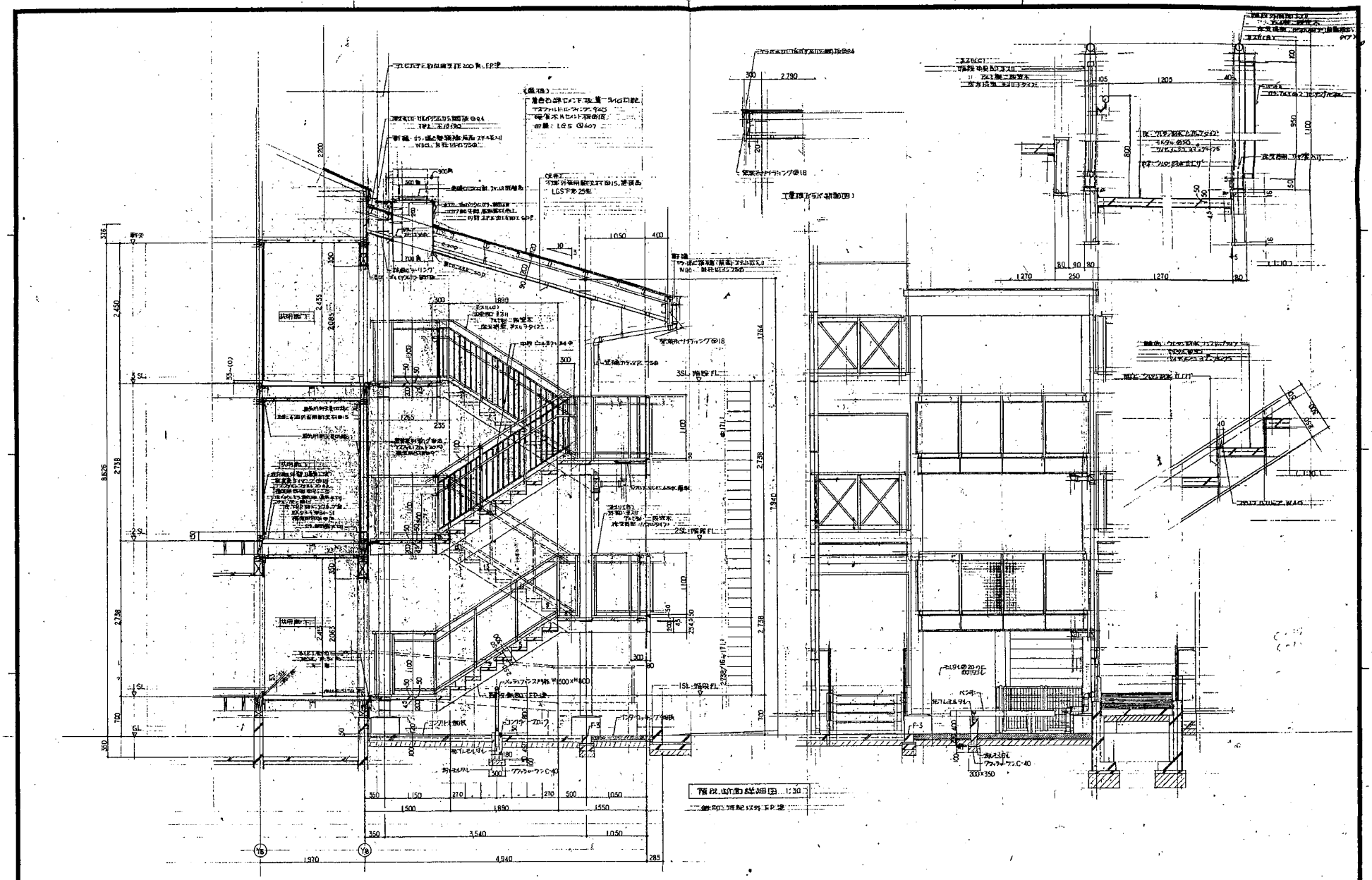


[illegible] 2階平面詳細図 1:30

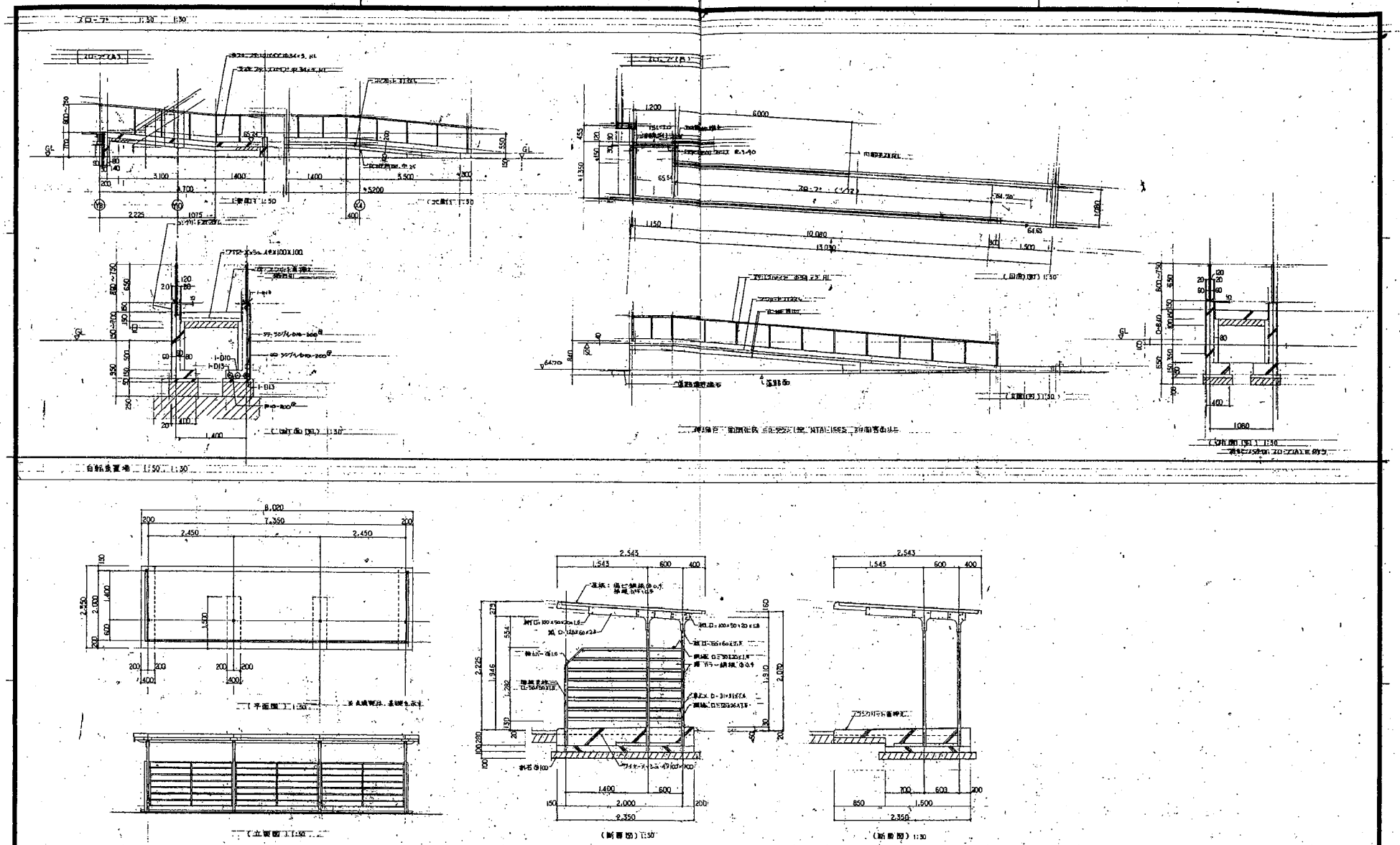


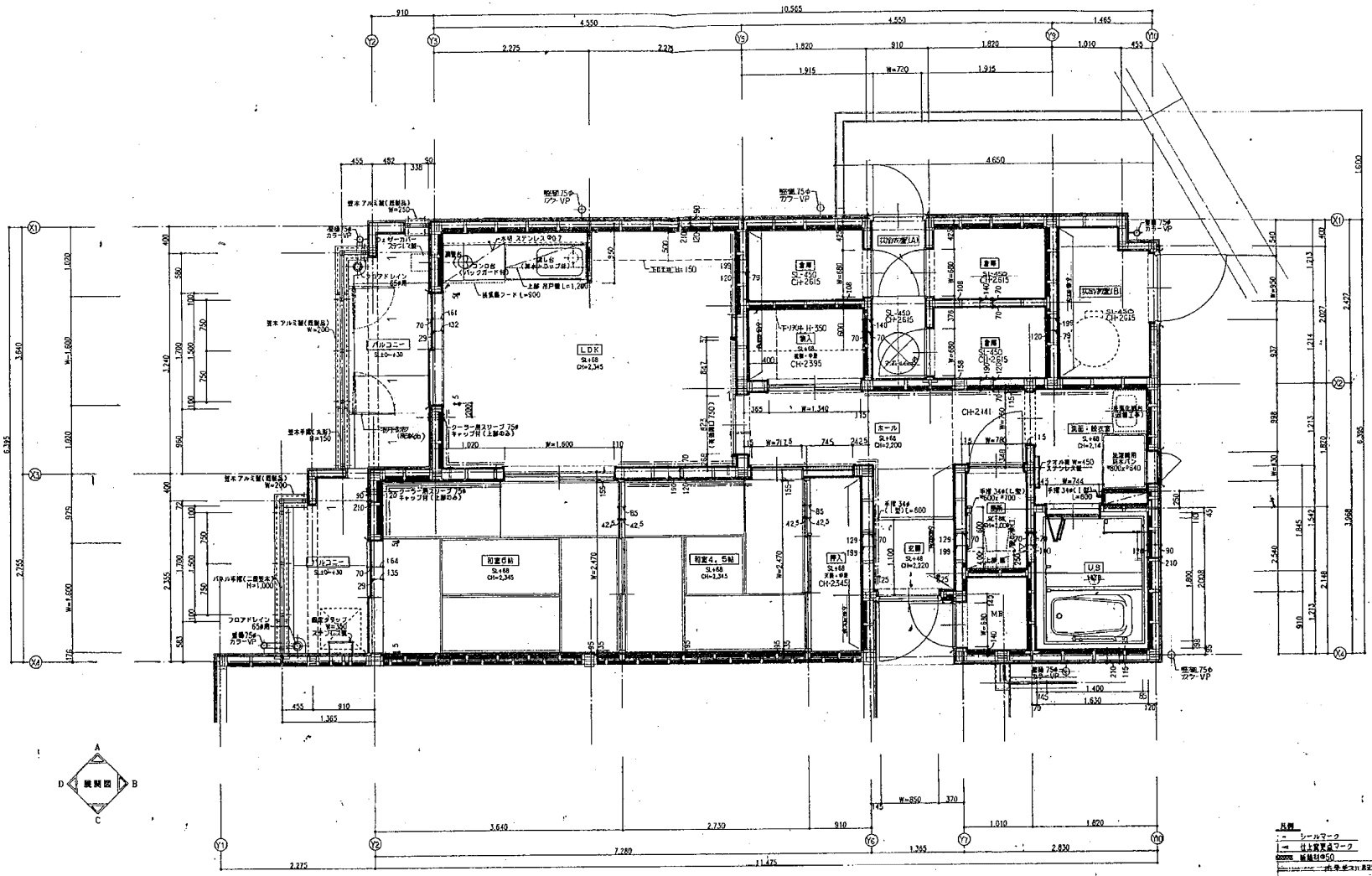
[illegible] 3階平面詳細図 1:30

No.	[illegible]		工業設計図
A 22	1階段・平面詳細図 (2)	S. 1:50	D.



No.		工事設計図
A23	階段 断面詳細図	S 1:3-0, 1:1.0 D.

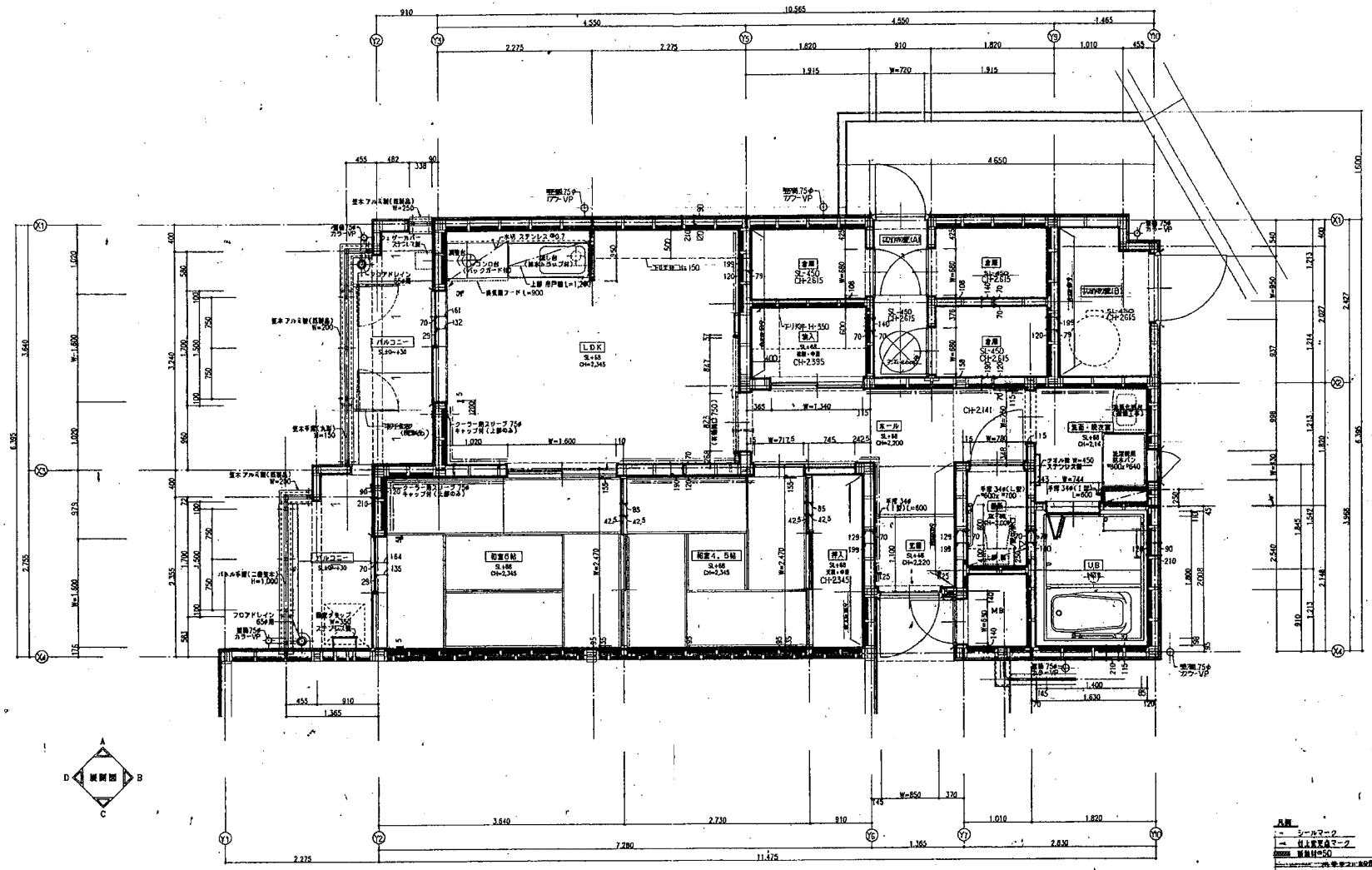

スロープ(A) 1:30 1:30
スロープ(B)
(A断面図) 1:30
(B断面図) 1:50
(C断面図) 1:30
自転車置場 1:50 1:30
(平面図) 1:50
(立面図) 1:50
(断面図) 1:50
(断面図) 1:30
No.
A 24
スロープ(A),(B), 自転車置場詳細図
工事設計図



凡例

- シールマーク
- 仕上変更点マーク
- 植栽ﾋﾓ50
- 点検口
- 各種配管

No.	公営住宅整備事業平成１０年度下三軍団地第一期建設工事	工事設計図
— A 25 /	Aタイプ住戸平面詳細図	S：1:30　D：



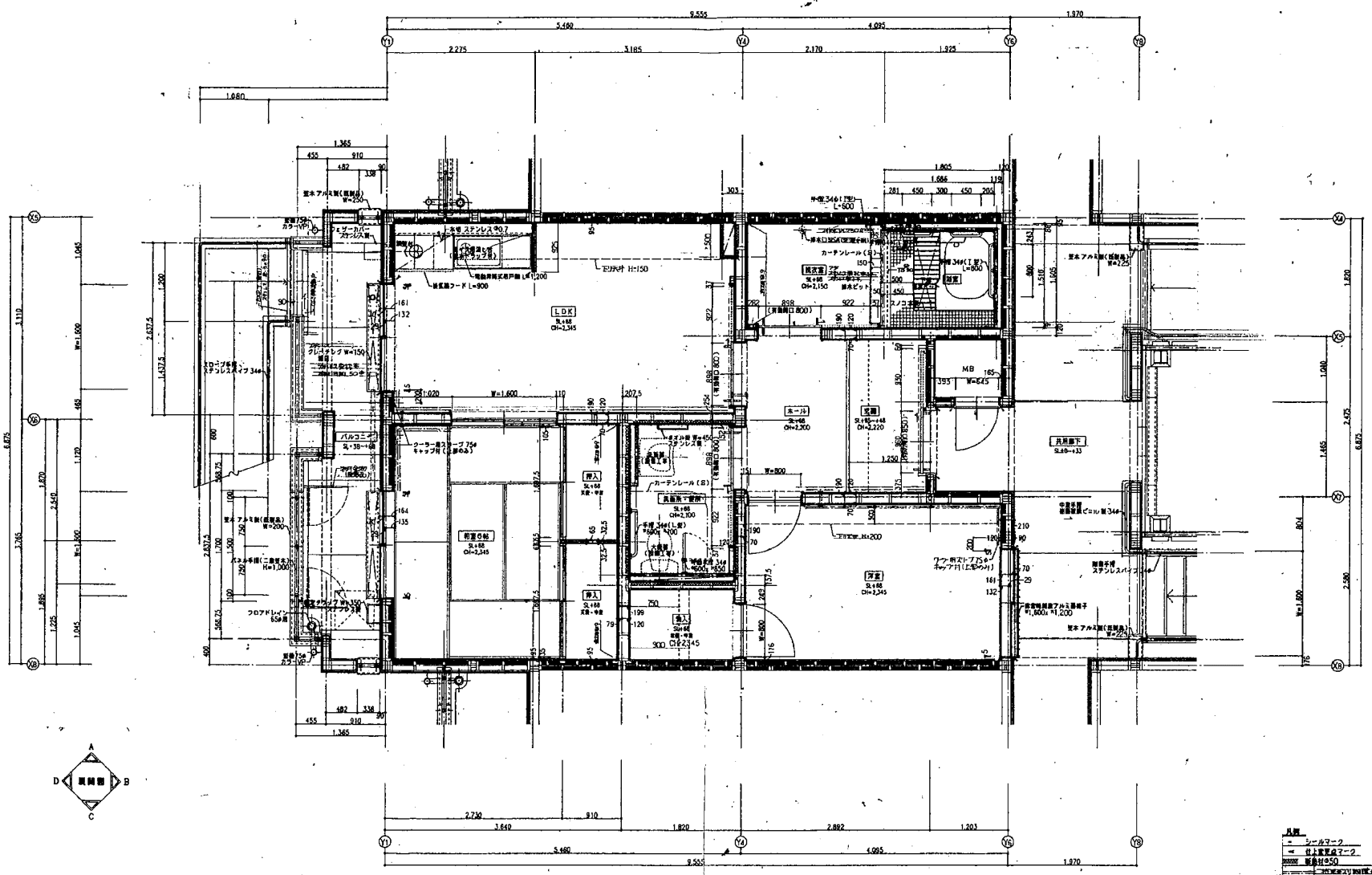
凡例

→ シールマーク2

→ 仕上変更点マーク

縮尺1/50

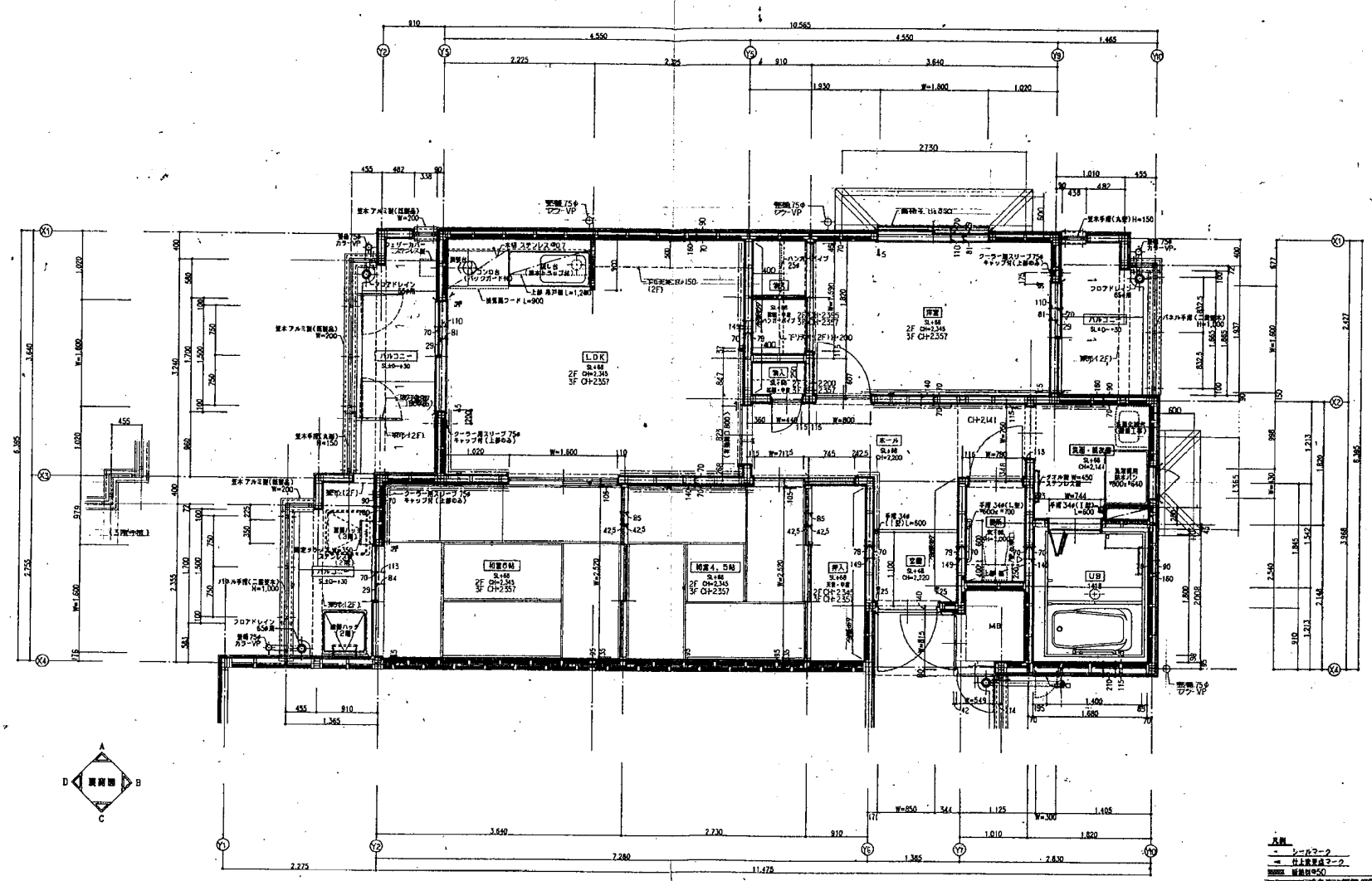
No.	公営住宅整備事業平成10年度下三軍団地第一期建設工事	工事設計図
— A 25 /	Aタイプ住戸平面詳細図	S：1:30　D：



凡例

●	シールマーク
◆	仕上変更点マーク
	解体材050

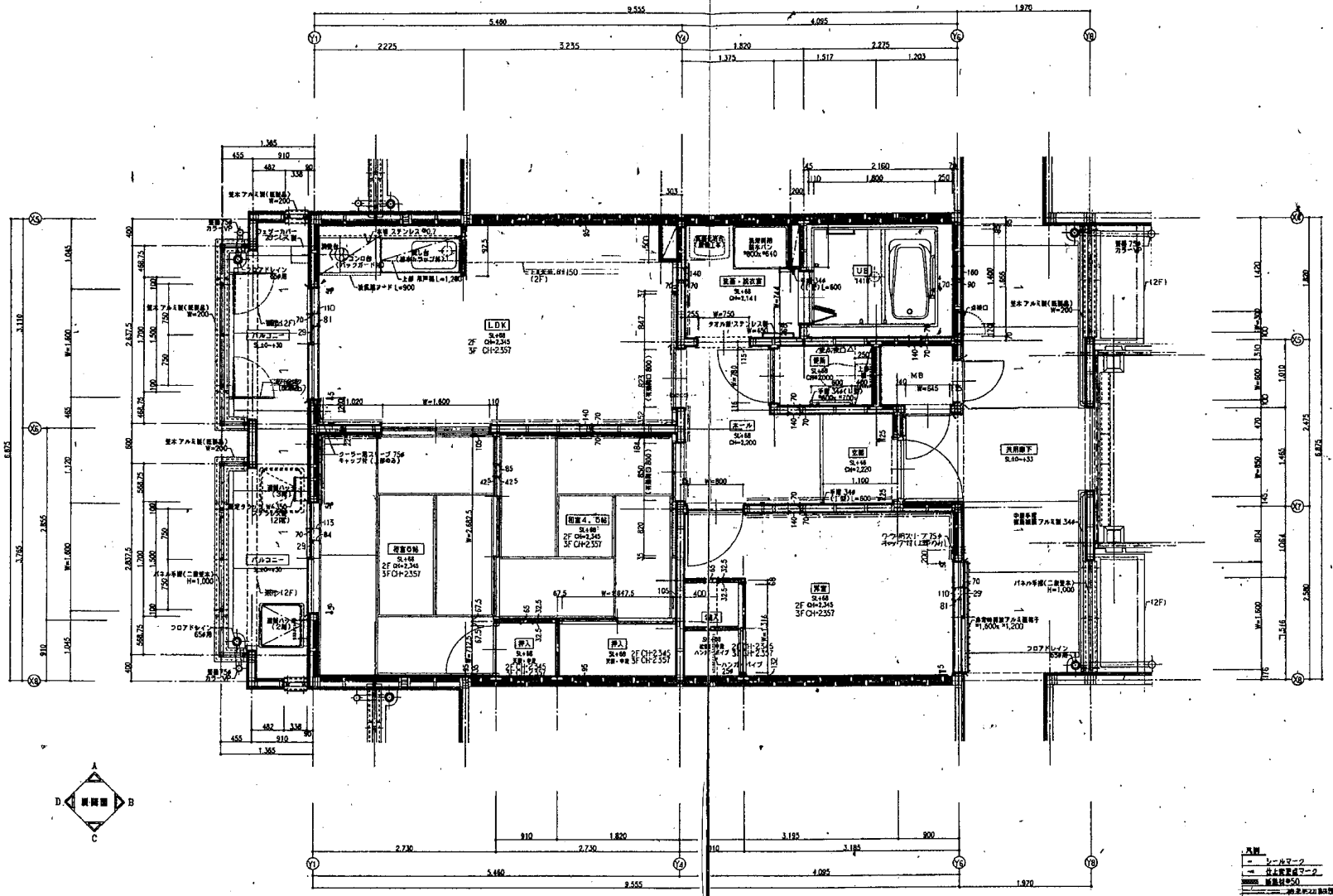
No.	公営住宅整備事業平成１０年度下三軍団地第一期建設工事	工事設計図
― A 26 ／	Bタイプ住戸（身障者対応型住戸）平面詳細図	S：1:30　D：



平面詳細図 1:30

凡例
- シールワーク
- 付上表面塗ワーク
- 補強材@50

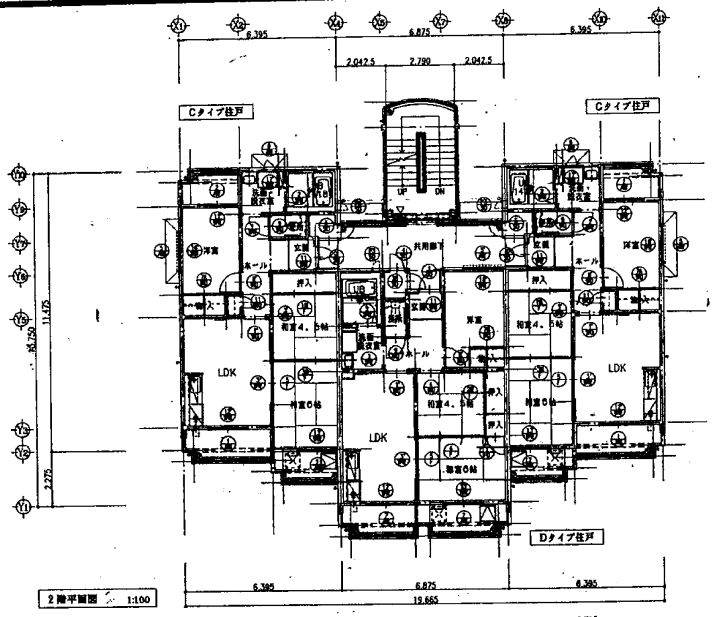
No.	公営住宅整備事業平成10年度下三軍団地第一期建設工事	工事設計図
— A 27 /	Cタイプ住戸平面詳細図	S : 1:30 D :



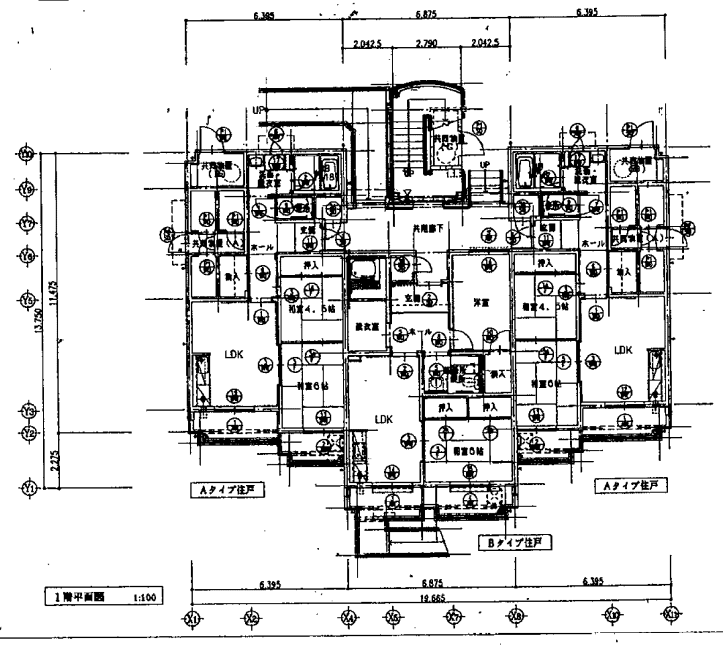
凡例

- シールマーク
- 仕上変更記号
- 鉄筋材 φ50

No.	公営住宅建設事業平成１０年度下三軍団地第一期建設工事	工事設計図
— A 28 /	Dタイプ住戸平面詳細図	S：1:30　D：



2階平面図 1:100



1階平面図 1:100

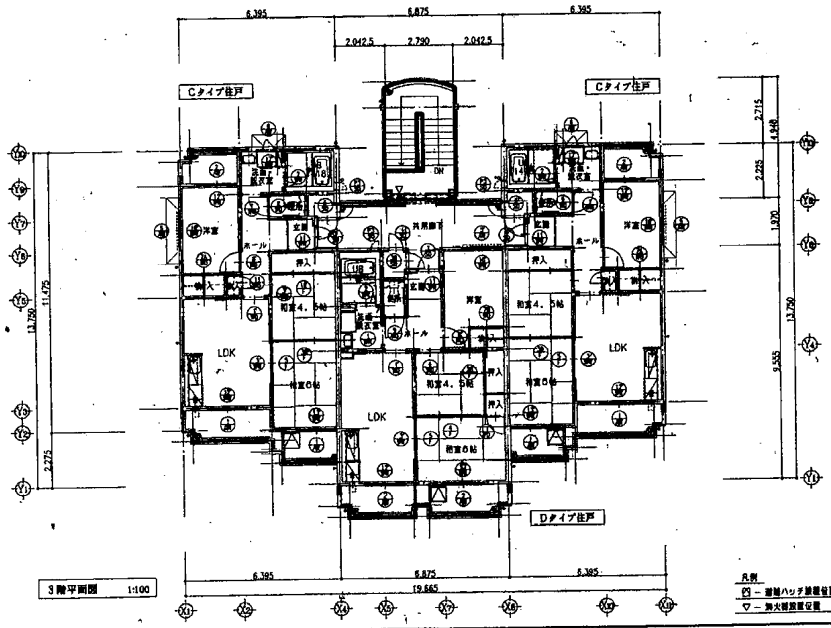
建具箇所数集計表

		戸数	1/SD	2/SD	3A/SD	3B/SD	4/SD	5/SD		1/AW	2/AW	3/AW	4/AW	5/AW	5'/AW	6/AW		1'/WD	1"/WD	2/WD
1階	Aタイプ住戸	2	1 x2 2	—	1 x2 2	—	—	—		1 x2 2	1 x2 2	—	—	—	—	1 x2 2		1 x2 2	—	—
	Bタイプ住戸	1	—	1	—	1	—	—		—	—	1	1	—	1	—		—	—	1
2階	Cタイプ住戸	2	1 x2 2	—	—	—	—	1 x2 2		1 x2 2	2 x2 4	—	—	1 x2 2	—	1 x2 2		—	1 x2 2	—
	Dタイプ住戸	1	1	—	—	1	1	—		—	2	—	—	—	1	—		—	—	1
3階	Cタイプ住戸	2	1 x2 2	—	—	—	—	1 x2 2		2 x2 4	1 x2 2	—	—	1 x2 2	—	1 x2 2		—	1 x2 2	—
	Dタイプ住戸	1	1	—	—	1	1	—		—	2	—	—	—	1	—		—	—	—
共用部			—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—		—	—	—
計		9	6	1	2	3	2	4		8	12	1	1	4	3	8		2	6	1

		戸数	3/WD	3'/WD	4/WD	5/WD	6/WD	7A/WD	7B/WD	8/WD	8'/WD	9/WD	10/WD	11/WD		1/WW	2/WW	3/WW	3'/WW	11/WW
1階	Aタイプ住戸	2	1 x2 2	—	—	—	1 x2 2	—	—	—	—	1 x2 2	—	—		1 x2 2	1 x2 2	1 x2 2		1 x2 2
	Bタイプ住戸	1	—	—	—	2	—	—	—	1	—	—	1	—		—	—	—	1	—
2階	Cタイプ住戸	2	—	1 x2 2	—	—	—	1 x2 2	—	—	1 x2 2	1 x2 2	—	1 x2 2		1 x2 2	1 x2 2		1x2 2	1 x2 2
	Dタイプ住戸	1	—	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—		—	1		1	1
3階	Cタイプ住戸	2	—	1 x2 2	—	—	—	1 x2 2	—	—	1 x2 2	1 x2 2	—	1 x2 2		1 x2 2	1 x2 2		1x2 2	1 x2 2
	Dタイプ住戸	1	—	—	1	—	—	—	1	—	—	1	—	—		—	1		1	1
共用部			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—
計		9	2	4	2	2	2	4	2	1	4	8	1	4		8	8	5	5	8

		戸数	12/WW	12'/WW	13/WW	13'/WW	14/WW	15/WW	16/WW	16'/WW	17/WW	17'/WW		1A/F	1B/F	2A/F	2B/F	3A/F	3B/F	4/F
1階	Aタイプ住戸	2	1 x2 2	—	1 x2 2	—	—	—	—	—	1 x2 2	—		1 x2 2	—	—	—	1 x2 2	—	—
	Bタイプ住戸	1	—	—	—	—	1	1	1	—	—	—		—	—	2	—	—	—	—
2階	Cタイプ住戸	2	—	2 x2 4	—	1 x2 2	—	—	—	1 x2 2	—	1 x2 2		—	1 x2 2	—	—	—	1 x2 2	—
	Dタイプ住戸	1	—	1	—	1	—	—	—	—	1	—		—	—	—	1	—	—	1
3階	Cタイプ住戸	2	—	2 x2 4	—	1 x2 2	—	—	—	1 x2 2	—	1 x2 2		—	1 x2 2	—	—	—	1 x2 2	—
	Dタイプ住戸	1	—	1	—	1	—	—	—	—	1	—		—	—	—	1	—	—	1
共用部			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—
計		9	2	10	2	6	1	1	1	6	2	4		2	4	2	2	2	4	2

		戸数	5/F	1/FD	P1/SD	P2/SD	P3/SD	P1/WD
1階	Aタイプ住戸	2	1 x2 2	—	—	—	—	—
	Bタイプ住戸	1	— 1	—	—	—	—	—
2階	Cタイプ住戸	2	1 x2 2	—	—	—	—	—
	Dタイプ住戸	1	— 1	1	—	—	—	—
3階	Cタイプ住戸	2	1 x2 2	—	—	—	—	—
	Dタイプ住戸	1	— 1	1	—	—	—	—
共用部			—	—	3	2	6	6
計		9	9	2	3	2	6	6



3階平面図 1:100

凡例
□ — 避難ハッチ設置位置
▽ — 消火器設置位置

No.		工事設計図
— A 33 /	建具配置図	S : 1:100

建具リスト（1）

アルミサッシ建具

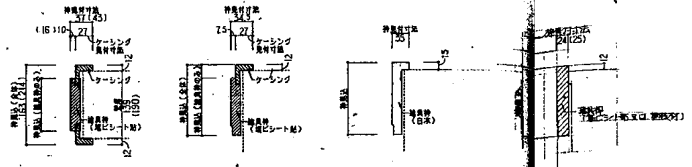
- 防音遮光・不燃付タイプ
- 可動網戸取付可能サッシ
- 標準圧　200N/㎡
- 気密　A-3
- 水密　W-5
- 網機能を補償（網部色網機能化塗装鋼材負担）
- クレセント（大型クレセントとする）

木製建具関係

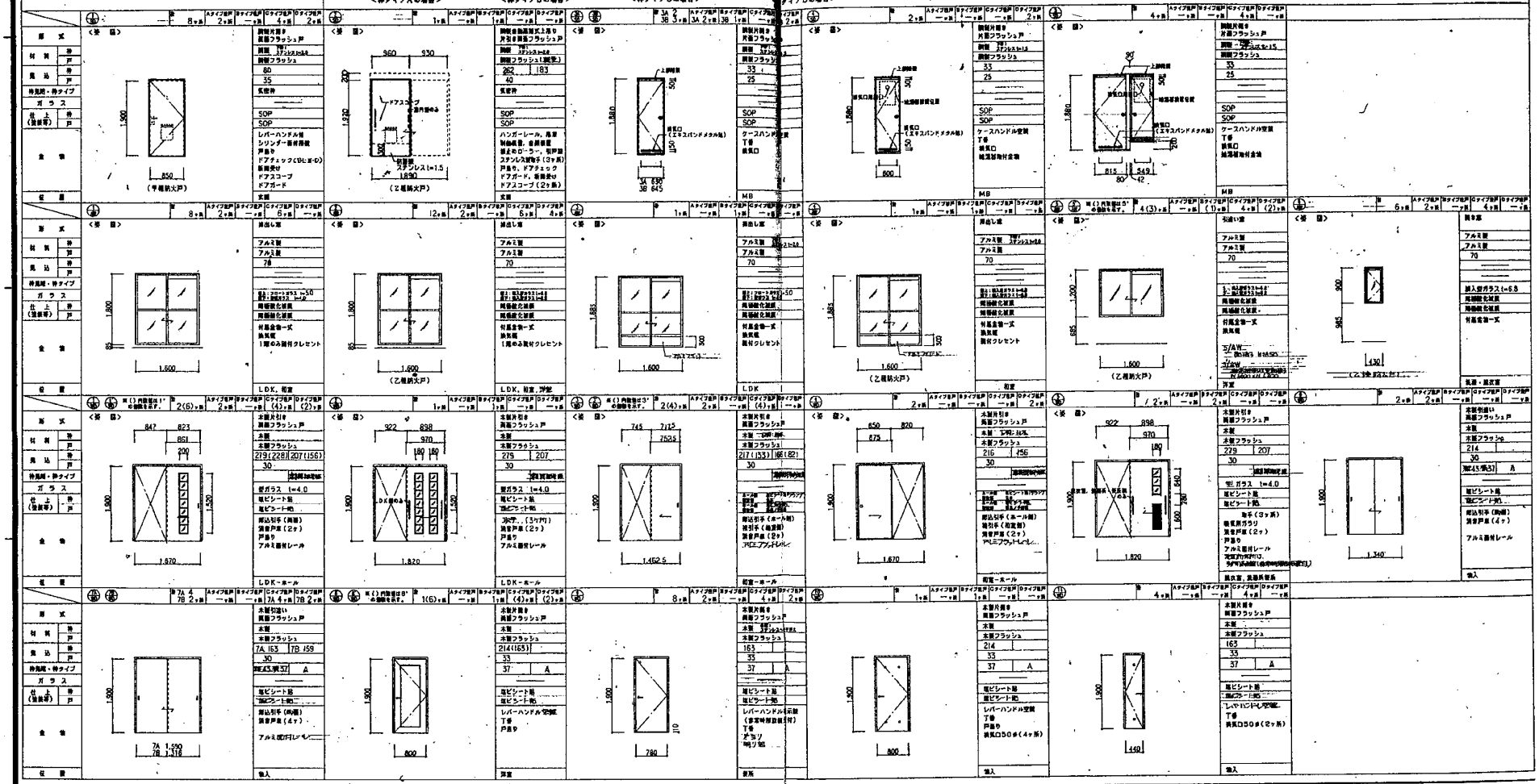
- 寸法付寸法はメーカー指定寸法とする。
- 枠タイプ記号は右記の記号番号を指定する。
- 点印付仕上・点付寸法は別途寸法を指定する。

<木製枠詳細図>

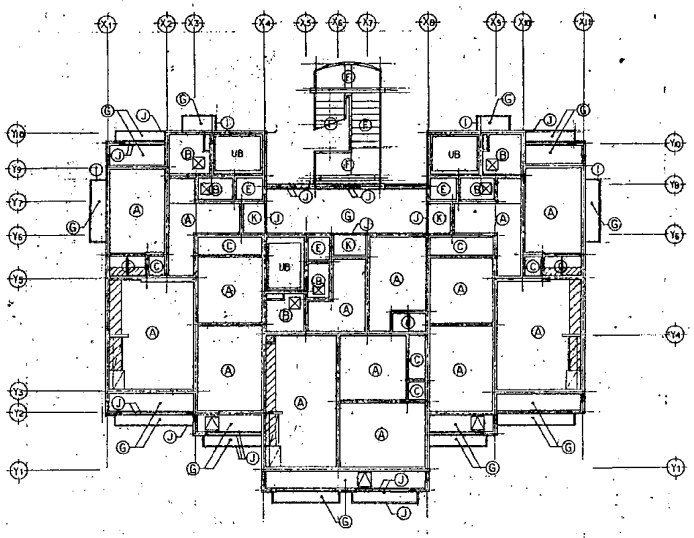
1) 寸法付寸法はメーカー指定寸法とする。
2) ケーシング見付寸法は建具施工法個によりサッシの変更（3ページ）有り。
3) 上記寸法指定は現場施工による様とする。



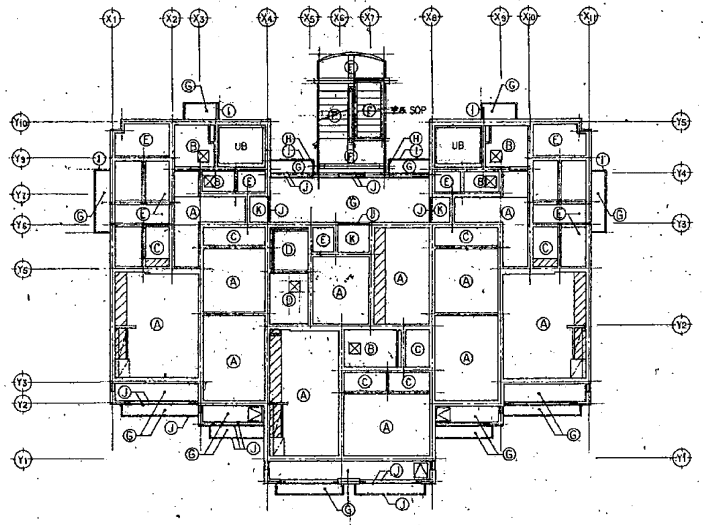
<枠タイプAの場合>　<枠タイプBの場合>　<枠タイプCの場合>　<枠タイプDの場合>



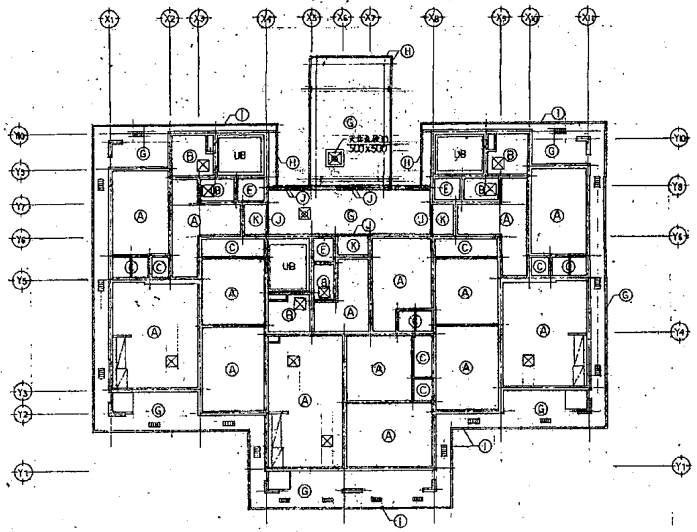
No.	公営住宅整備事業平成１０年度下三軍団地第一期建設工事	工事設計図
— A 34 —	建具リスト（1）	S：1:50　D：



2階 天井伏図



1階 天井伏図

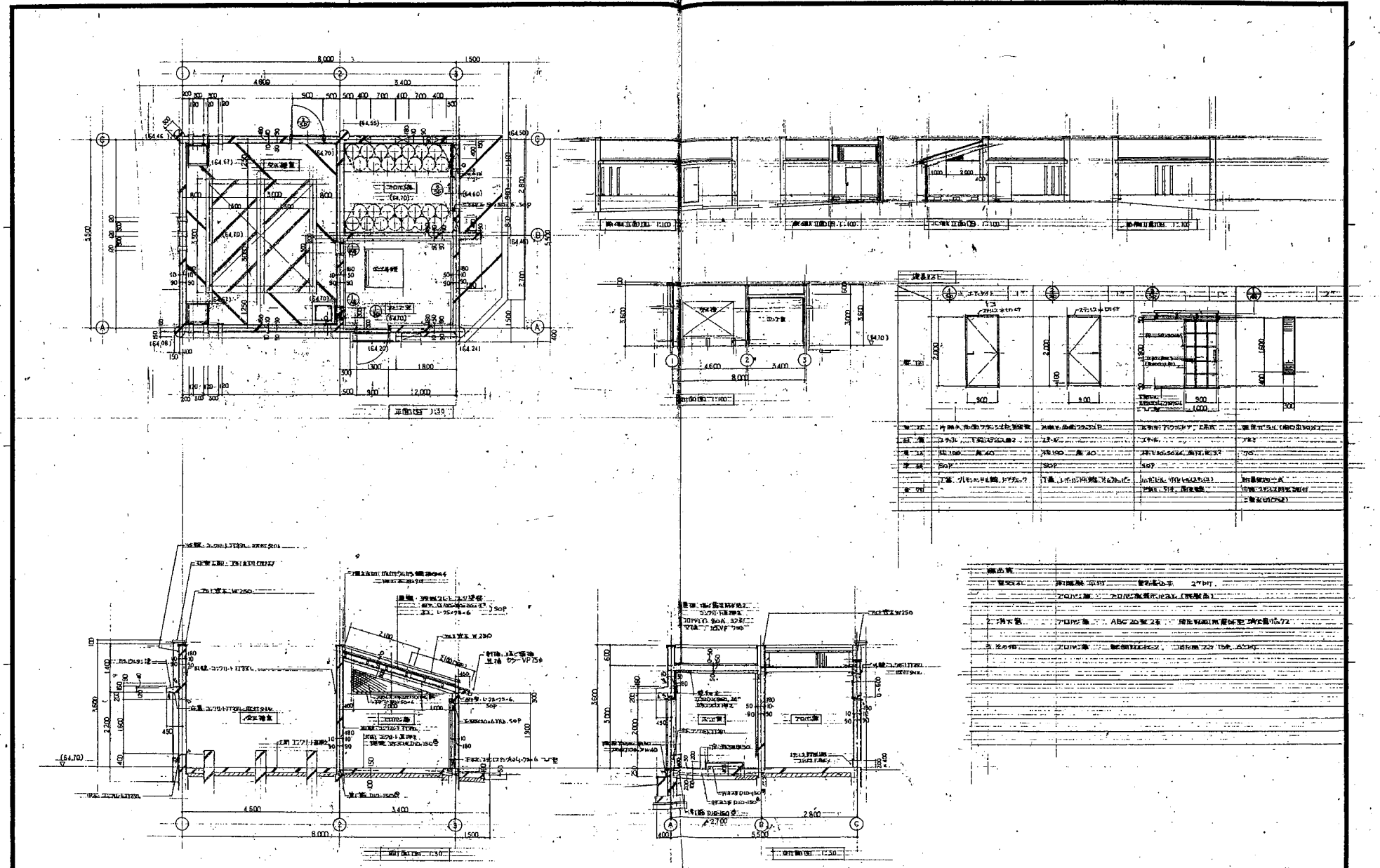


3階 天井伏図

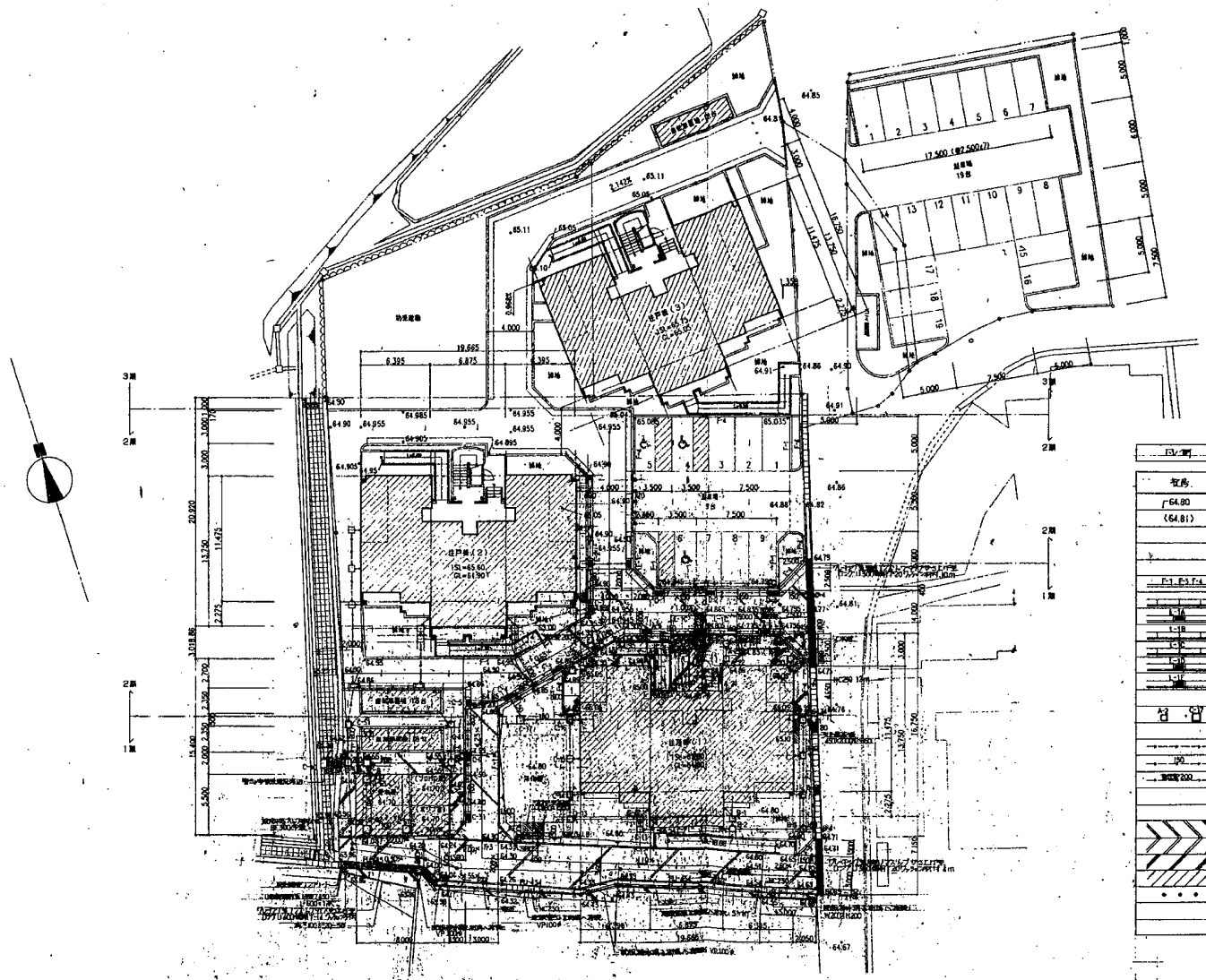
凡例

記号	仕上
Ⓐ	ビニルクロス　下地GB-R @12.5+12.5
Ⓑ	GB-D @9.5
Ⓒ	GB-D @12.5（構造ボード）+GB-R @12.5
Ⓓ	複合天井板 硬質塩ビ張材 @9
Ⓔ	GB-R @12.5+12.5 現わし
Ⓕ	鉄骨階段 現わし　鉄部FP
Ⓖ	外装用不燃新天井 @15 塗装品
Ⓗ	金属天井アイランプ @18 塗装品
Ⓘ	セメント板張品 @20
Ⓙ	水切金物（ガルバリウム カラー鋼板）ノンブリ
Ⓚ	外装用不燃新天井 @15 塗装品　下地GB-R @12.5+12.5
⊠	天井点検口 アルミ製
⊠	天井点検口 アルミ製　鍵付
⊠	避難ハッチ
	新天グリル（ダンパー付）240×430
	下り天井

No.	大阪市都市計画道路 [illegible] 工事設計図		
一A 36	天井伏図	S: 1:100	D:



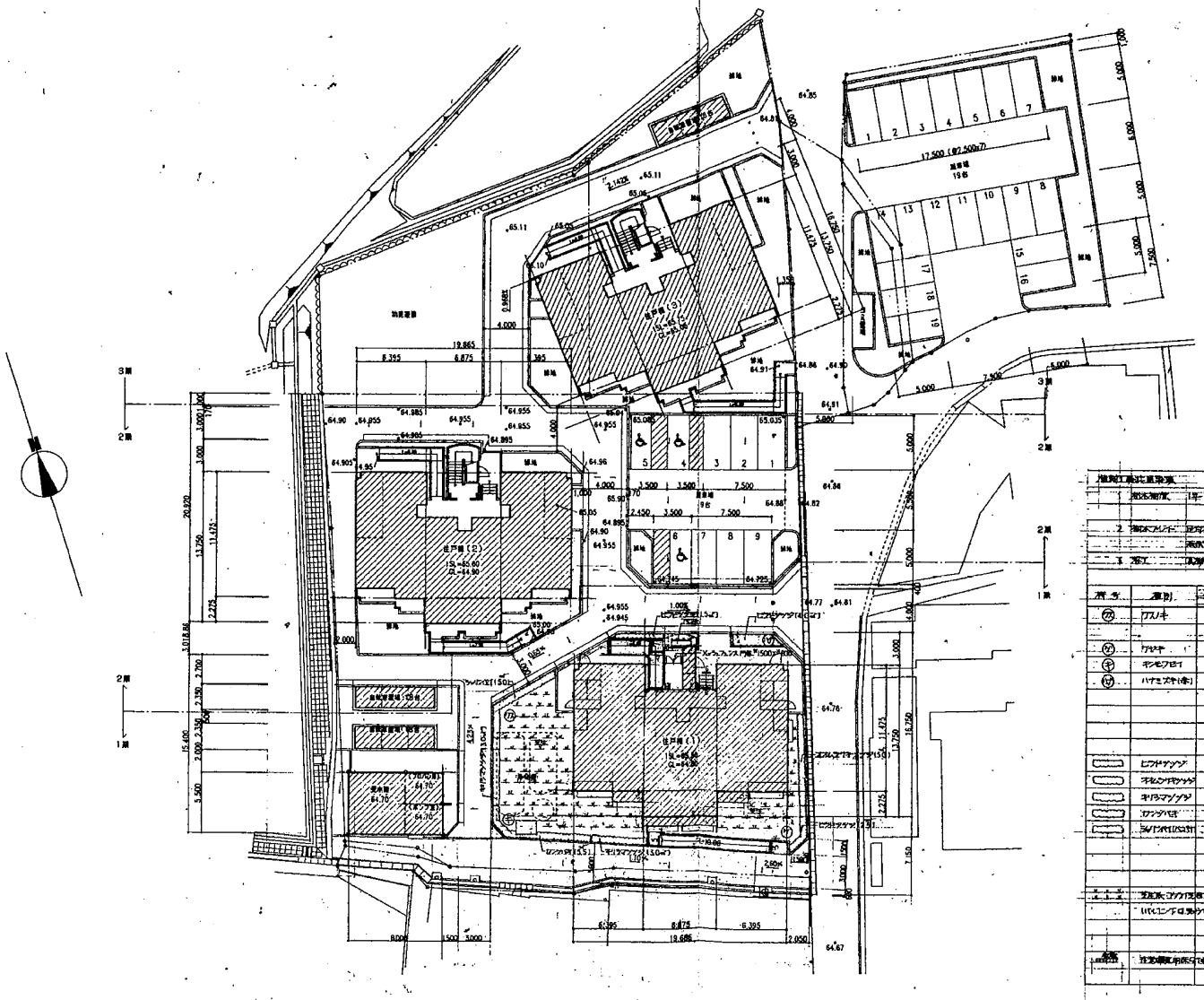
No.		工事設計図
A 37		S: 1:100 / 1:50 / 1:30 D.



凡例

記号	名称	備考
(64.80)	設計 基準水盤より高さ (m)	
(64.81)	現況高さ 同上	
	工事以外は特記なきかぎり	
F-1, F-3, F-4	舗装	
L-1	割ぎり PG515A 表示型	L-1
L-1A	割ぎり 集水用グレーチング付 PGU-A G付 表示型	L-1A
L-1B	割ぎり PG515A 側入用	L-1B
L-1C	割ぎり PG515 改良型 現場カレ	L-1C
L-1D	割ぎり 集水用グレーチング付(側溝) PGU-A GFI 側入用	L-1D
L-1E	割ぎり 用上 改良型 現場カレ	L-1E
A-2, C-7	雨水桝	
	雨水用 塩化物 VP(硬質塩ビ管) 125φ	
100	用上 用上 管径を示す	
配管200	用上 配管 管径を示す	
	サワーアスファルト舗装	
	アスファルト舗装	
	コンクリート舗装	
	インターロッキング舗装	
	視線誘導ポ. 可動型 H-450	

No.	公営住宅整備事業平成10年度下三軍団地 第一期建設工事	工事設計図
—G 1/	外構配置図 S：1:200	D：



植栽工事に関する事項

1. 植栽工事は、原則として、植栽期間内に完了すること。
2. 植栽スペシャル：
3. 芝工：

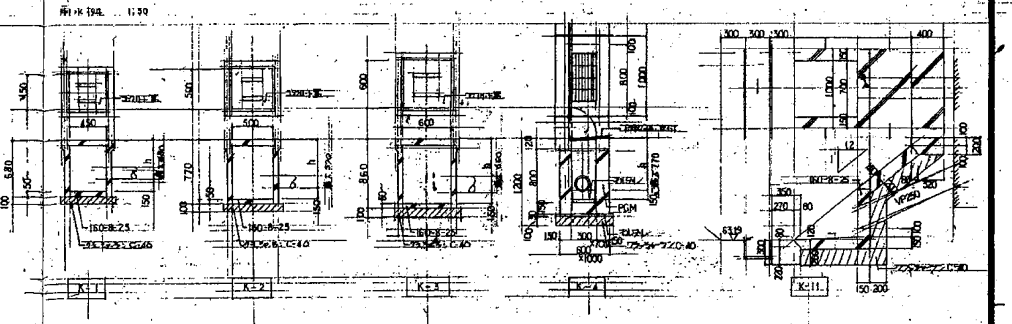
番号	種別	高さ (m)	幅員 (m)	高さ (m)	高さ (m)	形状	1ヒマ当たり	備考
77	ツツジ	3.5	0.25	1.0	1	三角錐状	20kg/本	
77	ツツジ	3.0	0.12	1.0	1	1角形状	20 kg/本	
77	キンモクセイ	2.5		0.8	1	1角形状	20 〃	
77	ハナミズキ(赤)	2.5	0.1	0.8	1	1角形状	20 〃	
	ヒフキケンシ	0.3		0.3	48	(8.0 m)	10kg/m²	6 m/m²
	マルヒフキケンシ	0.3		0.3	30	(5.0 〃)	10	〃
	キリシマツツジ	0.3		0.25	36	(6.0 〃)	10	〃
	ツツジ(白)	0.3		0.3	33	(5.5 〃)	10	〃
	ツツジ(ピンク)	0.3		0.2	30	(5.0 〃)	10	〃
	芝生張：コウライシバ				150 m²		10kg/m²	
	ハイビスカス							
備考	芝生張：相原ラウ(芝)(150㎡)							

No.	公営住宅整備事業平成１０年度下三軍団地　第一期建設工事	工事設計図
—G 2/	植栽配置図，植栽リスト	S：1:200　D：

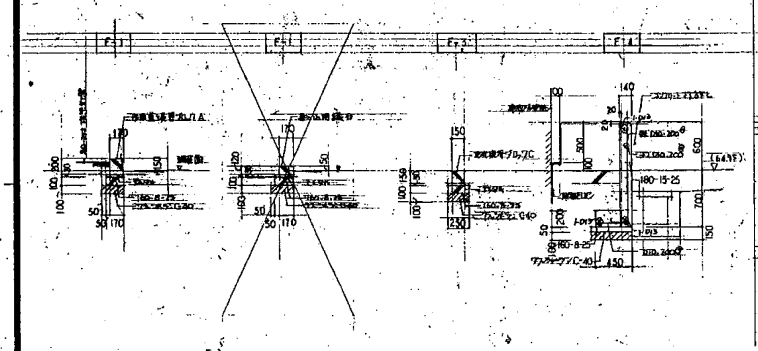
雨水桝(K系統)リスト

	雨水桝	管底	桝天端	桝h(H-150)		雨水桝	管底	桝天端	桝h(H-150)		雨水桝	管底	桝天端	桝h(H-150)
A-1	土間排水	65.00			B-11	K-1	64.50	64.80	300	C-16	K-1	64.34	64.80	480
A-2	K-1	64.57	64.98	410	B-12	K-1	64.47	64.80	330	C-17	K-1	64.29	64.80	510
A-3	K-4	64.54	64.86	320	B-13	K-1	64.43	64.80	370	C-21	K-1	64.59	64.89	300
A-4	K-4	64.49	64.81	320						C-31	K-4	64.67	64.39	320
A-5	K-4	64.43	64.76	330	C-1	K-4	64.44	64.93	490	C-41	K-1	64.25	64.66	300
A-6	町道側溝	64.38	64.76	380	C-2	K-4	64.41	64.90	490	C-51	K-1	64.22	64.67	450
A-11	300□	64.56	64.84	280	C-3	K-4	64.38	64.87	580	C-61	K-2	64.35	64.70	450
A-12	K-1	64.52	64.80	280	C-4	K-4	64.27	64.85	580	C-62	350□	64.20	64.67	470
A-13	K-1	64.50	64.80	300	C-5	K-4	64.23	64.80	570	C-63	350□	64.16	64.67	520
A-21	A-22に隣接する雨水桝に工事用しT字継手(ヤマ VP75φ)				C-6	K-4	64.01	64.59	580					
A-22	K-1	64.56	64.86	310	C-7	K-3	63.99	64.56	660	D-1	K-4	64.53	64.85	320
A-23	K-1	64.53	64.82	290	C-8	K-3	63.91	64.56	640	D-2	K-4	64.48	64.80	320
A-31	K-1	64.61	64.90	290	C-9	K-3	63.89	64.50	610	D-3	K-4	64.43	64.75	320
A-32	町道側溝	64.45	64.75	300	C-10	K-11	63.32			D-4	町道側溝	64.40	64.76	380
B-1	K-1	64.50	64.80	300	C-11	K-1	64.50	64.80	300					
B-2	K-1	64.49	64.80	310	C-12	K-1	64.49	64.80	310	E-1	K-4	64.50	64.90	400
B-3	K-1	64.40	64.80	400	C-13	K-1	64.43	64.80	370	E-1'	K-4	64.47	64.90	430
B-4	町道側溝	64.38	64.71	330	C-14	K-1	64.41	64.80	390	共通事項	施工に先立ち排水桝図を行い確認すること			
					C-15	K-1	64.38	64.80	420		排水管の水勾配 1/100			

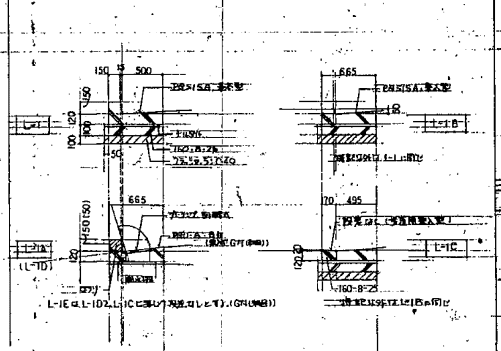
雨水桝 1:30



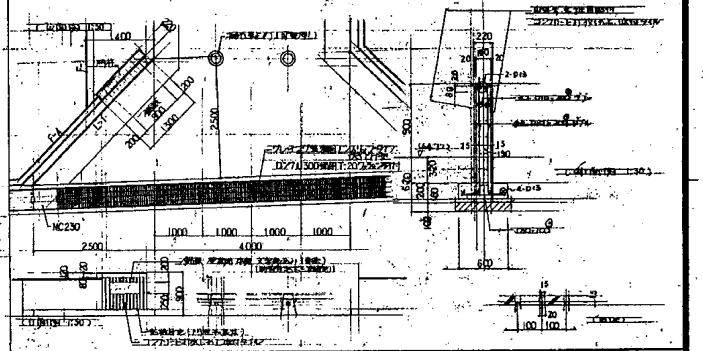
蓋 1:30



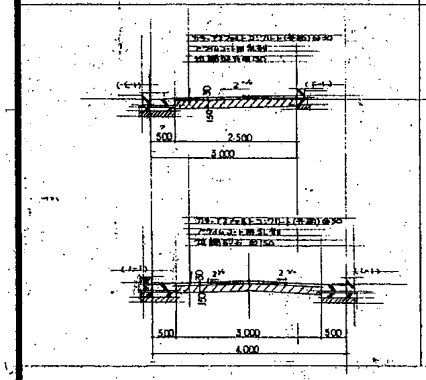
L型側溝 1:30



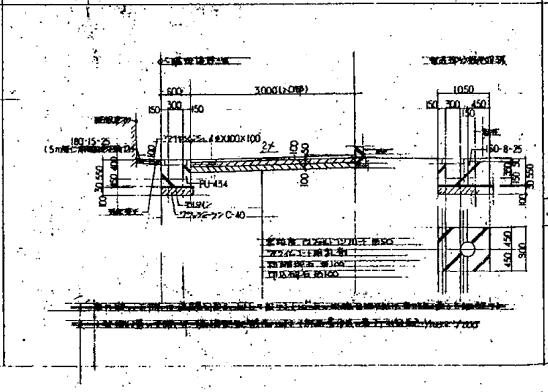
U型 1:30 1:50



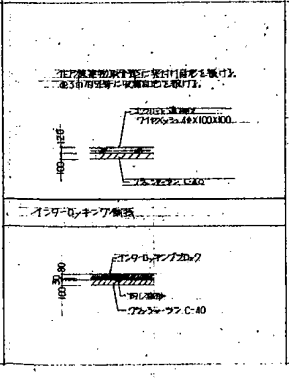
アスファルト舗装 1:50



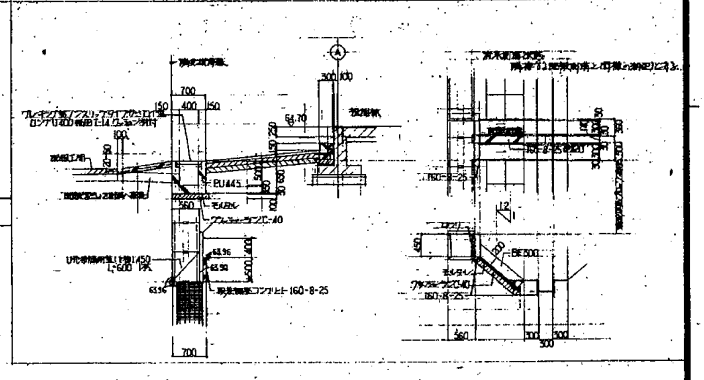
側溝埋戻 1:50



コンクリート舗装



道路側溝 1:50



No.		工事設計図
—G 3/		S: 1:50 / 1:30 D

電気設備特記仕様書

Ⅰ 工事概要

1．工事名称　公営住宅整備事業平成１０年度下三軍団地第一期建設工事
2．工事場所　神奈川県秦野市北町下三軍字川上375-2他
3．工事期間　平成 11 年 3月 16日 ～ 平成 11 年 12月 15日
4．地域・地区
5．主要用途　共同住宅（５項－ロ）
6．住戸形式
7．構　造　木造　地上3階建
8．戸　数　1号棟
　Aタイプ住戸（2LDK）　2戸
　Bタイプ住戸（2LDK）　1戸
　（身障者対応型住戸）
　Cタイプ住戸（3LDK）　4戸
　Dタイプ住戸（3LDK）　2戸
　計　9戸

9．床面積

建物名	住戸棟 1号棟		設備棟	自転車置場	計
構　造	木造		RC造	S造	
階　数	3		1	1	
延床面積	634.179		18.700	14.700	667.579

10．建築面積

建物名	住戸棟 1号棟		設備棟	自転車置場	計
建築面積	226.593		18.700	14.700	259.993

11．工事種目　（●印を適用し、各一式とする。）

工事種目 ＼ 建物別	住戸棟 共用部	住戸棟 住戸内	設備棟 ポンプ室	屋外	備　考
低圧引込幹線設備	●		●		
動力設備			●	●	
電灯、コンセント設備	●	●	●		
電話配管設備	●	●			
テレビ共同受信設備	●	●			
ＣＡＴＶ引込用配管設備	●				
非常呼出用配管設備		●			
自動火災報知設備	●	●			
水道検針用配管設備	●			●	
外灯設備				●	
自転車置場電灯設備				●	
2期工事用配管設備				●	

Ⅱ 工事仕様

1．共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は下記による。
○　建設大臣官房官庁営繕部監修の電気設備工事共通仕様書及び電気設備工事標準図（最新版）
●　建設省住宅局住宅建設課監修の公共住宅建設工事共通仕様書（最新版）
○　新日本建築家協会監修の建築設備共通仕様書（最新版）

2．特記仕様
1）工事種目に機械工事を含む場合はその仕様は当該図面による。
2）設計図書の優先順位は、下記による。
　1．現場説明事項　2．特記仕様書　3．設計図書　4．共通仕様書及び標準図
3）仕様材料は指定メーカーリスト内より選定するもの、又は同等品以上とする。
4）設計図書に関する疑義は質問所答書によって確めておかねばならない。
5）施工従事者は、電気工作物においては法令の定める電気工事士とする。
　ただし保安上支障のない作業はその限りでない。
6）以下本仕様の取り扱い項目及び特記仕様に記載は、●印のついたものを本工事に適用する。

3．一般共通事項

項目	特記仕様
● 設備機能上の協議	図面上において機能と誤差を生じた場合、検討後、監督員と協議する。
● 官庁手続手続き	官庁への手続きは、請負人が行いその費用も負担する。
● 工事用仮設電	構内につくることが　●できる　○できない
○ 発生材の処理	引渡を要するもの ○なし　○あり（　　）
● 工事用水、電力	構内既存施設を　●利用できない 構内既存施設を　○利用できる（○　有償　○　無償）
● 地中埋設標	コンクリート杭に方向、種別を記入した埋設標とする。ただし舗装された場所は鉄製埋設標とする。
● 耐震施工	設備機器の固定は「建築設備耐震設計、施工指針（建設省住宅局建築指導課監修）」による。
● コンクリート補修など	設計基準強度　F0＝180kgf／cm2 工事施工に伴い既存部分も汚染または損傷した場合は修復する。
● 施工前提出書類	施工に先だち施工業者を決定した時点で下記書類を提出し承諾を得る。 施工計画書　主任技術者届　代理人届　経歴書　下請名簿リスト
● 工事中提出書類	施工に先だち下記書類を提出し承諾を得て施工する。 工程表　施工図　機器配作図　ITS合わせ記録簿
● 完成時提出書類	●　共通仕様書1.6.2による。
● 仕様上変更	本設計に明記なくても外観及び技術上、当然必要と認められる工事は請負金額の範囲内において監督員の指示に従い施工する。
● 工事写真	○　営繕工事写真作成基準　○　他
○ はつり	既存のコンクリート床、壁などの貫通部の穴あけは原則としてダイヤモンドカッターによる。
○ 最上階の埋込配管	最上階のスラブでモルタル防水及び被膜防水の場合、埋込配管は避けるのを原則とする。
○ 再使用機器	取り外しこう入再使用する機器は、清掃し絶縁抵抗の測定の上取り付ける。　なお規明器具の見えがかり部分は、洗浄材を使用するなどして十分に清掃すること。
● 残土処理	構内指示の場所に敷きならし ○　構外搬出運び処理
● 電線	特記はきものは600Vビニル絶縁電線とする。
● 電線管	特記はき電線管は、下記を原則とする。 屋内配管　○CP（薄鋼）　●EP　○PF管 屋外配管　●CP（厚鋼）　○HIVE　●FEP　●PE
● 呼び線	長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のビニール被覆鉄線を入線し、行先表示を施すこと。
● 配線器具	●　大角型　○　通用型
● プレート	住戸内　●　樹脂製　○　金属製（○　ステンレス　○　新金属） 共用部　○　樹脂製　●　金属製（○　ステンレス　●　新金属）
○ フロアープレート	水平高低調整型（空振防止付リング）とする。
○ ベース	○　アルミ製　○　鋼金製
● ジョイントボックス	ＶＶＦケーブル　●　アウトレットボックス ○　ＶＶＦ用ジョイントボックス
● 盤類の指定色	●　あり　○　なし

4．工事区分

工事項目	建築	電気	機械	その他
1　機器基礎のスリーブ、埋入及び穴埋	●	○	○	○
同上の最後補強	●	○	○	○
2　電気室内の機械基礎及び仕上	○	○	○	○
同上アンカー取付及び穴埋補強	○	○	○	○
3　設備用点検口	●	○	○	○
4　照明器具の天井切り込み、補強	○	●	○	○
5　設備機器類本体及び取り付け	○	○	●	○
同上補強及び木控取付工事	●	○	○	○
6　埋込型機器の仮枠、補強	●	○	○	○
7　電線管及び保護管	○	●	○	○
同上用電気配管配線工事	○	●	○	○
8　給水用電動弁用配線	○	○	○	○
同上用電気配管配線工事	○	●	○	○
9　ガス感震装置用リモコン取付及び配線工事	○	○	●	○
同上用配管工事	○	●	○	○
10　高架貯水槽用検知取付及び配線工事	○	●	○	○
同上用配管工事	○	●	○	○
11　電気引込み工事負担金	○	○	○	●
12　電話線及び配線	○	○	○	●
13　テレビ電波障害補償	○	○	○	●
14　地下車の重気計装配管配線	○	○	●	●
15　レンジフードファン	○	○	○	○
同上用二次側配管配線及びスイッチ類	○	○	○	○
同上用電源告示	○	○	○	○
16　住戸内E共用スリーブ及びE材の開口	○	○	○	○
17　パネル開口及び配線器具取付用補強	●	○	○	○
	○	○	○	○

4．工事概要

電力方式
電力方式　○　高圧　三相3線　6.6KV　60HZ
　●　低圧　●　三相3線　210V
　●　単相3線　210V／105V
　分岐　単相2線式　○210V　●105V

低圧引込設備
引込以降、引込開閉器盤に至る引込用配管、配線設備一式
引込柱　●　電柱引込　○　構内柱建柱　○　別建　○　既設
施工方法　●　金属管配線　●　ケーブル配線　○　ＦＥＰ管配線
工事範囲　●　配線　●　配管　●　機器取り付け
ハンドホール　●　本工事　○　別途建築工事　○　既設

電灯幹線設備
引込以降、引込開閉器盤取付、二次側住宅電灯幹線のみ一式
施工方式　●　配管（●金属管　○ＨＩＶＥ管　○ＦＥＰ管）　●　ケーブル配線
工事範囲　●　配管　●　配線　●　機器取り付け

動力設備
引込以降、引込開閉器盤取付、二次側動力設備一式
施工方式　幹線　●　配管（●金属管　○ＨＩＶＥ管　○ＦＥＰ管）
　○　ケーブル配線
　分岐　●　配管（●金属管　●ＦＥＰ管）　○　ケーブル配線
機器への接続　二種金属可とう管（ビニル被覆　○あり　○なし）
工事範囲　●　配線　●　配管　●　機器取り付け

共用部電灯、コンセント設備
引込開閉器盤内共用電灯部二次側以降、電灯設備一式
施工方式　●　配管（●金属管　○ＨＩＶＥ管　○ＦＥＰ管）
　○　ケーブル配線
非常照明の形式　●　電源内蔵型　○　電源別置型
低消費安定器　高力率ラピットスタート式安定器は各組、鉄心などの材料を改良した低消費形とする。但し防水型安定器は除く。
工事範囲　●　配管　●　配線　●　器具取り付け

住戸内電灯、コンセント設備
ＰＳ内ＷＨＭ取付板以降、各住戸タイプ別電灯設備一式
施工方法　○　ＰＦ管配線　○　鋼管配線　●　金属管配線　●　ケーブル配線
工事範囲　●　配管　●　配線　●　器具取り付け

電話配管設備
各板引込以降、共用部、住戸内（各タイプ別）電話配管設備一式
施工方法　●　配管（●金属管　○ＨＩＶＥ管　○合成樹脂可とう管　○ＦＥＰ管）
　○　ケーブル配線
形式　○　ボタン電話方式　○　電子方式　○　デジタル方式
　電源装置（○　総合形　○　単置形　○　交換機一体形
回線数　○　内線　／　回線　○　局線　／　回線
電話機　○　本工事（○ボタン電話機　　型）　●　別途工事
保安器用接地　●　本工事　○　別途工事
工事範囲　○　配線　●　配管　○　機器取り付け

住戸電話配管設備
施工方式　○　ＰＦ管配線　●　金属管配線　○　ケーブル配線　○　ＦＥＰ管配線
工事範囲　●　配線　●　配管　●　機器取り付け

テレビ共同受信、ＣＡＴＶ引込用配管設備
各住戸ＶＨＦ１階二次側以降、共用部、住戸内（各タイプ別）テレビ共同受信設備一式
電界強度　各テレビ端子における電界強度は70dB以上とする
　アンテナ予定位置及び近隣の電界強度を測定し、記録を監督員に提出する
アンテナ　●　UHF　○　VHF　○　CATV　○　BS
アンテナマスト　●　壁面取付形　○　自立形
　アンテナマスト及びその支持材などは、地震亜鉛メッキ仕上げとする。
施工方式　○　ＰＦ管配線　●　金属管配線　○　ケーブル配線　○　ＦＥＰ管配線
工事範囲　●　配線　●　配管　●　機器取り付け
　○　電波障害対策用空配管

住戸テレビ共同受信設備
施工方式　○　ＰＦ管配線　●　金属管配線　○　ケーブル配線　○　ＦＥＰ管配線
工事範囲　●　配線　●　配管　●　機器取り付け

住戸インターホン設備（自動火災報知設備に含む）
住戸内（各タイプ別）インターホン設備一式
インターホン　住戸用自動火災報知設備（ＧＰ型３級）
施工方法　○　ＰＦ管配線　○　鋼ぴ配線　●　金属管配線　○　ケーブル配線
工事範囲　●　配線　●　配管　●　機器取り付け

非常呼出設備
住戸内（Ｂタイプ）非常呼出設備一式
施工方法　○　ＰＦ管配線　○　鋼ぴ配線　●　金属管配線　○　ケーブル配線
工事範囲　○　配線　●　配管　●　機器取り付け

自動火災報知設備（共同住宅用）
共用部、住戸内（各タイプ別）自動火災報知設備一式
施工方式　○　ＰＦ管配線　●　金属管配線　○　ケーブル配線
受信機　共用部　Ｐ型　２級　５回線　●　壁掛型　○　自立型
　住戸部　ＧＰ型３級受信機
増設電源装置　○　設置する。　●　設置しない。
工事範囲　●　配線　●　配管　●　機器取り付け

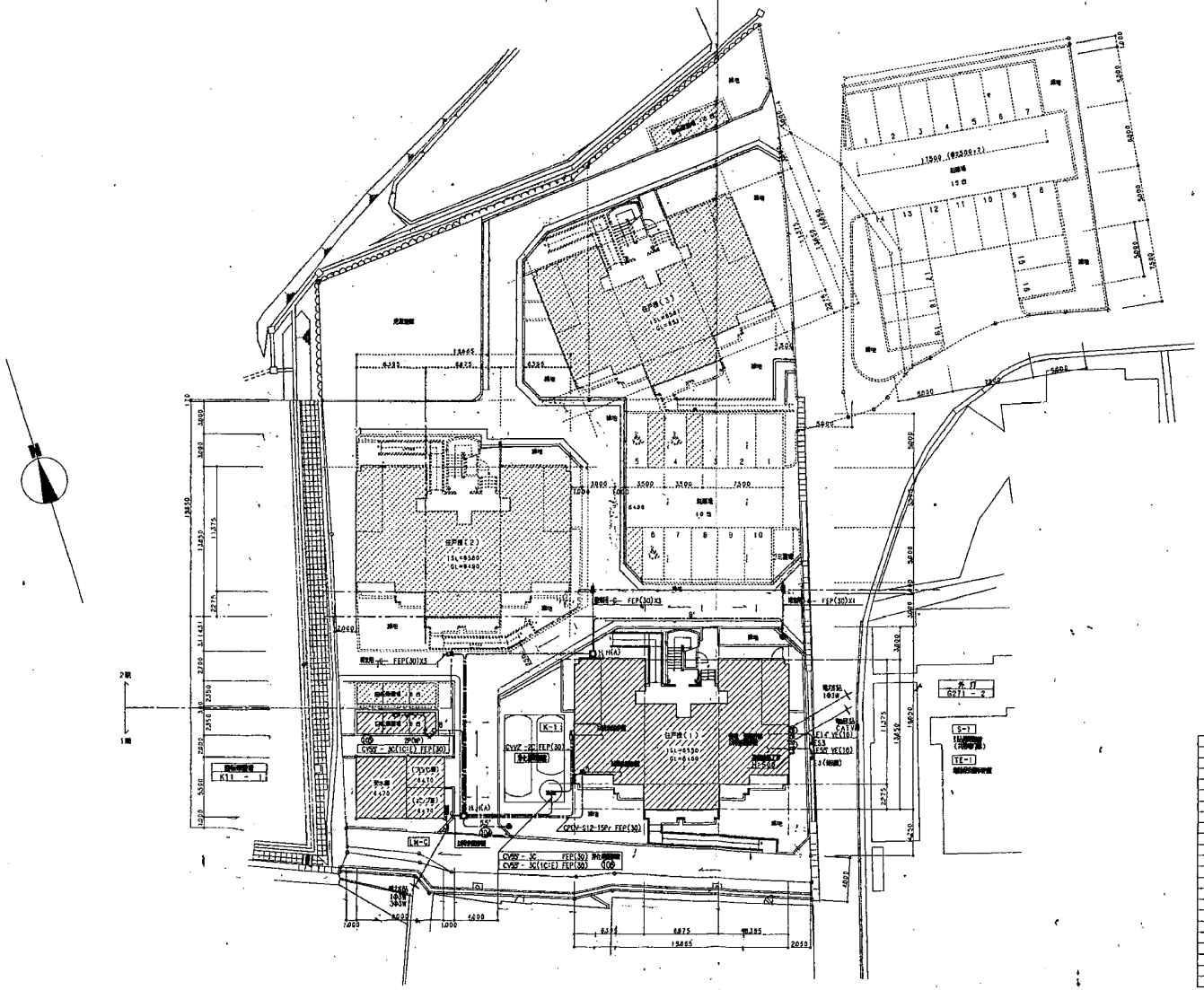
水道集中検針設備
設備機集中検針盤（別途）以降、検針、警報用配管、配線を含む一式
施工方式　●　配管（●金属管　○ＨＩＶＥ管　●ＦＥＰ管）　○　ケーブル配線
工事範囲　●　配管　●　配線　○　機器取り付け

外灯設備
共用電灯盤二次側以降、電灯設備一式
施工方式　●　配管（●金属管　○ＨＩＶＥ管　●ＦＥＰ管）　○　ケーブル配線
外灯　●　設ける　○　設けない
自転車置場　●　設ける　○　設けない　ポールは指定色塗装とする。
工事範囲　●　配管　●　配線　●　機器取り付け

２期工事用配管設備
設備棟よりの２期工事用空配管一式
施工方式　●　配管（○金属管　○ＨＩＶＥ管　●ＦＥＰ管）　○　ケーブル配線
工事範囲　●　配管　○　配線　○　機器取り付け

機器、資材	製造所、協力施工者名
電線、ケーブル	沖電線（株）　カワセ電気（株）　神鋼電線（株）　カワイ電線（株） 古河電線電機（株）　住友電工（株）　タツタ電線（株）　西日本電線（株） 日本電線工業（株）　日立電線（株）　（株）フジクラ　三洋電線工業（株） 三菱電線工業（株）　矢崎電気（株）
耐熱ケーブル	上記及び共通機メーカー
鋼製電線管、付属品	鋼製電管（株）　ニチア（株）　日邦鋼管（株）　日本パイプ製造（株） 松下電工（株）　ＲＩ－鋼管（株）　末吉工業（株）　ネクスト工業工（株）
合成樹脂電線管、付属品可とう電線管	（株）クボタ　住友電気工業（株）　日東鋼管（株）　日立電線（株） 古河電気工業（株）　松下電工（株）　三菱鋼管（株）　末吉工業（株） 積水化学工業（株）　タイガースポリマー（株）　東拓工業（株） 東邦ガス工業（株）
配線器具類	沖電線（株）　神鋼電線（株）　東芝ライテック（株）　松下電工（株） （株）ニチア
配分電盤、端子盤、分配盤表（配線管仕様）	（株）下郷製作所　東芝ライテック（株）　ダイシン電機（株） 日東電気（株）　（株）大日製作所　松下電工（株）　加賀電機製作（株）
接続器具	三菱電機（株）　日本電池（株）　日本電気ホームエレクトロニクス（株） 松下電工（株）　日立製作（株）　ヤマヤマ（株）　東芝ライテック（株） 日新電機（株）　矢崎電機（株）
インターホン（住宅内親機）	アイホン（株）　松下通信工業（株）
自動火災報知機器	松下電工（株）　ニッタン（株）　外電機工業（株） 能美防災（株）　ホーチキ（株）　（株）能美防災機製作所
テレビ共聴機器	ＤＸアンテナ（株）　松下電機産業（株）　マスプロ電工（株） 八木アンテナ（株）　東芝テクノネットワーク（株）

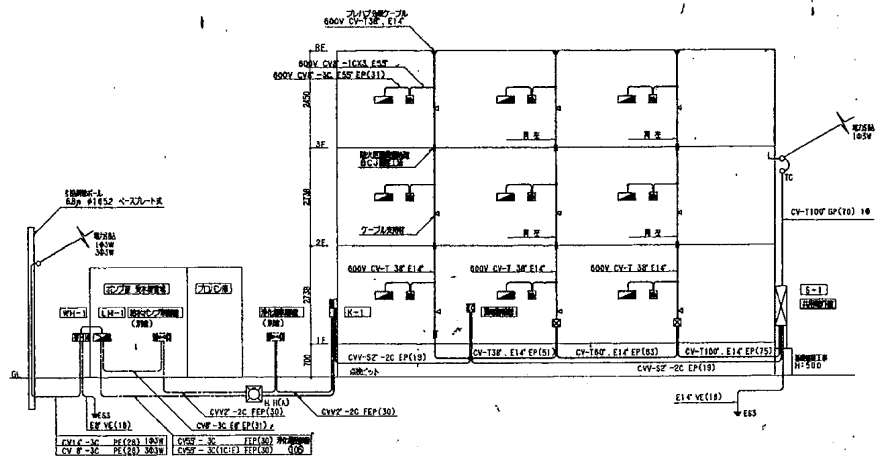
No.	公営住宅整備事業平成１０年度下三軍団地第一期建設工事	工事設計図
電気設備 — E1／E14	電気設備特記仕様書	S：NS　D：



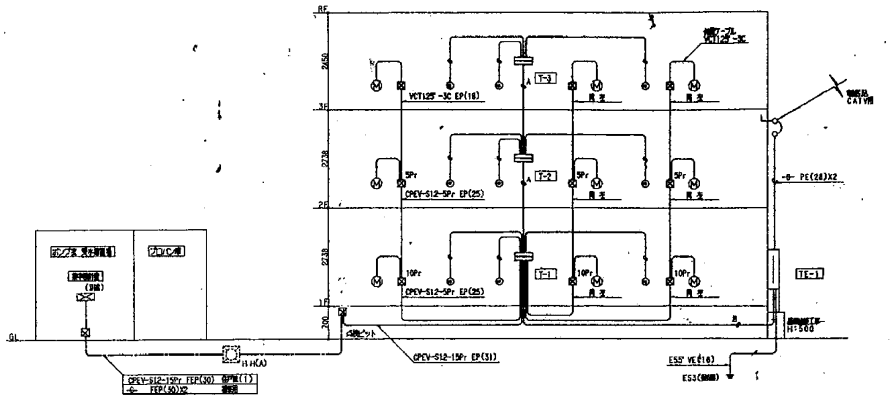
凡例事項	
1. 特記なき限り下記による	
(凡例欄)	
—— -E- ——	FEP(30)
—— -50- ——	CVSS - 2C, E20 FEP(30) 電灯幹線配管
—— -40- ——	CVS - 4C, E20 FEP(30) 電灯幹線配管
—— -30- ——	CVS - 2C, E20 FEP(30) 電灯幹線配管
—— -20- ——	VVF20 - 3C GP(22) 動力配管
接地線は黒テープ(緑色)にて識別すること	
配管、配線識別は下記による	
——	電灯幹線配管
——	電灯支線
——	動力配管
□A	0B4角大型 SUS製カバープレート
□B	PB150' X100(WP)
H.H(A)	:HI-9HR2K60
2. 電灯幹線配管は埋設深さ GL-600 とする。	
3. 埋設配管(FEP)は勾配とする。	
4. 電灯幹線ルートは35頁参照とする。	

No.	公営住宅整備事業平成10年度下三軍団地第一期建設工事		工事設計図
電気設備 — E2 / E14	全体配置図	S : 200	D :

幹線系統図



電話配管、テレビ共聴幹線系統図



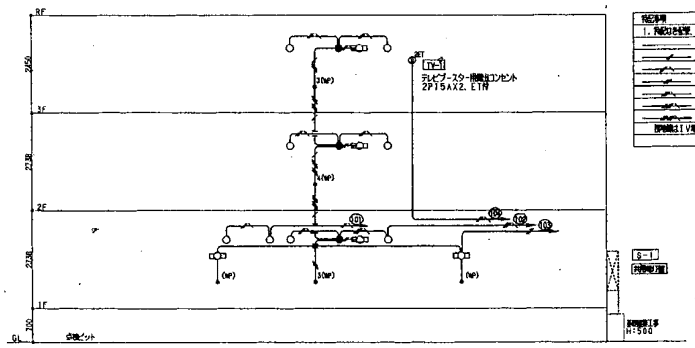
凡例

記号	名称	員号
⊠	中継ボックス	P.80X150Φ X100(鋼製)
⊕	端末(C)	OB4角中継(鋼製)BLカバー-P

特記事項
1 図中特記なき配管・配線は下記による。

—6—	—6—	EP(19)
—A—	—6—	EP(25)X3
—B—	—6—	EP(31)X3

共聴幹線、コンセント設備系統図

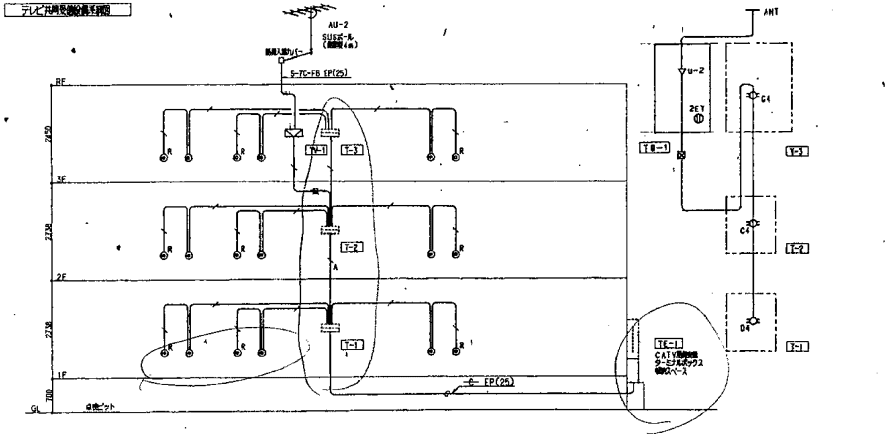


特記事項
1. 図中特記なき配管・配線は下記による

	IV16X2	EP(19)
	IV20X2	EP(19)
	IV20X2, E20	EP(19)
	IV20X3	EP(19)
	IV20X3, E20	EP(25)
	IV20X5	EP(25)
	IV20X5, E20	EP(25)

配線は1V電線(黒)とする

テレビ共聴配線幹線系統図



凡例

記号	名称	員号
	4分岐 BS-C4	全帯域分岐器
	4分岐器 BS-D4	全帯域分岐器
R	壁口ユニット BS-77F-7	OB4角中継(鋼製)BLカバー-P
R	壁口ユニット BS-77F-R	OB4角中継(鋼製)BLカバー-P

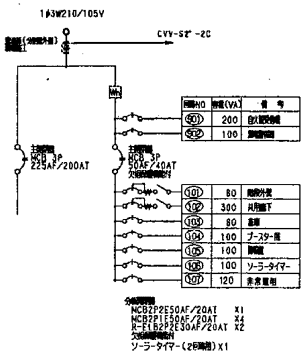
特記事項
1 図中特記なき配管・配線は下記による。

—7C—	S-5C-FB	EP(19)
—7C—	S-7C-FB	EP(25)
—7C—	S-7C-FB	EP(25)
	—6—	EP(25)

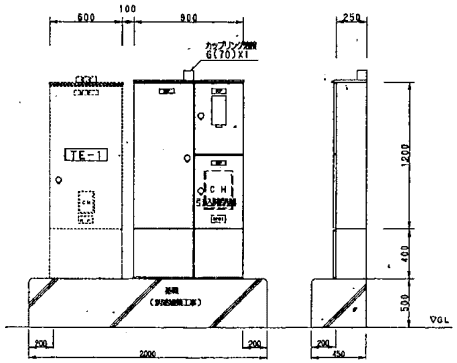
No.	公営住宅整備事業平成10年度下三郷団地第一期建設工事		工事設計図
電気設備 — E3/E14	幹線、共聴系統図	S : NO	D :

引込線防護盤、各戸盤装図、結線図

S-1（共聴盤（室内））（屋外共聴増幅器付き）

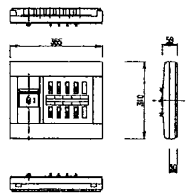


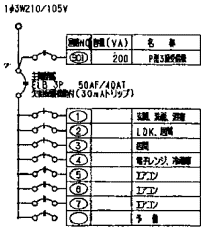
開閉NO	容量(VA)	名 称
SG1	200	自火警報機
SG2	100	防犯警報
①01	80	屋外分電
①02	300	共用廊下
①03	80	倉庫
①04	100	ブースター用
①05	100	予備
①06	100	ソーラータイマー
①07	120	非常電灯



各戸盤（2LDK、3LDK）

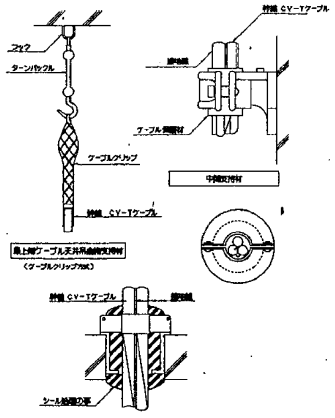
取付形 プラスチック製





開閉NO	容量(VA)	名 称
SG1	200	F型3波警報器
①		玄関、浴室、洗面
②		LDK、廊下
③		居間
④		電子レンジ、冷蔵庫
⑤		エアコン
⑥		エアコン
⑦		エアコン
		予 備

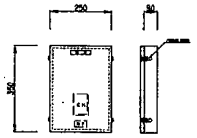
CV-Tケーブル支持材参考図



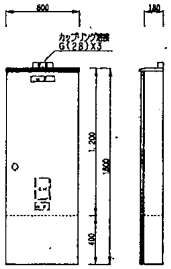
スリーブ位置ケーブル支持材
B. C. J内部押圧工法

端子盤リスト、平面図

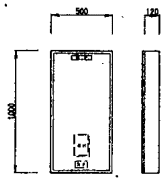
	電 話	テレビ	放送中継器	備 考
TE-1	保安器スペース 20Pr	CATV保安器スペース	－	屋外共聴盤
T -1	20Pr	4分配器	20Pr	屋内電話線（パッチン付）
T -2	20Pr	4分岐器	－	屋内電話線（パッチン付）
T -3	10Pr	〃	－	屋内電話線（パッチン付）
TV-1		ブースター 4分岐器		屋外共聴盤



T-1,2,3 パッチン配付



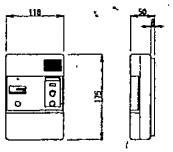
TE-1



TV-1

警報受信機（室内用）

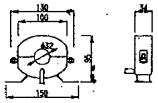
自動火災報知設備等の配線に接続



種別	受信機1級防排煙 壁掛型
型式及び記号	型式B-34
電源電圧	AC100/200V 50/60Hz
消費電力	動作時約27.2kVA 監視時約7.34kVA/100V
作動方式	475mV
公称作動電流	50/100/200/400/1,000mA
作動電圧	作動電圧42～100mV内外
プッシュ・ボタン	70×8MI・DC12V

表示灯（外部用）

S-1 内に取付



住宅特記事項

1. 電気の配線スリーブはすべて埋設配管とする。
2. 引込線等の配線は電柱から埋設配管とする。
3. フットバス用埋設配管は電ケーブルの埋設とする。

4. 電気設備は下記による（電灯、コンセント）

———	VVF2.0-2C	EP(19)
———	VVF2.0-3C(1C-E)	EP(25)
———	VVF1.6-2C	EP(19)
———	VVF1.6-3C(1C-E)	EP(19)
———	VVF1.6-3C	EP(19)
———	VVF1.6-2CK2(1C-E)	EP(25)
———	VVF1.6-2CK2	EP(25)
———	VVF1.6-3C+1.6-2C(1C-E)	EP(31)
———	VVF1.6-3C+1.6-2C	EP(31)
———	—E—	EP(19)

ご指示なきケーブルこうがい配線とする

配管、配線部分は下記による

——— 天井こうがい配線

——— PTA配管

接地線はIV電線（緑）とする

5. 電話設備配管は下記による

名 称	取付高さ	名 称	取付高さ
スイッチ	FL+1250	非常放送(室内)	FL+150
コンセント（室内）	FL+150	非常放送(屋外)	FL+500
コンセント（洗面）	FL+1250	非常放送(屋内)	SL+700
コンセント（浴室）	FL+1250		
コンセント（台所）	FL+1250	ガスコントロールBOX（台所）	FL+1,250
コンセント（洗面）	FL+250	ガスコントロールBOX（浴室）	SL+700
コンセント（クーラー用）	FL+2250	ガス検知器	FL+1,000
各戸用分電盤	FL+1250	ガス検知器BOX	FL+1,000
戸外表示灯	FL+1250		

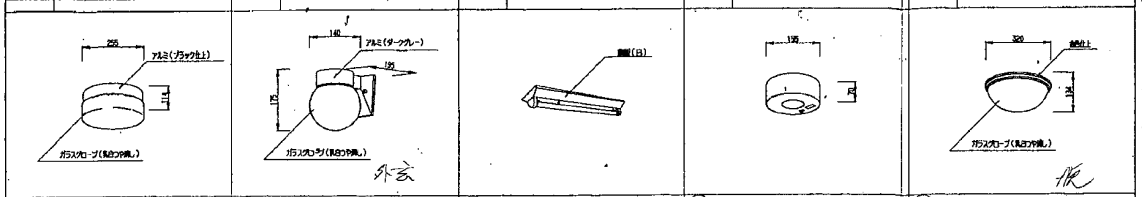
6. 弱電配管・ケーブルは別記とする

No.	公営住宅整備事業平成10年度下三軍団地第一期建設工事	工事設計図
電気設備 — E4 / E14	盤結線図、住戸詳細図特記事項	S : NO　D :

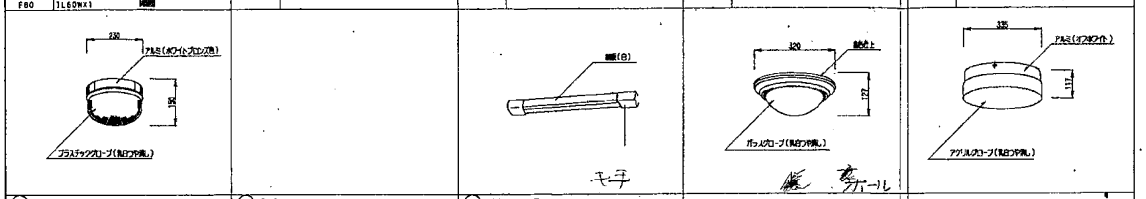
照明器具姿図

本図は一例を示し、形状は参考とする

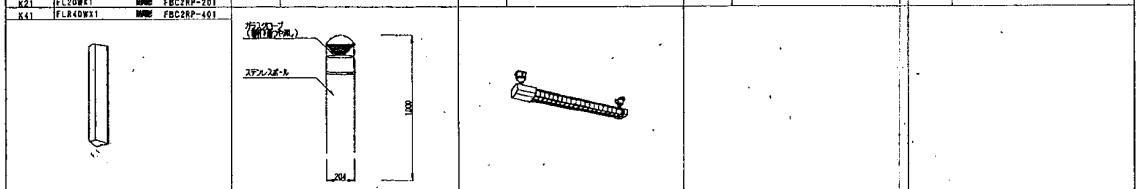
(A) シーリングライト		(B) ブラケットライト		(C) 蛍光灯灯		(D) シーリングライト		(E) シーリングライト	
A151	FCL15WX1	B40W	FDL 8WX1	C21	FL 20WX1	D30c4	JD 30WX1 カドニッチ付 K1-1554-J30	E40	IL40WX1



(F) シーリングライト		(G)		(H) 蛍光灯灯 3線式灯		(I) シーリングライト		(J) シーリングライト	
F40	IL40WX1			H151P	FL15WX1 プルスイッチ付	I31W	FCL30WX1	J31W	FCL30WX1
F60	IL60WX1								



(K) 誘導灯灯		(L) ガーデンライト		(M) 安全照明器具					
K11	FL10WX1	L2T1W	FPL27WX1	M41	FLR 40WX1				
K21	FL20WX1								
K41	FLR40WX1								



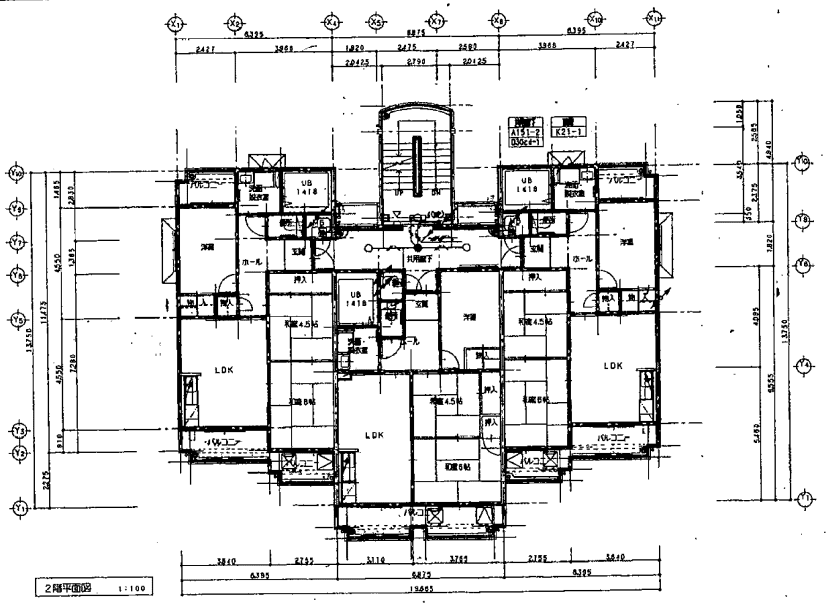
特 記

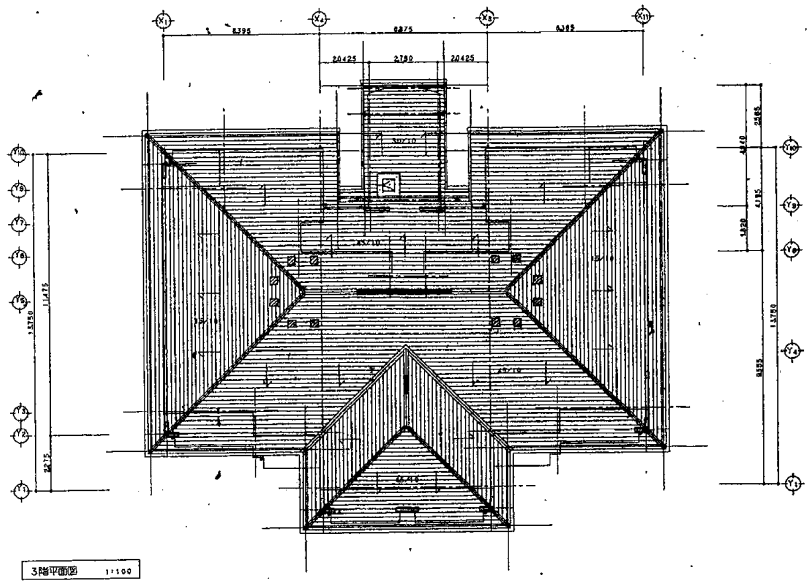
1. 蛍光灯器具は高力率型とし、点灯方式は力率改善とする。
2. 蛍光灯器具は、公共住宅照明器具とする。
3. 一般照明器具
   (1) 蛍灯
      a. 蛍光灯器具はJIS C8106「蛍光灯器具」に適合するもので、原則として40W以上とする。
      b. 40W以上の蛍光灯を使用する場合の始動方式は、ラピッドスタート式とする。
      c. 21世紀型蛍光灯は(単線)Cフリカルとし、O。
      d. 蛍灯40W以上は省エネ型安定器付ランプを使用する。(法令等を除く)又、電圧の表記されたものは100Vとする。
   (2) 白熱灯
      a. ランプ電圧は原則として、110Vとする。
   (3) HID灯
      a. 水銀ランプは原則として、蛍光水銀ランプとする。
      b. 水銀灯の安定器は自己安定型とする。
4. 非常用照明器具
   JIS L 5501「非常用照明器具の性能基準」に適合し、(M)及び誘導センターの認定品表示マークが貼付されたものとする。電源内蔵型
5. 非常用照明器具と誘導誘導灯を兼ねるものは、(財)日本誘導センターの認定品表示マークおよび消防庁認定品であることを確認の上使用。
   貼付されたものとする。電源内蔵型
6. ランプ記号
   FL　蛍光ランプ(一般用)　　FCL　蛍光ランプ(調色)
   FPL　〃　(コンパクト形)　　GL　水銀灯ランプ
   FDL　〃　(〃　〃)　　RF　リフレクターランプ
   IL　白熱電球　　N　メタルハライドランプ(演色)

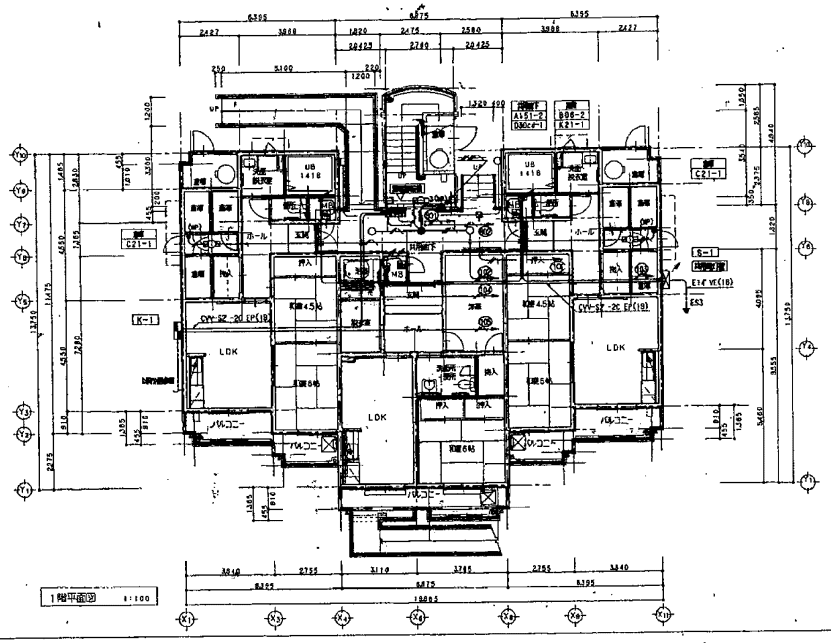
凡例

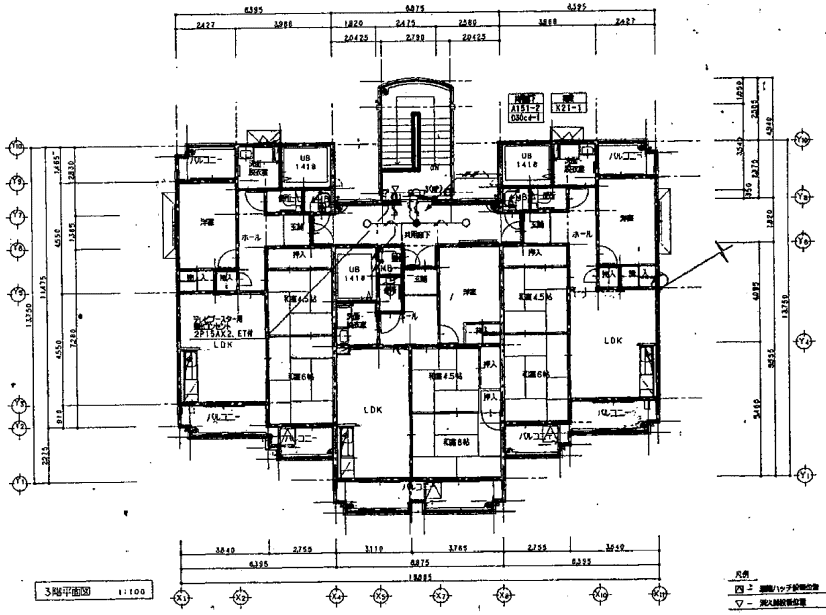
記号	名称	仕様	備考
	受電点・引込口		
	引込開閉器盤	別図参照	
	電力量計収納盤		
	電力量 〃	別図参照	
	電力量計	別途	
	照明器具	別図参照	
	照明器具	別図参照	
	照明器具	別図参照	
	非常用照明器具	別図参照	
(WP)	埋込スイッチ　片切	1P15A　一般型，防水型	大形器用埋込型
	埋込スイッチ　3路　4路	3W15A，4W15A	
	埋込コンセント	2P15A　X1，X2	大形器用埋込型
ET	埋込コンセント	2P15A　X1E，X2，ET付	
ET	埋込コンセント	2P1520AX1E，ET付	
(WP)	埋込コンセント	2P15A　防水型	
E	埋込引掛コーゼット	2P6A　X1，X1E	
	漏電遮断器	ELB3P30A	
	TV端部処理器	別図参照	
	電子錠	別図参照	
	電話用アウトレット　壁取付		
	テレビアンテナ	AU-2	
	増幅器	U-2	
	4分岐器		
	4分波器		
	差込ユニット	1端子形(75Ω)	
R	差込ユニット	1端子形(75Ω)　抵抗器付き	
	住宅用分電盤		
	ドアホン		
	立ち上げ　引き下げ　素通し		
	接地極		
	プールボックス		

No.	公営住宅整備事業平成10年度下三草団地第一期建設工事		工事設計図
電気設備 — E5／E14	照明器具姿図・凡例	S：NO	D：

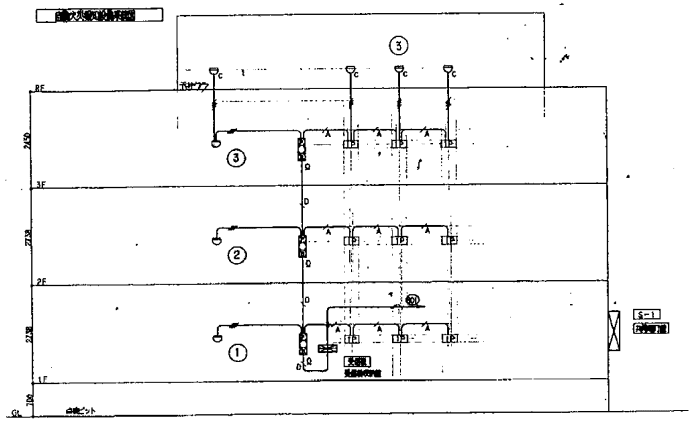


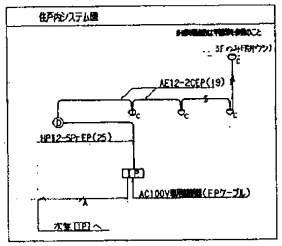






No.	公営住宅整備事業平成10年度下三軍団地第一期建設工事		工事設計図
電気設備 — E6/E14	幹線・共用灯設備平面図	S : 1:100	D :

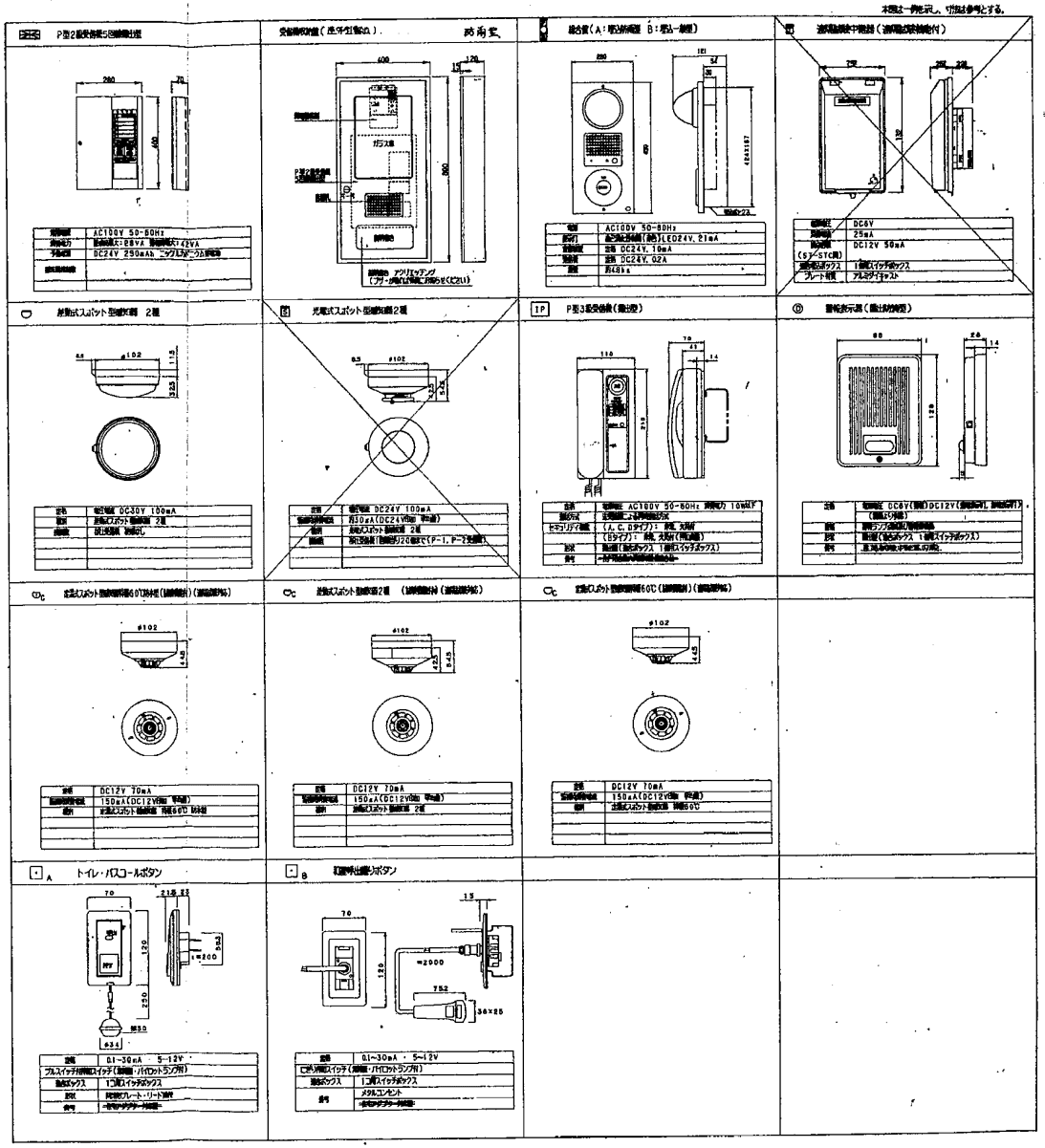




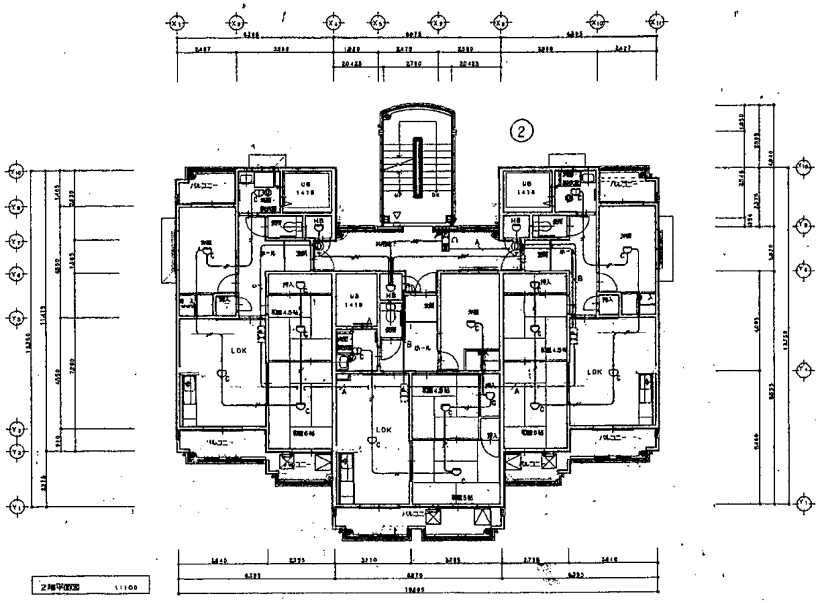
配線表		
1) 配線は全部、記号による		
	D	HP12 - 5Pr EP(25)
	A	HP12 - 3Pr EP(19)
	B	HP12 - 5Pr EP(25)
	C	AE12 - 4C EP(19)
	A	AE12 - 2C EP(19)
	AW	AE12 - 4C EP(19)
1) 受信機の表示灯容量は下記の通り。		
	a) 自火報	3L
	b) 予 備	2L
	合 計	5L
2) 地区警報は一斉鳴動方式とする。		

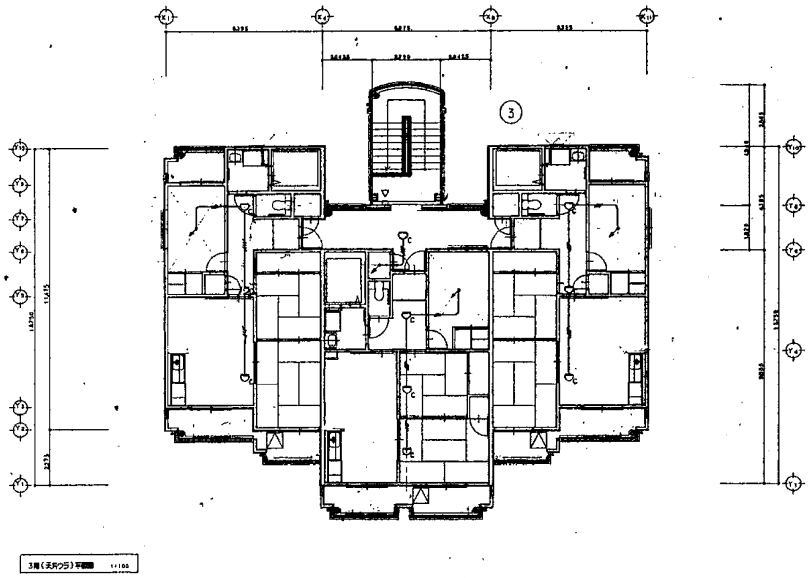
凡例					
記号	名称	備考	記号	名称	備考
[illegible]	受信機	P型2級3/5回路 セットプリ・タイプ	TP	P型3級受信機	
[illegible]	戸内表示器	[illegible]	B	取付高さ・パトフォン用	取付高さ・[illegible]
[illegible]	P型発信機	P型2級	C	差動式スポット型(差動式スポット型)	2種
[illegible]	火災警報ベル	DC24V 150φ	C	差動式スポット型(定温式スポット型)	特種 80℃
[illegible]	表示灯	24V 21mA(LED)	C	差動式スポット型(定温式スポット型)	特種 60℃ 防水型
[illegible]	音響中継器 [illegible]	◎○◎ 内蔵 吸込口	[illegible]	ジョイントボックス・プールボックス	防水仕様[illegible]
[illegible]	差動式スポット型感知器	2種	[illegible]	配管配線	
[illegible]	光電式スポット型感知器	2種 [illegible]	[illegible]	埋込2インチ(IRF)	
			[illegible]	露出配管用	
			[illegible]	露出配線番号	No1 ～ No5 [illegible]
[illegible]	電話機	各戸内設置			
Ω	測温抵抗	10KΩ 1/2W			

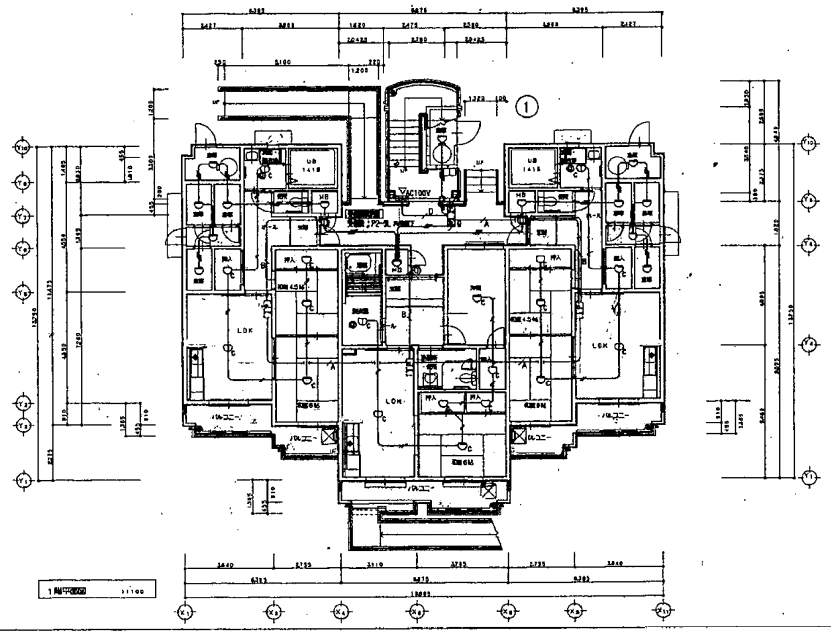
本図は一例を示し、寸法は参考とする。

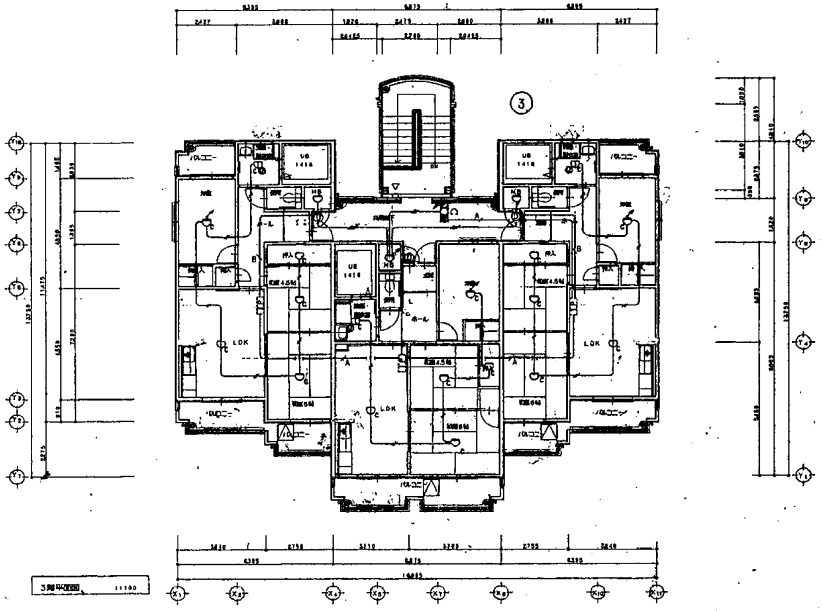


No.	公営住宅整備事業平成10年度下三軍団地第一期建設工事	工事設計図
電気設備 — E8 / E14	自動火災報知設備系統図、凡例	S : NO / D :





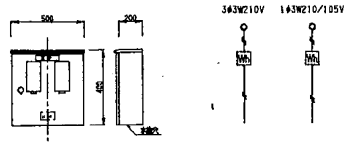




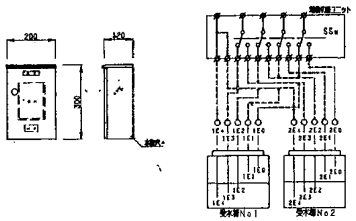
No.	公営住宅整備事業平成10年度下三郷団地第一期建設工事		工事設計図
電気設備 — E8 / E14	自動火災報知設備平面図	S : 1:100	D :

住宅分電盤、警報盤表図

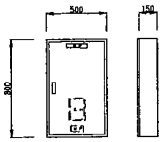
WHM取付図（屋外型）

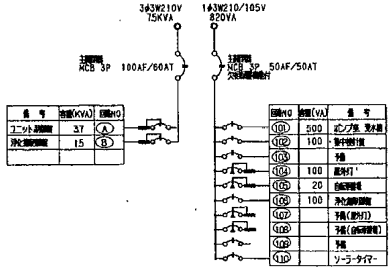


電磁弁盤（給水管）



共用分電盤表図 LH－C 盤仕図

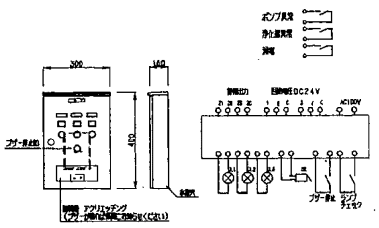


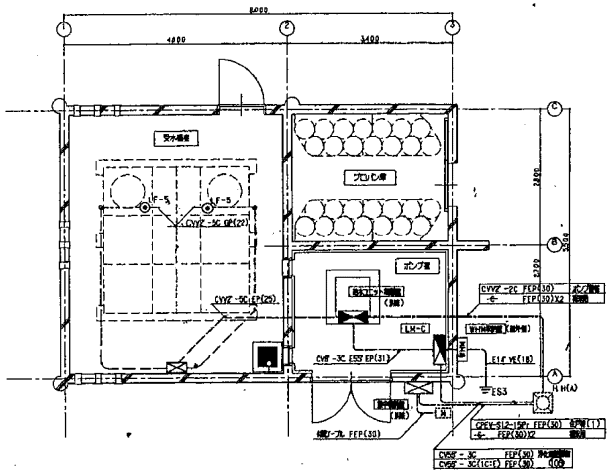


名 称	容量(KVA)	回路NO
ユニット冷却器	37	A
浄化槽用機	15	B

回路NO	容量(VA)	名 称
101	500	ポンプ系 受水槽
102	100	警報盤電源
103		予備
104	100	屋外灯
105	20	自動電磁弁
106	100	浄化槽用機
107		予備（屋外灯）
108		予備（自動電磁弁）
109		予備
110		ソーラータイマー

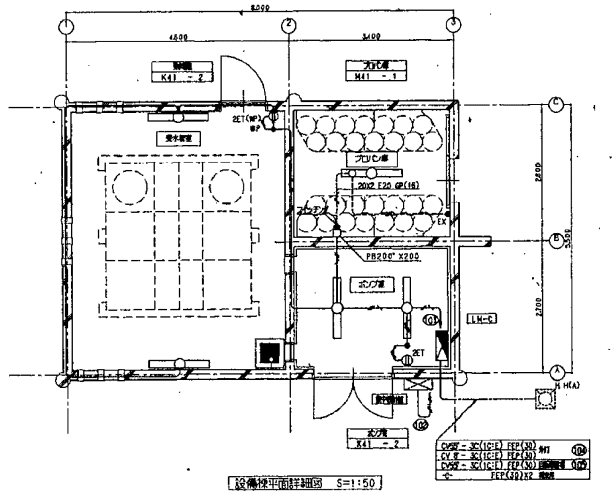
警報盤（K－1） 屋外仕様





設備棟平面詳細図 S=1:50

特記事項
1. 検査工事（23号館）の詳細を別図とする。
2. 共用部ベニヤ合板耐火ブレーカー（自動開閉）を取付のこと。
3. 制御盤の系統は、各別単独とする。



設備棟平面詳細図 S=1:50

特記事項
1. 配管は下記による
（凡例は、コンセント）
1V20X2 EP(19)
1V20X2, E20 EP(19)
1V20X3 EP(19)
1V20X3, E20 EP(25)
接地線は（V線緑）とする
配管、配線略図は下記による
打込配管
露出配管
埋込配管
地中埋設配管

No.	公営住宅整備事業平成１０年度下三軍団地第一期建設工事	工事設計図
電気設備 — E14／E14	設備棟平面詳細図	S：1:50

機械設備工事　特記仕様書

[1] 工事名称　公営住宅建替事業平成10年度下三軍団地第一期建設工事

[2] 工事場所　兵庫県加東郡社町下三軍字川ノ上375－4他

[3] 建物概要
- 住戸棟　水洗外構工法　3階建　(9戸)　1棟
- 設備棟　鉄筋コンクリート造　平家建　1棟

[4] 工事期限　建築工事の工期に準ずる。

[5] 工事の仕様　本仕様書及び図面に記載されていない事項は下記による。
- 建設省住宅局住宅建設課監修　「公共住宅建設工事共通仕様書」平成9年度版
- 建設大臣官房官庁営繕部監修　「機械設備工事共通仕様書」平成9年度版
- 建設大臣官房官庁営繕部監修　「機械設備工事標準図」平成9年度版

[6] 一般事項

1. 発生材の処理　廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適性処理推進要綱等の関係法令に従い、構外搬出適切処理とする。

2. 現場代理人など　現場代理人及び主任技術者、監理技術者（建設業法に定める）の届出及び証明書を提出のうえ監督員の承諾を受けること。

3. 機材の検査　検査及び試験を行うべき機械等は、共通仕様書による。

4. 施工の立会　原則として、埋設物の位置確認及び、施工等の調整りについて行う。（ただし、写真等により代行する場合がある。）

5. 下請業者など　下請届出書及び機械設備工事使用器具、使用材料製作書を提出のうえ監督員の承諾を受けること。

6. 工事写真　施工中の写真撮影箇所は原則として地中埋埋設部及び隠ぺい箇所とする。写真は整理のうえアルバムに貼付し、撮影時期、場所等を記入し提出のこと。

7. 完成図書式　設計図書を完成時に使用し、完成図を作成のこと。又提出図書は下記の通りとする。
原図箱図、2ツ折製本（2部）、機器完成図、各検査済み書及び試験成績表、取扱い説明書等

8. シンナー等有機溶剤の蒸発防止　トルエン、酢酸ニチル又はメタノールを含有するシンナー、接着剤、塗料及びシーリング材の保管は密閉防止に留意し、厳重に保管すること。

9. 工事用電力・水その他　本工事に必要な工事用仮設電力・水などの費用は、請負者の負担とする。又、官公署への諸手続きなどの費用も請負者の負担とする。

10. その他　本工事において疑義が生じた場合は、監督員と十分協議のうえその指示に従うこと。

11. 本工事は建築基準法、消防法、市町上下水道条例その他の関連法規を遵守して、施工するものとし、官公庁への手続きは工事契約後すみやかに行い、工事に支障のないように留意すること。

[7] 共通事項

1. 口径別分担金及び開発負担金等については本工事に含まない。

2. 貫通スリーブは別途建築工事とするが、スリーブの位置・大きさ等の指示・確認及び仮設は本工事に含む。

3. 換気扇取付用木枠は別途建築工事とする。

4. 天井及び壁面のパネル等の切り込み、穴あけは別途建築工事とする。

5. 受水槽、加圧給水ユニットコンクリート基礎は別途建築工事とする。

6. 引渡し備品　工事完成後、下記の備品を一覧表作成の上、現地にて引き渡すこと。

ポンチン　(大・小)	1棟につき各1個
散水用ナイロンホース	1棟につき各1巻
(13A × 15m、ノズル、リール共)	
散水栓用キー	戸数分＋3個
ポンプ用工具（工具箱共）	1式
汚水マンホール用フック	1棟につき各1個
受水槽マンホール用黄銅製の鍵	1箱（2個）

[8] 工事種別及び工事概要

住戸棟機械設備工事

1. 衛生器具設備工事　（便器上TOTO品番使用）
衛生陶器の取り付け調整等の工事

2. 給水設備工事
(1) 住戸内給水設備工事
MB内立管分岐より量水器を経て住戸内水栓類までの工事
(2) 給水主管設備工事
住戸棟外側より最上階MB立管までの給水主管工事

3. 給湯設備工事
(1) 1階住戸内給湯設備工事
倉庫内電気温水器より住戸内給湯栓までの工事
（リモコン配線、機器取付調整等も含む。）
(2) 2，3階住戸内給湯設備工事
MB内給湯器より住戸内給湯栓までの工事及び給湯器より据付までの追加工事
（リモコン配線、機器取付調整等も含む。）

4. 排水通気設備工事
(1) 1階住戸内排水設備工事
1階住戸内排水器具より屋外会所接続までの工事
(2) 2，3階住戸内排水設備工事
2，3階住戸内排水器具より立管接続までの工事
(3) 排水通気共用主管設備工事
屋上通気金物から屋外会所接続までの2，3階共用排水、伸頂通気管及び1階床下排水横主管工事

5. ガス設備工事
(1) 住戸内ガス設備工事
MB内立管分岐よりガスメーター（別途ガス供給事業者工事）を経て住戸内ガスコックまでの工事
(2) ガス主管設備工事
住戸棟外側より最上階MB立管までのガス主管工事

6. 換気設備工事
(1) 住戸内換気設備工事
住戸内の換気扇及び天井扇の取り付け調整並びにダクト工事、

設備棟機械設備工事

1. 給水設備工事
設備棟外側より受水槽までの直圧給水引込み工事
受水槽より加圧給水ユニットを経て、設備棟外側までの給水主管工事
（受水槽、加圧給水ユニット含む）

2. 排水設備工事
受水槽及び加圧給水ユニットより屋外洞水側排接続までの排水工事

3. ガス設備工事
設備棟プロパン庫LPG集合装置より、設備棟外側までのガス主管工事
（LPG集合装置含む）

屋外機械設備工事

1. 給水設備工事
町水道管分岐より、設備棟までの直圧給水引き込み工事。
設備棟外側より、住戸棟外側までの給水主管及び散水栓までの給水管工事

2. 排水設備工事
排水会所の設置並びに排水管布設工事及び合併処理浄化槽よりの排水管、洗浄管工事

3. ガス設備工事
設備棟プロパン庫外側より住戸棟外側までのガス主管工事

4. し尿浄化槽設備工事
FRP製ユニット形合併処理浄化槽の据付調整工事及び浄化槽配管設備工事
（ブロワー等含む），浄化槽電気設備工事（制御盤等含む）
（合併処理浄化槽の基礎工事，土工事は，本工事）

[9] 特記事項

1. 配管材料（ダクト材料）

給水管	1)一般配管	塩ビライニング鋼管（JWWA K116） VA
	2)地中配管	ビニル管（JWWA K118） HIVP
		（塩ビライニング鋼管に使用する継手は管端防食継手とする。）
給湯管	保温付き被覆銅管（JIS H3300のC1220T-OL）Lタイプ	
	（保温材は発泡ポリエチレン，保護層ポリエチレンフィルム（EVA樹脂））	
冷房管	保温付き被覆銅管（JIS H3300のC1220T-OL）Lタイプ	
	（保温材は発泡ポリエチレン，保護層ポリエチレンフィルム（EVA樹脂））	
排水管	1)屋内排水管	排水用耐火二層管（建設大臣認定品，日本消防設備安全センター性能評定品）TMP
		ビニル管（JIS K6741） VP
	2)屋内汚水管	排水用耐火二層管（建設大臣認定品，日本消防設備安全センター性能評定品）TMP
		ビニル管（JIS K6741） VP
	3)屋外雑排水，汚水管	ビニル管（JIS K6741） VP
	4)通気管	排水用耐火二層管（建設大臣認定品，日本消防設備安全センター性能評定品）TMP
ガス管	1)地中配管	ポリエチレンライニング鋼管（PLP）
	2)一般配管	配管用炭素鋼管（SGP）白管
換気ダクト	換気用耐火二層管（建設大臣認定品，日本建築センター防災性能認定品）	
	TMP－V	
	換気用ビニル管（JIS K6741） VP	
洗浄管	ビニル管（JIS K6741） VP	

2. 防露・保温工事
1) 保温材料の種別
給水管は、ポリスチレンフォーム保温材を使用する。
給湯管・冷房管は、配管材料の項参照。
2) 施工区分　（記号は共通仕様書の防露・保温施工種別による。）
給水管　減し水切り内，溶接箇所内はb－Iとする。
1階床下はc－Iとする。
洗面化粧台内露出給水管の防露・保温は不要とする。
その他は共通仕様書による。
雨水管　原則として排水用耐火二層管使用部は防露・保温は不要とする。
減し内露出管の防露・保温は不要とする。
屋外露出配管は調合ペイントとする。
その他は共通仕様書による。
給湯管　配管材料の項参照。
継手部は保温材及び継手カバーで被覆した上、ビニルテープ巻き仕上とすること。
冷房管　配管材料の項参照。
換気ダクト　外壁より2mをロックウール保温材（厚20mm）による防露を行うこと。
尚、換気用耐火二層管使用部は防露不要。
※1 建築物の防火区画，防火壁，その他法規で指定する開口部りり又は細孔などを貫通する管などの所用部分は必要な耐火性能を有する。
不燃材料により被覆を行う。また、その部分の防露・保温材料はロックウール保温材による。
ガス管　床下配管は防食テープ巻きとする。

3. 施工
1) 水道メーターは町水道事業所の規格品とする。又、水道メーター防凍カバー（発泡ポリエチレン又はウレタン製）を取り付けること。
2) ライニング鋼管のねじ込み配管に使用する継手は管端防食継手とする。又、外側の接続においても管端防食継手の規格に準じた管端コアを有する弁（JIS規格に準ずる製品）を使用すること。
3) 保温付き被覆銅管の曲げ加工は専用治具を使用すること。又、最小曲げ半径は120mm以上とする。
4) 外側は町水道直結部分及び屋内特記部分はJIS 10K形、その他にはJIS 5K形を使用する。
5) 排水鋳鉄立管の排除口付鋳鉄管受口下部及び立管最下部の曲管受口下部には、管支持を行うこと。
6) 鋼管類コンクリート埋込み部は防食テープ2回巻きを行うこと。
7) 土中埋設管の埋戻し土は全て、掘削土の中の良質土を使用すること。
8) 残土処分は原則として、構内敷ならしとする。
9) 給水管・ガス管の地中埋設深さは一般敷地では土かぶり450mm以上、車両通路では750mm以上とする。
10) 防火ダンパーは（財）日本建築センターの防災評定マークを貼付されたものとする。
11) ガスコック側は通気口防止機構付コック（ヒューズコック）とする。但し、給湯器用は可とう管コックとする。
12) 埋設配管の水圧試験は水により実施すること。

配管完了後	所要水圧 10kg/cm²	加圧時間	30分以上
機器取付完了後	所要水圧 2kg/cm²	加圧時間	30分以上

13) 上記以外の埋設配管工事は共通仕様書機械10章鋼管設備工事に準ずる。
14) 1階床下吊り金物（支持金物）は防錆処理を施すこと。
15) 1階床下ピット内のガス管は溶接配管とする。
16) 埋設配管の溶接箇所は、ローバルペイントによる防錆処理を施すこと。
17) 各配管は給湯器及び暖房機器に対して無理な荷重をかけないよう、配管接続を行うこと。
18) 流し台、洗面パン、ユニットバス、浴槽は建築工事、配管接続は本工事とする。
19) 建築指示式量水器の接続調整は本工事、集中検針盤までの配管配線は電気工事とする。
20) 電気温水器、ガス給湯器のリモコン用配管は電気工事、配線及び結線調整は本工事とする。

No.	公営住宅建替事業平成10年度下三軍団地第一期建設工事		工事設計図
機械設備工事	M－1／21	特記仕様書(1)	S：— D：—

[10] その他

1. 給水設備工事　特記事項

1) 一般仕様については、兵庫県土木部編集の土木請負工事必携（土木工事共通仕様書）、土木系機械電気請負工事必携（電気工事共通仕様書編）及び水道工事標準仕様書（1986、日本水道協会）に準ずるものとする。

2) 給水装置の施工については、社町水道給水条例及び社町水道給水条例施工規則により、管理者の審査に合格した設計に基づき、管理者の認めた給水工事公認業者において工事施工を行うこと。

※給水装置とは、配水管から分岐して設けられた給水管及びこれに直結する給水用具までをいう。

2. 排水設備工事　特記事項

1) 一般仕様については、兵庫県土木部編集の土木請負工事必携（土木工事共通仕様書）及び、下水道排水設備指針と解説（1987、社団法人：日本下水道協会）に準ずるものとする。

2) 排水設備の設計施工については、社町下水道条例及び同施行規則に基づき設計し、施工すること。

[11] 使用機器及び材料製作所

資材名	会社名（製造・製作所名）
衛生陶器	例INAX, ~~東陶機器株~~
水栓	例INAX, ~~東陶機器株~~
配管類	JISマーク・水マーク・HASSマーク等の表示品 （表示なき物は、各規格に準じたものとする。）
排水金具	ダイドレ例, ~~（株）大阪鋳工所, ホキソ工業, 朝倉鉄鋼工所, 都工鋳株株~~
弁類	~~例仲谷バルブ~~, 東洋バルブ例, ~~日立金属例, 三浦バルブ例, 大和バルブ工業株~~　（水道事業所指定品）
ストレーナー	~~例テクノエルダイ, 仲谷バルブ, 例三浦水機製作所~~, 東洋バルブ例, ~~ランマン例, 例キン, 三浦バルブ例, 例木山製作所, 大和バルブ工業例, 例コトタケ製作所~~。（水道事業所指定品）
定水位弁・ボールタップ	~~例ヂエエエス株式, ドムバルブ製作所, 例ヒカゲイ製作所, 東工業例, 例三浦水機製作所, 東陶機器例, 例ベン, 九万工業例~~ （水道事業所指定品）
PPS製パネル水槽	~~積水プラントシステム例, 日立化成工業例, 三菱樹脂例~~ プリデストン
加圧給水ユニット	~~例荏原製作所, 例田中製作所~~, 例デラルキュートウ, ~~例日立製作所~~。
換気扇・天井扇	~~換工機器産業例, 三菱電機例, 例東芝, 例日立製作所~~, 三菱電機例
電気温水器	~~松下電器産業例, 三菱電機例, 例東芝, 例日立製作所~~, 三菱電機例
ガスコック類	~~大阪ガス例, 帝国合金例~~, 矢崎産業例, ~~吉田工業例~~
ガス風呂給湯器	~~大阪ガス例, 例パロマ~~, 例リンナイ, ~~例東京製作所, 例ドーメ, 例ノーリツ~~

注）上記製造者又は同等品以上とする。

器具表

名称	品番	附属品	住戸棟1棟当りの器具数量 Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	Dタイプ	その他	屋外	備考
洋風大便器	C730.S731B	TS731ZSN.TC362N.TS3PR76.TS8DN.TS116SP	2						
洋風大便器	C730P.S731R	TS731ZSN.YTC10N.TC342N.YTR76.TS3DN.TS116SP			4	2			
身障者用大便器	C48AST4.S570BTJ	TS530AVZS.TS520CTRV1.TS502ZAV74.TS0FSV1.TS1J1DY15 T42C38.TC271N.TS3WR7B.TS3DSA7.TS0EZSV1.TS116SP.TC274		1					
洗面化粧台	JL8602SN.JL8601N	TLF30AGX.T471JWV69X.TL616FSJV16	2		4	2			
身障者用洗面器	L103CF	TL340C4X2.,TF103B.TL230D.TLF30UDGX		1					
ホーム水栓	T200BS13	13mm給水タイプ（送り座付）	2		4	2			
レバー式ホーム水栓	T200BSQ13			1					
レバー式混合水栓	TKJ80UX		2	1	4	2			
シャワー金具	TMJ40CX			1					
塩ビ製水栓柱	A形 1,200L							3	
横水栓	T26K13	キー式カップリング付						3	
通気金物	BR-A-100	耐食アルミ製					3		
通気金物	BC-A-65	耐食アルミ製					3		
ガスコック	156-316	壁取付タイプ	2	1	4	2			
ガスコック	156-544	水切取付タイプ	2	1	4	2			
可とう管コック	156-628				4	2			
金属可とう管	81-601				4	2			

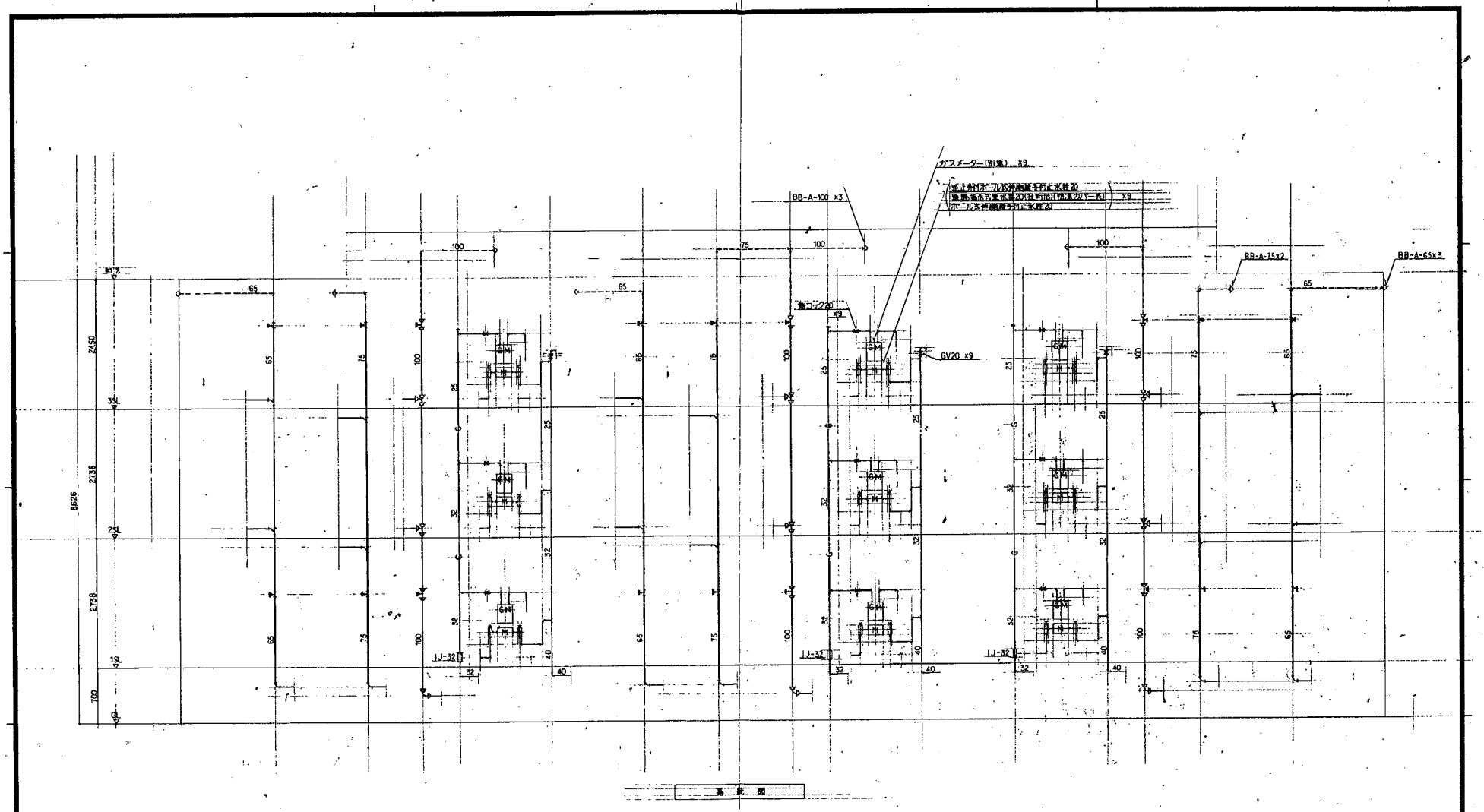
注記）公共住宅建設工事共通仕様書（平成9年度版）部品及び機器の品質・性能基準適合品を使用する。

機器表

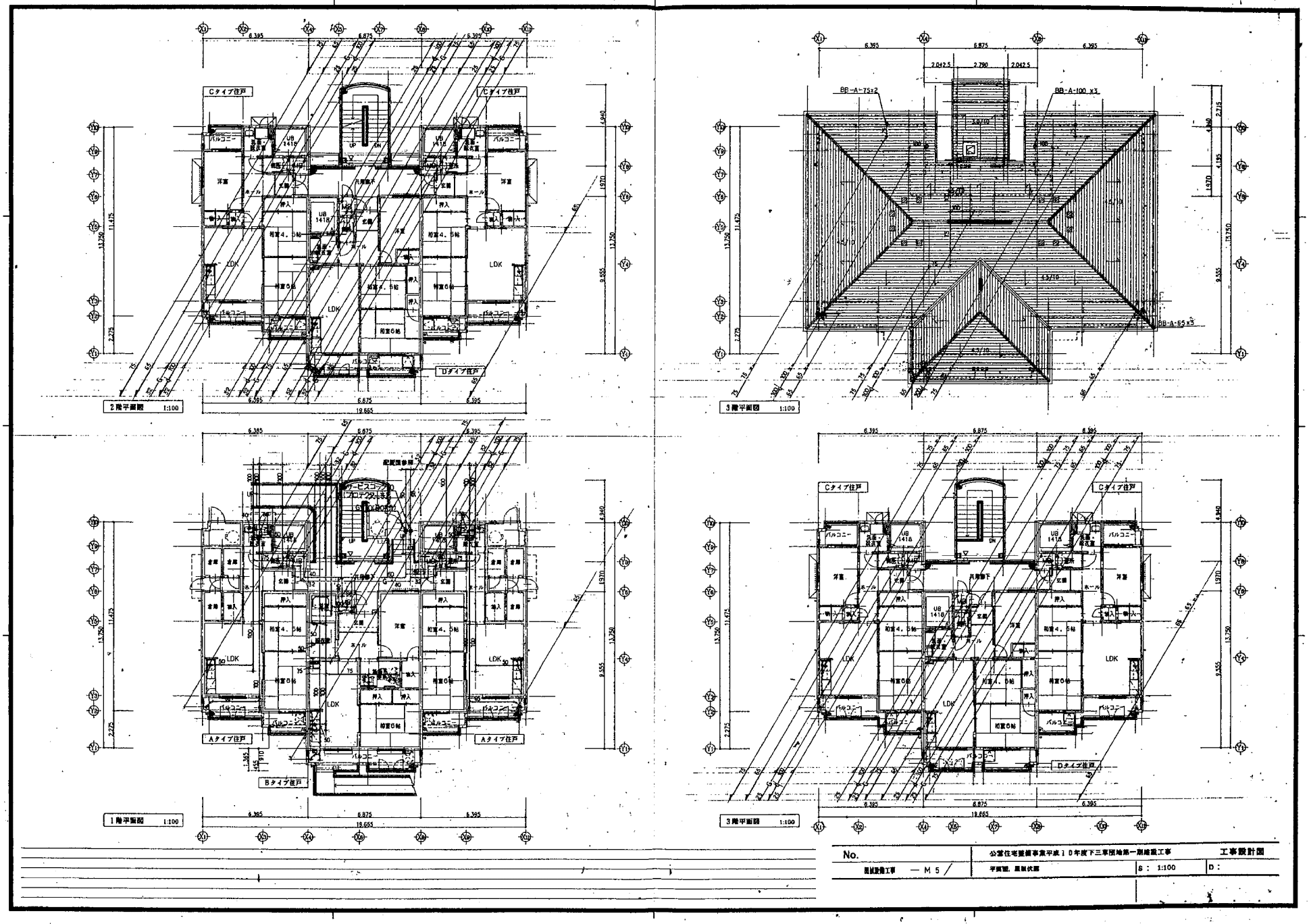
記号	名称	仕様	住戸棟1棟当りの機器台数 Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	Dタイプ	設備棟	備考
WT－1	受水槽	FRP製複合板パネル水槽　2槽式 有効　13.5㎥　1.0G 3,000×3,000（1,500+1,500）×2,000H ・各種取出口，マンホール，内外梯子，平板台共					1	
PW－1	加圧給水ポンプユニット	吐出圧力一定形　圧力タンク減圧弁方式 並列交互運転　非水封型品 65φ（ユニット口径）×810ℓ／min×40m×2.2kw　×2台　3φ－200V 圧力タンク，制御盤，防振ゴム，凍結防止ヒーター，その他関連品一式共 制御盤は5P電磁端子，揚水，減水，外部一括制御端子付					1	
FE－1	天井埋込型換気扇	サニタリー用ファン　浴室・洗面所用 15形×150㎥／h×50pa　1φ－100V		1				
FE－2	天井埋込型換気扇	サニタリー用ファン　浴室・便所用 15形×90㎥／h×50pa　1φ－100V	2	1	4	2		
FE－3	天井埋込型換気扇	サニタリー用ファン　2室用 15形×120㎥／h×50pa　1φ－100V	2		4	2		
FE－4	換気扇	金属製電気シャッター式　再生フィルター付 250φ×500㎥／h　1φ－100V 防虫網付SUS製ウェザーカバー	2	1	4	2		
WHG－1	ガス風呂給湯器	ジェットフロータイプ16号（31-566）デラックスタイプ PS屋内設置型 台所リモコン，風呂リモコン，風呂アダプター，屋内設置用取付ボックス共			4	2		
WHE－1	電気温水器	深夜電力通電制御型　屋内設置九重落とし込みタイプ 貯湯タンク容量　370ℓ　4.4kw　1φ－200V PEスイッチ，減圧弁，逃し弁，ホッパー，絶縁パイプ×2，本体固定用部材共	2	1				

注記）公共住宅建設工事共通仕様書（平成9年度版）部品及び機器の品質・性能基準適合品を使用する。

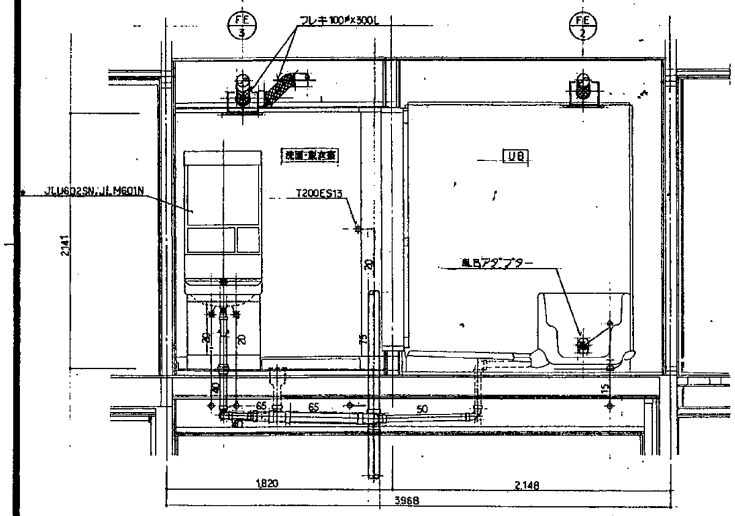
No.	公営住宅整備事業平成10年度下三軒屋地区第一期建設工事	工事設計図
機械設備工事 — M 2	特記仕様書(2)，器具表，機器表	S: — D:



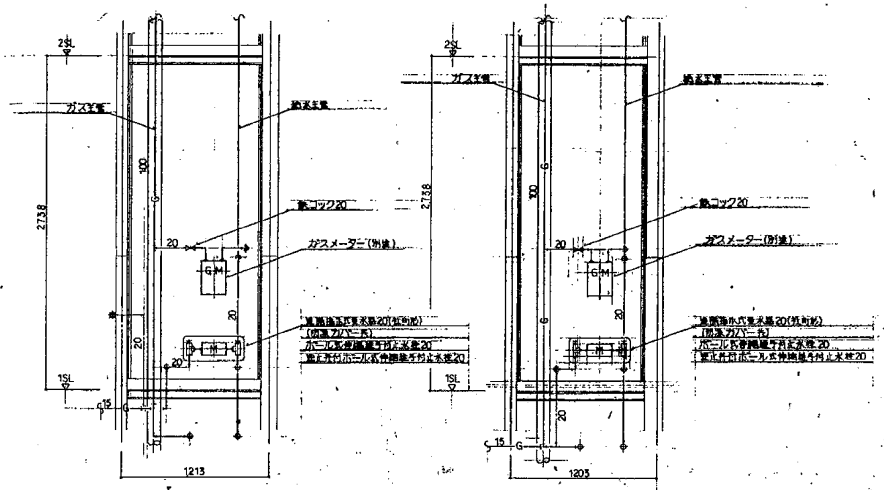
No.	公営住宅建設事業平成10年度下三原団地第一期建設工事	工事設計図
基礎配管工事 M 4	系統図	D:



No.	公営住宅建替事業平成10年度下三軒屋地第一期建築工事	工事設計図
電気設備工事 — M 5 /	平面図、屋根伏図	S : 1:100 / D :

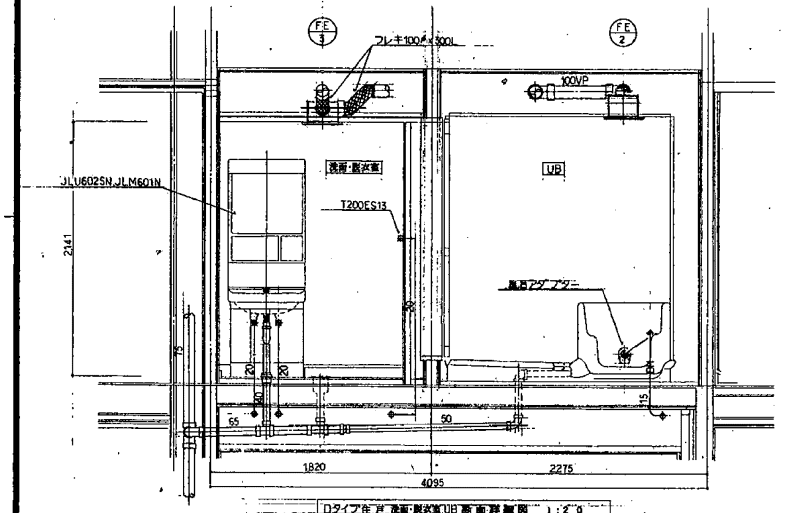


Cタイプ住戸 洗面・脱衣室,UB断面詳細図 1:20

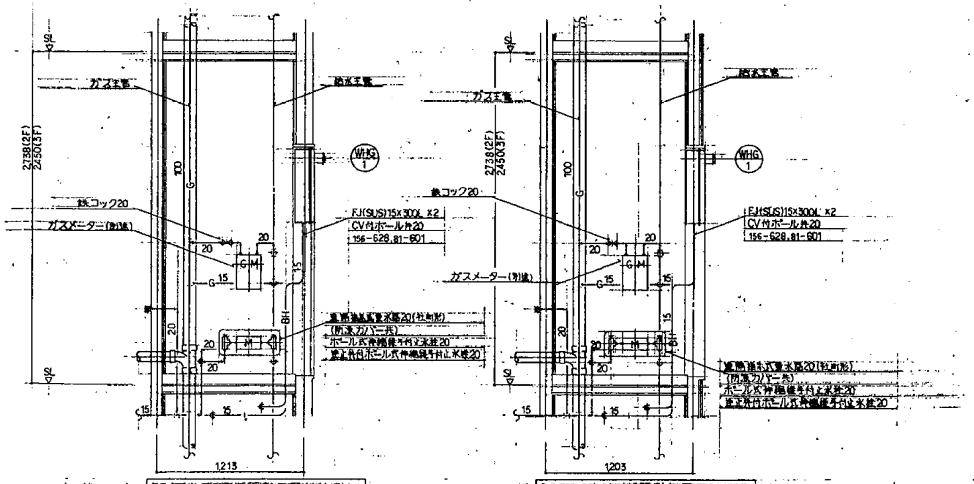


Aタイプ住戸MB断面詳細図 1:20

Bタイプ住戸MB断面詳細図 1:20



Dタイプ住戸 洗面・脱衣室,UB断面詳細図 1:20

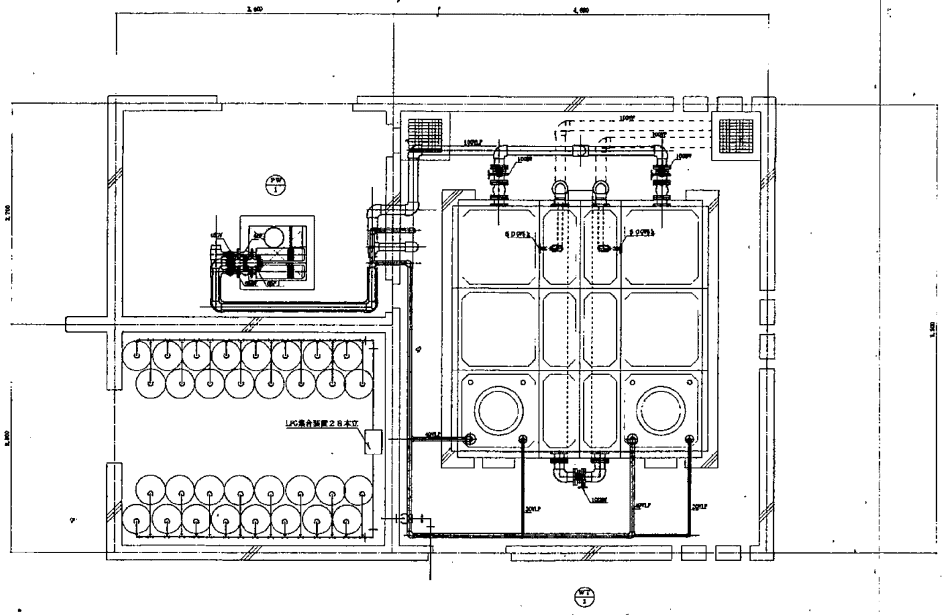


Cタイプ住戸MB断面詳細図 1:20

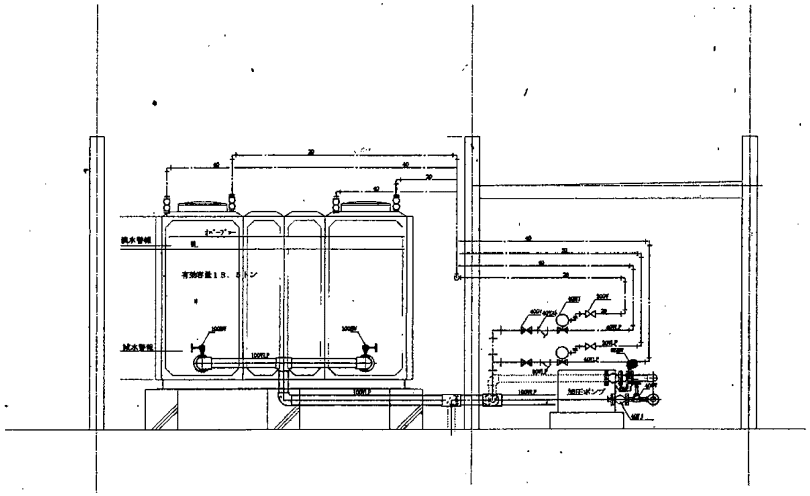
Dタイプ住戸MB断面詳細図 1:20

浴室断面

No.	公営住宅建替事業平成10年度下三軍団地第一期建設工事	工事設計図
機械設備工事 ー M 15	部分詳細図(2)	S. 1:20 D.



設備機平面詳細図　1：30



設備機断面詳細図　1：30

No.	公営住宅整備事業平成１０年度下三軍団地第一期建設工事		工事設計図
機械設備工事　— M16	設備機詳細図	S：1:30	D：